

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

DIALOG(R)File 352:Derwent WPI

(c) 2003 Thomson Derwent. All rts. reserv.

011752602 **Image available**

WPI Acc No: 1998-169512/199815

XRAM Acc No: C98-054369

XRPX Acc No: N98-134561

Organic electroluminescent device - comprises coumarin
derivative-incorporated luminescent layer, tetraaryldiamine
derivative-incorporated hole implanting and/or transporting layer, etc.

Patent Assignee: TDK CORP (DENK)

Inventor: INOUE T; NAKAYA K; OSHISA K; KOBORI I; OHISA K; OHHISA K

Number of Countries: 019 Number of Patents: 007

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
WO 9808360	A1	19980226	WO 97JP2869	A	19970819	199815 B
EP 857007	A1	19980805	EP 97935819	A	19970819	199835
			WO 97JP2869	A	19970819	
JP 10510578	X	19990907	WO 97JP2869	A	19970819	199947
			JP 98510578	A	19970819	
US 6285039	B1	20010904	WO 97JP2869	A	19970819	200154
			US 9851479	A	19980603	
US 20020038867	A1	20020404	WO 97JP2869	A	19970819	200227
			US 9851479	A	19980603	
			US 2001805244	A	20010314	
US 6603140	B2	20030805	US 9751479	A	19970819	200353
			WO 97JP2869	A	19970819	
			US 2001805244	A	20010314	
EP 1342769	A1	20030910	EP 97935819	A	19970819	200367
			EP 200313023	A	19970819	

Priority Applications (No Type Date): JP 96235898 A 19960819

Patent Details:

Patent No	Kind	Lan Pg	Main IPC	Filing Notes
-----------	------	--------	----------	--------------

WO 9808360	A1	J 382	H05B-033/14	
------------	----	-------	-------------	--

Designated States (National): JP US

Designated States (Regional): AT BE CH DE DK ES FI FR GB GR IE IT LU MC
NL PT SE

EP 857007	A1 E	H05B-033/14	Based on patent WO 9808360
			Designated States (Regional): DE FR GB NL
JP 10510578	X	H05B-033/14	Based on patent WO 9808360
US 6285039	B1	H01L-035/24	Based on patent WO 9808360
US 20020038867	A1	H01L-035/24	Div ex application WO 97JP2869
			Div ex application US 9851479
US 6603140	B2	H01L-035/24	Div ex application US 9751479
			Div ex application WO 97JP2869
			Div ex patent US 6285039
EP 1342769	A1 E	C09K-011/06	Div ex application EP 97935819
			Div ex patent EP 857007

Designated States (Regional): DE FR GB NL

Abstract (Basic): WO 9808360 A

An organic electroluminescent device comprises: (i) a luminescent layer containing a coumarin derivative of formula (I); and (ii) a hole implanting and/or transporting layer incorporated with tetraaryldiamine derivative of formula (II).

(I) R1, R2, R3 = independently H, CN, carboxyl, alkyl, aryl, acyl, ester, or heterocyclyl; R1-R3 may link with each other through ring-formation; R4, R7 = H, alkyl, or aryl; R5, R6 = alkyl or aryl; R4 and R5, R5 and R6, as well as R6 and R7 may form bonds via ring-formation;

(II) Ar1, Ar2, Ar3, Ar4 = aryl; Ar1-Ar4 contain at least 2 or more benzene ring-containing condensed rings or polycyclic aryl groups derived from ring aggregate(s); R11, R12 = alkyl; p, q = 0-4; R13, R14 = aryl; r, s = 0-5.

Also claimed are: (1) a similar electroluminescent device with a mixed layer containing hole as well as electron implanting and transporting compounds, and additionally a doped luminescent layer with compounds of formula (I), quinacridone compound of formula (III) and styryl-type amino compound of formula (IV) as dopant; and (III) R21, R22 = independently H, alkyl, or aryl; R23, R24 = alkyl or aryl; t, u = 0-4; when t or u not less than 2, the adjacent R23 and R24 groups may link to each other by ring-formation; (IV) R31 = H or aryl; R32, R33 = H, aryl, or alkenyl; R34 = arylamino or arylaminoaryl; v = 0-5; and (2) another electroluminescent device with a luminescent layer containing at least 2 layers of bipolar-type luminescent layer in which the anode side of the layer contains a hole implanting and/or transporting layer while the cathode side of such layer with an electron implanting and/or transporting layer, and furthermore, this luminescent layer and similar luminescent layers may combine and group into a combination of luminescent layers with anode and cathode formed as above.

USE - Such electroluminescent devices may be used e.g. for illumination or display.

ADVANTAGE - The devices give high-luminance emission, enable continuous light emission, and have high reliability and stability.

Realisation of multi-colour light emission is possible.

Title Terms: ORGANIC; ELECTROLUMINESCENT; DEVICE; COMPRISE; COUMARIN; DERIVATIVE; INCORPORATE; LUMINESCENT; LAYER; TETRA; ARYL; DI; AMINE; DERIVATIVE; INCORPORATE; HOLE; IMPLANT; TRANSPORT; LAYER

Derwent Class: E13; E14; E23; L03; U11; U14; X26

International Patent Class (Main): H01L-035/24; H05B-033/14

International Patent Class (Additional): C09K-011/06; H01L-027/15; H01L-031/12; H01L-033/00; H01L-051/00; H01L-051/20

File Segment: CPI; EPI

(19)日本国特許庁 (J P) 再公表特許 (A1)

(11)国際公開番号

WO98/08360

(43)国際公開日 平成10年(1998)2月20日

発行日 平成11年(1999)9月7日

P I

(51)Int.Cl.⁶

H05B 33/14

F C09K 11/06

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求(全362頁)

出願番号	特許平10-510678	発明の名称	発明の要約
(21)国際公開番号	PCT/J P 97/02869	(71)出願人	ティーディーケー株式会社
(22)国際公開日	平成9年(1997)8月10日	(72)発明者	東京都中央区日本橋1丁目13番1号 小堀 周
(31)優先権主張番号	特許平8-235898	(72)発明者	東京都中央区日本橋1丁目13番1号 ティーディーケー株式会社内
(32)優先日	平8(1998)8月10日	(72)発明者	大久 和寿
(33)優先権主張国	日本 (J P)	(72)発明者	東京都中央区日本橋1丁目13番1号 ティーディーケー株式会社内
(81)指定国	EP(A T, BE, CH, DE, DK, BS, FI, FR, GB, GR, IE, IT, L U, MC, NL, PT, SE), J P, US	(72)発明者	中谷 賢司
		(72)発明者	東京都中央区日本橋1丁目13番1号 ティーディーケー株式会社内
		(74)代理人	外理士 石井 隆一

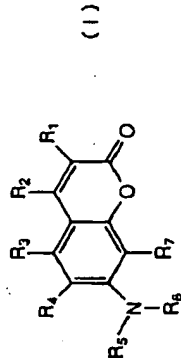
(54)【発明の名称】 有機EL素子

(57)【要約】

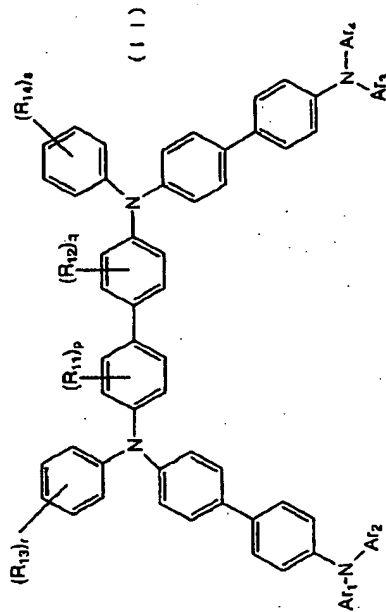
有機EL素子の発光層に特定のクマリン誘導体を含有させ、正孔注入性および/または輸送性の層に特定のテトラアリールジアミン誘導体を含有させる。また、発光層タイプの発光層に特定のクマリン誘導体、特定のキナクリドン化合物または特定のスチリル系化合物を含有させる。発光層タイプの発光層を含む2層以上の発光層を設け、2層以上のドーパントを含有させ、2層以上の発光層を形成させる。これにより高輝度の発光が得られ、発光効率が可能で高輝度の高い有機EL素子が実現する。また多色発光が可能となる。

【特許請求の範囲】

1. 下記式(1)で示されるクマリン誘導体を含有する発光層と、下記式(1)で示されるテトラアリールジアミン誘導体を含有する正孔注入性および/または輸送性の層とを有する有機EL素子。



【式(1)中、R1、R2およびR3は各々水素原子、シアル基、カルボキシ基、アルキル基、アリール基、アシル基、エステル基または複素環基を表し、これらは同一でも異なるものであってもよく、R4〜R7は各々互いに結合して環を形成してもよい。R4およびR7は各々水素原子、アルキル基またはアリール基を表し、R5およびR6は各々アルキル基またはアリール基を表し、R4とR5、R5とR6およびR6とR7は各々互いに結合して環を形成してもよい。】



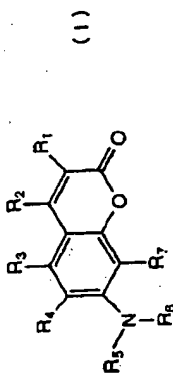
【式(11)中、A11、A12、A13およびA14は各々アリール基を表し、A11〜A14のうちの少なくとも1個は、2個以上のベンゼン環を有する複素環または環系から誘導される多環のアリール基である。R11およびR12は各々アルキ

ル基を表し、p およびq は各々0または1～4の整数である。R₁₃およびR₁₄は各々アリール基を表し、r およびs は各々0または1～5の整数である。]

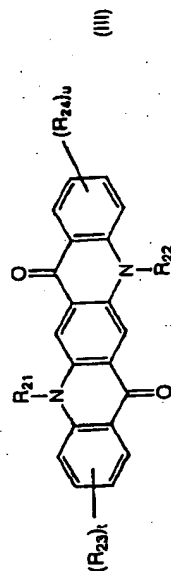
2. 前記クマリン誘導体を含有する発光層が、ホスト材料に前記クマリン誘導体がドーバントとしてドーブされたものである請求の範囲第1項の有機EL素子

3. 前記ホスト材料がキリノナト金属錯体である請求の範囲第2項の有機EL素子。

4. 正孔注入輸送性化合物と電子注入輸送性化合物とを含有する発光層に、さらに下記式 (I) で示されるクマリン誘導体、下記式 (II) で示されるキナリドン化合物または下記式 (IV) で示されるスチリル系アミン化合物をドーバントとしてドーブした発光層を有する有機EL素子。

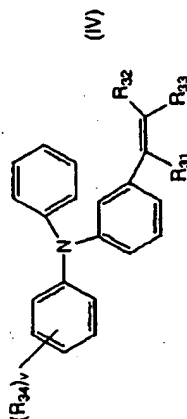


[式(I)中、R₁、R₂およびR₃は各々水素原子、シアノ基、カルボキシル基、アリール基、アリール基、アシル基、エステル基または複素環基を表し、これらは同一でも異なるものでもよく、R₄～R₈は各々互いに結合して環を形成してもよい。R₄およびR₇は各々水素原子、アリール基またはアリール基を表し、R₅およびR₆は各々アリール基またはアリール基を表し、R₄とR₅、R₆とR₇およびR₆とR₈は各々互いに結合して環を形成してもよい。]



[式(III)中、R₂₁およびR₂₂は各々水素原子、アリール基またはアリール基

を表し、これらは同一でも異なるものでもよい。R₂₃およびR₂₄は各々アリール基またはアリール基を表し、t およびu は各々0または1～4の整数である。t またはu が2以上であるとき、隣接するR₂₃同士またはR₂₄同士は互いに結合して環を形成してもよい。]

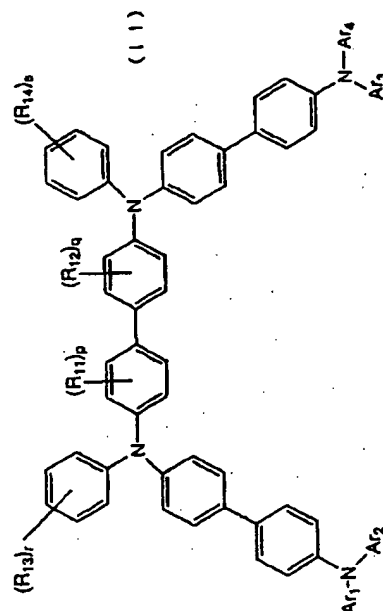


[式(IV)中、R₃₁は水素原子またはアリール基を表す。R₃₂およびR₃₃は水素原子、アリール基またはアリール基を表し、これらは同一でも異なるものである。R₃₄はアリールアミノ基またはアリールアミノアリール基を表し、v は0または1～5の整数である。]

5. 前記正孔注入輸送性化合物が芳香族三級アミンであり、前記電子注入輸送

性化合物がキノリノナト金属錯体である請求の範囲第4項の有機EL素子。

6. 前記芳香族三級アミンが、下記式 (I) で示されるテトラアリールジミン誘導体である請求の範囲第5項の有機EL素子。



[式(I)中、A₁、A₂、A₃およびA₄は各々アリール基を表し、A₁、A₂、A₃お

～A₁₄のうちの少なくとも1個は、2個以上のベンゼン環を有する縮合環または環集合から誘導される多環のアリール基である。R₁₁およびR₁₂は各々アリール基を表し、pおよびqは各々0または1～4の整数である。R₁₃およびR₁₄は各々アリール基を表し、rおよびsは各々0または1～5の整数である。]

7. 前記発光層が、少なくとも1層の正孔注入性および/または正孔輸送性の層と少なくとも1層の電子注入性および/または電子輸送性の層とで構成される層と少なくとも1層の電子注入性および/または電子輸送性の層とで構成される層とを有する層である請求の範囲第1項～第6項のいずれかの有機EL素子。

8. 前記正孔注入性および/または輸送性の層に、さらにルブレインがドープメントとしてドープされた請求の範囲第1項、第2項、第3項または第7項の有機EL素子。

9. 光の取り出し側にカラーフィルターおよび/または蛍光変換フィルターを配置し、カラーフィルターおよび/または蛍光変換フィルターを通して光を取り

出すように構成した請求の範囲第1項～第8項のいずれかの有機EL素子。

10. バイポーラ型発光層を含む2層以上の発光層を有し、この発光層より隣接層の層として正孔注入性および/または輸送性の層を有し、隣接層の層として電子注入性および/または輸送性の層を有し、

前記2層以上の発光層がバイポーラ型発光層同士を組合せ、またはバイポーラ型発光層と、このバイポーラ型発光層より隣接層の正孔輸送性の発光層および/もしくは隣接層の電子輸送性の発光層とを組合せてある有機EL素子。

11. バイポーラ型発光層が正孔注入輸送性化合物と電子注入輸送性化合物とを含有する層である請求の範囲第10項の有機EL素子。

12. 前記2層以上の発光層がすべて縮合環である請求の範囲第11項の有機EL素子。

13. 前記2層以上の発光層の少なくとも1層にドープメントがドープされた請求の範囲第10項～第12項のいずれかの有機EL素子。

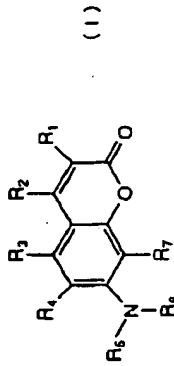
14. 前記2層以上の発光層のすべてにドープメントがドープされた請求の範囲第10項～第13項のいずれかの有機EL素子。

15. 前記2層以上の発光層の発光特性が互いに異なり、発光極大波長が長波

長側の発光層を隣接層に接ける請求の範囲第10項～第14項のいずれかの有機EL素子。

16. 前記ドープメントが、ナフタセン母核を有する化合物である請求の範囲第13項～第15項のいずれかの有機EL素子。

17. 前記ドープメントが、下記式(1)で示されるクマリンである請求の範囲第13項～第16項のいずれかの有機EL素子。



[式(1)中、R₁、R₂およびR₃は各々水素原子、シアノ基、カルボキシ基、アリール基、アリール基、アシル基、エステル基または複素環基を表し、これらは同一でも異なるものであってもよく、R₄～R₇は各々互いに縮合して環を形成してもよい。R₄およびR₇は各々水素原子、アリール基またはアリール基を表し、R₅およびR₆は各々アリール基またはアリール基を表し、R₄とR₆、R₅とR₆およびR₆とR₇は各々互いに縮合して環を形成してもよい。]

18. 前記正孔注入輸送性化合物が芳香族三級アミンであり、前記電子注入輸送性化合物がキノリノナト金属錯体である請求の範囲第11項～第17項のいずれかの有機EL素子。

③ 発光効率が低く、発熱量が多いこと
(有機EL化合物中に電流を流すので、高い電界強度下に有機化合物を置かねばなら
ず、発熱からは逃れられない。その熱のため、有機化合物の腐蝕・結晶化・熱分
解などにより素子の劣化・破壊が起こる。)

④ 有機化合物層の光化学的変化・電気化学的変化
などが挙げられる。

有機EL素子用の蛍光性物質としてクマリン化合物が提案されている (特開昭
63-264692号、特開平2-191694号、特開平3-792号、特開
平5-202356号、特開平6-9952号、特開平6-240243号等)
。クマリン化合物は、こののみで発光層に用いられ、トリス(8-キノ
リノラト)アルミニウムのようなホスト化合物とともに、ゲスト化合物あるいは
ドーパントとして発光層に用いられている。このような有機EL素子において発
光層と組み合わされる正孔注入層や正孔輸送層あるいは正孔注入輸送層には、
N、N'-ジフェニル-N、N'-ビス(3-メチルフェニル)-1,1'-ビ
フェニル-4,4'-ジアミンのように、1,1'-ビフェニル-4,4'-ジ
アミン骨格を有し、ジアミンの2個の窒素原子にフェニル基または置換フェニル
基を有するようなテトラフェニルジアミン誘導体が用いられている。しかし、こ
のような有機EL素子では発光寿命および耐熱性などの信頼性が十分でなく、ホ
スト化合物に用いられている場合は高輝度な素子は得られていない。

一方、有機EL素子の多色発光化に対応するものとして、後述型白色発光有機
EL素子が提案されている (佐藤佳晴、信孝技術、OME94-78 (1995
-03))。この場合の発光層は、亜鉛のオキサゾール錯体を用いた青色発光層
、トリス(8-キノリノラト)アルミニウムを用いた緑色発光層およびトリス(8-キノリノラト)アルミニウムに赤色の蛍光色素(P-660、DCM1)を

一歩した赤色発光層を積層したものである。
このように、赤色発光層には発光層をドーピングすることで、赤色発光を可能

【発明の詳細な説明】
有機EL素子
技術分野
本発明は、有機EL (電界発光) 素子に関し、詳しくは、有機化合物からなる
有機EL素子の電界を印加して光を放出する素子に関する。

背景技術
有機EL素子は、蛍光性有機化合物を含む薄膜を、陰極と陽極とで挟んだ構成
を有し、前記薄膜に電子および正孔を注入して再結合させることにより励起子
エキシトン)を生成させ、このエキシトンが失活する際の光の放出 (蛍光・燐光
)を利用して発光する素子である。

有機EL素子の特長は、10V程度の低電圧で100~10000cd/m²程度の
高輝度の面発光が可能であり、また蛍光物質の種類を選択することにより青色
から赤色までの発光が可能であることである。

一方、有機EL素子の問題点は、発光寿命が短く、保存耐久性、信頼性が低い
ことであり、この原因としては、

① 有機化合物の物理的変化
(結晶ドメインの成長などにより界面の不均一化が生じ、素子の電荷注入能の劣
化・短縮・絶縁破壊の原因となる。特に分子量500以下の低分子化合物を用い
ると結晶粒の出現・成長が起こり、膜性が著しく低下する。また、ITO等の界
面が覆れていても、顕著な結晶粒の出現・成長が起こり、発光効率の低下や、電
流のリークを起し、発光しなくなる。また、部分的非発光部であるダークスポ
ットの原因にもなる。)

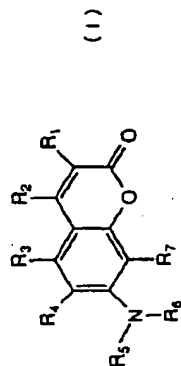
② 陰極の酸化・剥離
(電子の注入を容易にするために仕事関数の小さな金属としてNaMg・Li・
Ca・K・Alなどを用いていたが、これらの金属は大気中の水分や酸素と反応

したり、有機層と陰極の剥離が起こり、電荷注入ができなくなる。特に高分子化
合物などを用い、スピンコートなどで成膜した場合、成膜時の残留溶媒や分解物
が電極の酸化反応を促進し、電極の剥離が起こり部分的な非発光部を生じさせる

ことである。さらには多色発光への対応が可能であり、発光スペクトルの調整が可能である有機EL素子を提供することであり、これに加えて高輝度で長寿命の有機EL素子を提供することである。

このように目的は、下記(1)～(18)の本発明により達成される。

(1) 下記式(1)で示されるクマリン誘導体を含有する発光層と、下記式(1)で示されるテトラアリアルシアン誘導体を含有する正孔注入性および/または輸送性の層とを有する有機EL素子。



〔式(1)中、R₁、R₂およびR₃は各々水素原子、シアノ基、カルボキシル基、アールキル基、アリアル基、アシル基、エステル基または複素環基を表し、これらは同一でも異なるものであってもよく、R₄～R₇は各々互いに結合して環を形成してもよい。R₄およびR₇は各々水素原子、アールキル基またはアリアル基を表し、R₅およびR₆は各々アールキル基またはアリアル基を表し、R₄とR₅、R₆とR₇は各々互いに結合して環を形成してもよい。〕

にしている。他の層にはドーピングは行われていない。緑色発光層・青色発光層はホスト材料のみで発光するように選ばれているが、ここで材料選定および発光色の調整自由度が大きく制限されることになる。

一般に、有機EL素子の発光色を変えるのに発光層の組成を、すなわちドーピングが行われる。メリットとして、ドーピングの量を調整することで簡単に発光色を変えることが可能である。したがって、多色発光の方法としては、数種類の発光層をドーピングすることで原理的には可能であるが、単一のホストの中にそれら全ての発光層を一緒にドーピングすると、ドーピングした発光層の内、一種類しか発光しない場合や、何種類かが発光しない場合がある。要するに、一つのホストに全てを混合してドーピングしても全てが発光することは困難である。これは特定の発光層にのみエネルギーが移動してしまうためである。

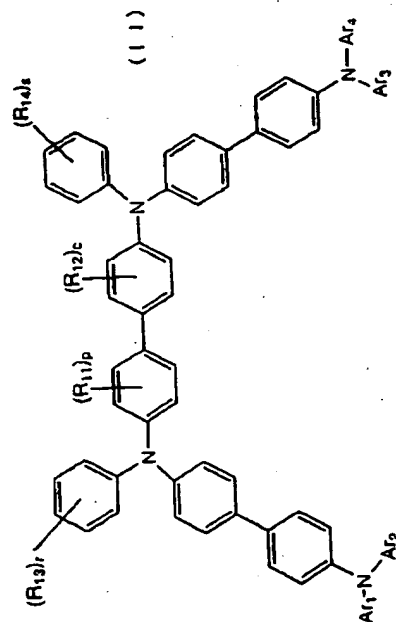
このような理由で、現在までには2種以上の発光層をドーピングにより安定に発光させた例はなかった。

ところで、一般に有機EL素子の輝度半減寿命は発光輝度とトレードオフの関係にある。トリス(8-キノリノラト)アルミニウムまたはN、N'-ジフェニル-N、N'-ビス(3-メチルフェニル)-1,1'-ビフェニル-4,4'-ジアミンにルプレンをドーピングすることで長寿命化が図られ、初期輝度500cd/m²程度、輝度半減寿命3500時間程度のレベルのものが得られることが報告されている〔高井哲夫、応用物理 第6巻 第2号(1997)〕。しかし、このものは発光色が黄色(560nm付近)に限られている。また更なる長寿命化が図られている。

発明の要旨

本発明の目的は、特に物理的変化や光化学的変化、電気化学的変化の少ない光・電子機能材料を用い、信頼性および発光効率の高い種々の発光色を持った有機EL素子を実現することである。特に、分子量の大きな化合物を蒸着法で形成した

有機層を用い、素子の駆動時の駆動電圧上昇や輝度の低下、電流のリーク、部分的な非発光部の出現・成長を抑えた高信頼性かつ、高輝度発光素子を実現する

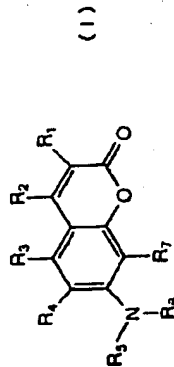


[式(I)中、 R_{11} 、 R_{12} 、 R_{13} および R_{14} は各々アリール基を表し、 R_{11} 、 R_{12} 、 R_{13} および R_{14} のうち少なくとも1個は、2個以上のベンゼン環を有する芳香環または芳香環から誘導される芳香環のアリール基である。 R_{11} および R_{12} は各々アリール基を表し、 R_{13} および R_{14} は各々0または1～4の整数である。 R_{13} および R_{14} は各々アリール基を表し、 R_{15} および R_{16} は各々0または1～5の整数である。]

(2) 前記クマリン誘導体を含有する発光層が、ホスト材料に前記クマリン誘導体がドーパントとしてドーピングされたものである (1) の有機EL素子。

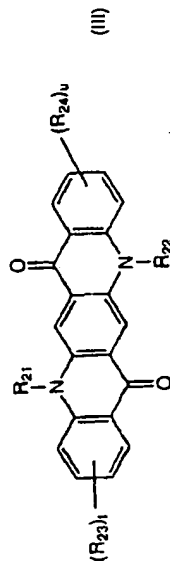
(3) 前記ホスト材料がキノリノナト金属錯体である (2) の有機EL素子。

(4) 正孔注入輸送性化合物と電子注入輸送性化合物とを含有する配合層に、さらに下配式 (I) で示されるクマリン誘導体、下配式 (II) で示されるキナクリドン化合物または下配式 (IV) で示されるスチリル系アミン化合物をドーパントとしてドーピングした発光層を有する有機EL素子。

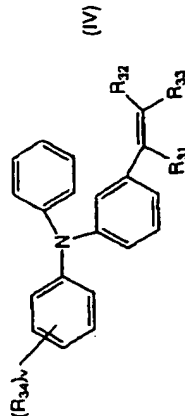


[式(I)中、 R_1 、 R_2 および R_3 は各々水素原子、シアノ基、カルボキシ基、ア

ルキル基、アリール基、アシル基、エステル基または複素環基を表し、これらは同一でも異なるものであってもよく、 R_1 ～ R_3 は各々互いに結合して環を形成してもよい。 R_4 および R_7 は各々水素原子、アリール基またはアリール基を表し、 R_5 および R_6 は各々アリール基またはアリール基を表し、 R_4 と R_5 、 R_6 と R_7 および R_6 と R_7 は各々互いに結合して環を形成してもよい。]



[式 (III) 中、 R_{21} および R_{22} は各々水素原子、アリール基またはアリール基を表し、これらは同一でも異なるものであってもよい。 R_{23} および R_{24} は各々アリール基またはアリール基を表し、 R_{25} および R_{26} は各々0または1～4の整数である。 R_{25} または R_{26} が2以上であるとき、隣接する R_{25} 同士または R_{26} 同士は互いに結合して環を形成してもよい。]

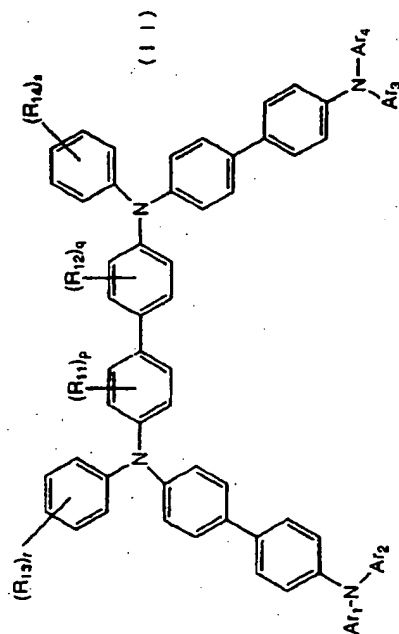


[式 (IV) 中、 R_{31} は水素原子またはアリール基を表す。 R_{32} および R_{33} は水素原子、アリール基またはアルケニル基を表し、これらは同一でも異なるものであってもよい。 R_{34} はアリールミノ基またはアリールアミノアリール基を表し、

v は0または1～5の整数である。]

(5) 前記正孔注入輸送性化合物が芳香族三級アミンであり、前記電子注入輸送性化合物がキノリノナト金属錯体である (4) の有機EL素子。

(6) 前記芳香族三級アミンが、下配式 (I) で示されるテトラアリールジアミン誘導体である (5) の有機EL素子。



[式(13)中、Ar1、Ar2、Ar3およびAr4は各々アリール基を表し、Ar1～Ar4のうちの少なくとも1個は、2個以上のベンゼン環を有する結合環または環系から誘導される多環のアリール基である。R11およびR12は各々アリール基を表し、pおよびqは各々0または1～4の整数である。R13およびR14は各々アリール基を表し、rおよびsは各々0または1～5の整数である。]

(7) 前記発光層が、少なくとも1層の正孔注入性および/または正孔輸送性の層と少なくとも1層の電子注入性および/または電子輸送性の層とで構成される(1)～(6)のいずれかの有機EL素子。

(8) 前記正孔注入性および/または輸送性の層に、さらにルブレインがドープメントとしてドープされた(1)、(2)、(3)または(7)の有機EL素子。

(9) 光の取り出し側にカラーフィルタおよび/または蛍光変換フィルタを配置し、カラーフィルタおよび/または蛍光変換フィルタを通して光を取り出すように構成した(1)～(8)のいずれかの有機EL素子。

(10) バイポーラ型発光層を含む2層以上の発光層を有し、この発光層より陰極側の層として正孔注入性および/または輸送性の層を有し、陰極側の層として電子注入性および/または輸送性の層を有し、

前記2層以上の発光層がバイポーラ型発光層同士を組合せ、またはバイポーラ

型発光層と、このバイポーラ型発光層より陰極側の正孔輸送性の発光層および/もしくは陰極側の電子輸送性の発光層との組合せである有機EL素子。

(11) バイポーラ型発光層が正孔注入輸送性化合物と電子注入輸送性化合物とを含有する組合せである(10)の有機EL素子。

(12) 前記2層以上の発光層がすべて結合層である(11)の有機EL素子。

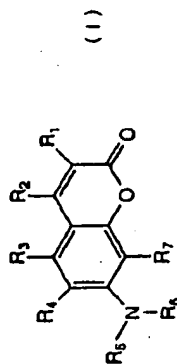
(13) 前記2層以上の発光層の少なくとも1層にドープメントがドープされた(10)～(12)のいずれかの有機EL素子。

(14) 前記2層以上の発光層のすべてにドープメントがドープされた(10)～(13)のいずれかの有機EL素子。

(15) 前記2層以上の発光層の発光特性が互いに異なり、発光極大波長が長波長側の発光層を陰極側に設ける(10)～(14)のいずれかの有機EL素子。

(16) 前記ドープメントが、ナフタセン骨格を有する化合物である(13)～(15)のいずれかの有機EL素子。

(17) 前記ドープメントが、下記式(1)で示されるクマリン誘導体である(13)～(16)のいずれかの有機EL素子。



[式(1)中、R1、R2およびR3は各々水素原子、シアノ基、カルボキシ基、アシル基、アリール基、アシル基、エステル基または有機陰イオン基を表し、これらは同一でも異なるものであってもよく、R4～R6は各々互いに結合して環を形成してもよい。R4およびR5は各々水素原子、アリール基またはアリール基を表し、R6およびR7は各々アリール基またはアリール基を表し、R4とR6、R5とR6およびR6とR7は各々互いに結合して環を形成してもよい。]

(18) 前記正孔注入輸送性化合物が芳香族三級アミンであり、前記電子注入

輸送性化合物がキリノナノ金属材料である(11)～(17)のいずれかの有機EL素子。

本発明の有機EL素子は式(I)で示されるクマリン誘導体を発光層に用い、かつ式(II)で示されるテトラアリールジアミン誘導体を正孔注入性および/または輸送性の層に用いているため、また正孔注入輸送性化合物と電子注入輸送性化合物との組合に式(1)のクマリン誘導体、式(II)のキナクリン化合物、式(III)のスピリル系アミン化合物をドープして発光層としているため、100000cd/m²程度、あるいはそれ以上の高輝度が安定して得られる。また、式(I)のクマリン誘導体に対し、耐久性が高いホスト材料を選ぶことで、素子電流密度30mA/cm²程度でも長時間の安定した動作が可能である。

上記化合物の基質層は、あるいは安定なモルファス状態なので、薄膜性が良好となりムラがなく均一な発光が可能である。また、大気下で一年以上安定であり、結晶化を起こさない。

また、本発明の有機EL素子は、低駆動電圧・低駆動電流で効率よく発光する。なお、本発明の有機EL素子の発光最大波長は、480～640nm程度である。例えば特開平6-240243号には、ホスト物質にトリス8-キノリノラトアルミニウムを用い、本発明の式(I)で示されるクマリン誘導体を含む化合物をゲスト物質に用いた発光層を有する有機EL素子が開示されている。しかし、正孔輸送層に用いられているのは、N、N'-ジフェニル-N、N'-ビス(3-メチルフェニル)-1,1'-ビフェニル-4,4'-ジアミンであり、本発明の式(II)で示される化合物とは異なるものである。また、発光層タイプの発光

このバイポーラ型発光層、好ましくは発光層より隔壁側に設けられた正孔輸送性の発光層および/または隔壁側に設けられた電子輸送性の発光層との組合せとし、さらに好ましくは発光層に各々ドープメントをドープしている。

このなかで、特に好ましい態様である発光層をドープリングする場合について考えると、発光層をドープリングすることによって、隔壁側が隔壁層、全導および発光層と正孔輸送性の発光層の界面近傍ないし発光層と電子輸送性の発光層の界面近傍に広がり、前記素子が生成され、各発光層のそれぞれのホストから、最も近い発光層にエネルギー移動し、2層以上の発光層(ドープメント)の発光が可能になる。また、発光層とする場合、正孔(ホール)および電子の注入に、対して安定な化合物を選択することで、発光層自体の電子特性・ホール特性を隔壁内に向上させることができる。これに対し、バイポーラ型発光層である発光層なしで、正孔輸送性の発光層と電子輸送性の発光層とを組み合わせても2層以上の発光層の発光は可能になるが、発光層等のコンタクトが難しく、2層の強度、比率等がすぐに変化したり、ホールおよび電子の両方に対する特性が低いので、寿命が短く使用に耐えない。また、発光層のホスト材料の組合せ、バイポーラ型発光層である発光層におけるホスト材料の組合せや量は、あるいは膜厚比などを調整することによって電子および正孔のキャリア移動度を調整することが可能になる。このため、発光スペクトルの調整が可能になる。したがって多色発光型の有機EL素子への対応が可能になる。さらにはカブレン等のナフタセン骨格を有する化合物をドープした発光層(特に発光層)を設けることによってルブレン等のドープ層のキャリアトラップ層としての機能などにより、隔壁層(例えば電子輸送層や正孔輸送層)へのキャリア注入が促り、これらの層の劣化が抑制される

層に式(1)のクマリン誘導体、式(II)のキナクリン化合物あるいは式(III)のスピリル系アミン化合物をドープした例は知られていない。

さらに、本発明では、各発光層のキャリア輸送性を変化させ2層以上の発光を可能にするため、発光層を2層以上とし、これらの発光層のうち少なくとも1層をバイポーラ型、好ましくは発光層タイプのものとし、バイポーラ型発光層同士、好ましくは発光層同士、あるいはバイポーラ型発光層、好ましくは発光層と、

ため、高輝度(10000cd/m²程度)で長寿命(輝度の半減期50000時間程度)となる。また、発光スペクトルの発光最大波長が長波長域にある発光層を隔壁側に設けることによって、光学的干渉効果が利用でき、各々の発光の光取り出し効率が向上し、高輝度化が可能になる。

なお、特許文献 OME94-78 (1995-03) には、白色発光の有機EL素子が提案されているが、本発明と異なり、バイポーラ型発光層、特に発光

R₁~R₃で表されるアリール基としては、単環のものが好ましく、炭素数は6~24であることが好ましく、置換基（ハロゲン原子、アルキル基等）を有していてもよい。具体的にはフェニル基等が挙げられる。

R₁~R₃で表されるアシル基としては、炭素数は2~10のものが好ましく、具体的にはアセチル基、プロピオニル基、ブチリル基等が挙げられる。

R₁~R₃で表されるエステル基としては、炭素数は2~10のものが好ましく、具体的にはメトキシカルボニル基、エトキシカルボニル基、プロトキシカルボニル基等が挙げられる。

R₁~R₃で表される複素環基としては、ヘテロ原子として窒素原子（N）、酸素原子（O）、硫黄原子（S）を有するものが好ましく、ベンゼン環あるいはナフタレン環に結合した5員複素環から誘導される基が好ましい。また複素環としてベンゼン環を有する含窒素6員複素環から誘導される基も好ましい。具体的には、好ましくはそれぞれ2-イルの、ベンゾチアゾリル基、ベンゾオキサゾリル基、ベンゾイミダゾリル基、ナフトチアゾリル基、2-ピリジル基、3-ピリジル基、4-ピリジル基、2-ピラジニル基、2-キノリル基、7-キノリル基等であり、これらは置換基を有するものであってもよく、このときの置換基としてはアルキル基、アリール基、アルコキシ基、アリールオキシ基等が挙げられる。

以下に、R₁~R₃で表される複素環基の好適例を示す。

層を含む2層以上の発光層に各々ドープングすることについては全く示されていない。

図面の簡単な説明

第1図は本発明の有機EL素子の一例を示す縦断構成図であり、第2図は有機EL素子の発光スペクトルを示すグラフであり、第3図は有機EL素子の発光スペクトルを示すグラフであり、第4図は有機EL素子の発光スペクトルを示すグラフであり、第5図は有機EL素子の発光スペクトルを示すグラフであり、第6図は有機EL素子の発光スペクトルを示すグラフであり、第7図は有機EL素子の発光スペクトルを示すグラフであり、第8図は有機EL素子の発光スペクトルを示すグラフであり、第9図は有機EL素子の発光スペクトルを示すグラフであり、第10図は有機EL素子の発光スペクトルを示すグラフであり、第11図は有機EL素子の発光スペクトルを示すグラフであり、第12図は有機EL素子の発光スペクトルを示すグラフであり、第13図は有機EL素子の発光スペクトルを示すグラフであり、第14図は有機EL素子の発光スペクトルを示すグラフである。

発明を実施するための最良の形態

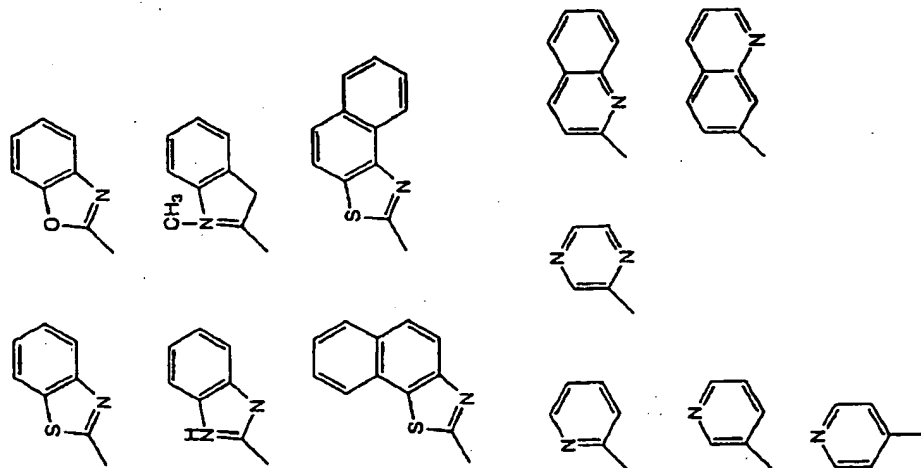
以下、本発明の発光層の形態について詳細に説明する。

本発明の有機EL素子は、式(1)で示されるクマリン誘導体を含有する発光層と式(11)で示されるテトラアリアルジアミン誘導体を含有する正孔注入性および/または導送性の層とを有するものである。

式(1)について説明すると、式(1)中、R₁~R₃は各々水素原子、シアノ基、カルボキシ基、アルキル基、アリール基、アシル基、エステル基または複素環基を意味し、これらは同一でも異なるものであってもよい。

R₁~R₃で表されるアルキル基としては、炭素数1~5のものが好ましく、直鎖状であっても分枝を有するものであってもよく、置換基（ハロゲン原子等）を有していてもよい。アルキル基の具体例としては、メチル基、エチル基、(n-1)プロピル基、(n-1)イソプロピル基、n-ペンチル基、イソペンチル基、1-ベンチル基、トリフルオロメチル基等が挙げられる。

(19)



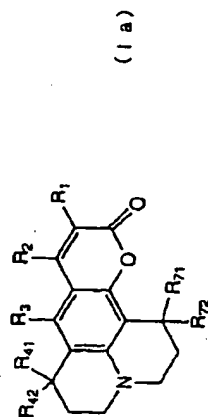
式(1)中、 $R_1 \sim R_3$ は各々互いに結合して環を形成してもよく、形成される環としてはシクロペンテン等の炭素環が挙げられる。
 $R_1 \sim R_3$ は同時に水素原子とはならないことが好ましく、特に R_1 が上記のような炭素環であるものが好ましい。
 式(1)中、 R_4 および R_7 は各々水素原子、アルキル基（メチル基等）またはアリール基（フェニル基、ナフチル基等）を誘す。 R_5 および R_6 は各々アルキル基

(20)

またはアリール基を誘す、これらは同一でも異なるものであってもよいが、通常同一であり、特にアルキル基が好ましい。

$R_1 \sim R_7$ で誘されるアルキル基としては $R_1 \sim R_3$ のと同じものと同じものを誘することができる。

R_4 と R_5 、 R_5 と R_6 および R_6 と R_7 は各々互いに結合して環を形成してもよく、特に R_4 と R_5 、 R_5 と R_6 と R_7 が各々互いに結合して炭素原子（C）、窒素原子（N）とともに6員環を同時に形成することが好ましい。このようにして一部水素化したキノリジン環を形成する場合の構造式としては下記式(1a)で示されるものが好ましい。特に、クマリン化合物上の相互作用による蛍光強度消光を防止し蛍光量子収率が向上する。

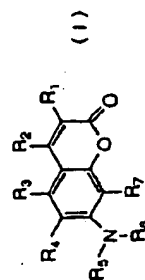


(1a)

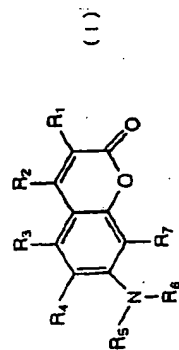
式(1a)中、 $R_1 \sim R_3$ は式(1)におけるものと同一のものである。 R_4 、 R_5 、 R_6 および R_7 は水素原子またはアルキル基を誘す、このときのアルキル基としては $R_1 \sim R_3$ のと同じものと同じものを誘することができる。

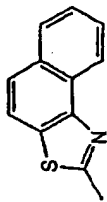
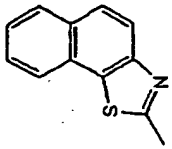
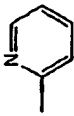
以下に式(1)に示されるクマリン環の具体例を挙げるが、本発明はこれらに限定されるものではない。以下では式(1)、式(1a)中の R_1 等の組合せで表示する。なお、以下において、Phはフェニル基を誘す。

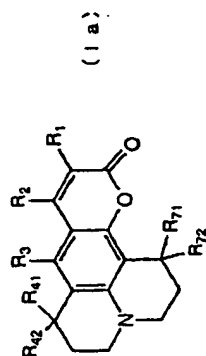
化合物	R ₁	R ₂	R ₃	R ₄	R ₅	R ₆	R ₇
I-107		H	H	H	o-トリル	o-トリル	H
I-108		H	H	H	m-トリル	m-トリル	H
I-109		H	H	H	p-トリル	p-トリル	H
I-110		H	H	H	1-ナフチル	1-ナフチル	H
I-111		H	H	H	2-ナフチル	2-ナフチル	H
I-112		H	H	H	m-トリエニル	m-トリエニル	H
I-113		H	H	H	p-トリエニル	p-トリエニル	H
I-114		H	H	H	Ph	CH ₃	H
I-115		H	H	H	1-ナフチル	CH ₃	H
I-116		H	H	H	2-ナフチル	CH ₃	H
I-117		H	H	H	CH ₃	CH ₃	CH ₃

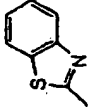
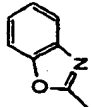
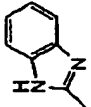
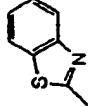
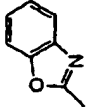
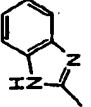
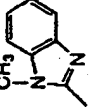


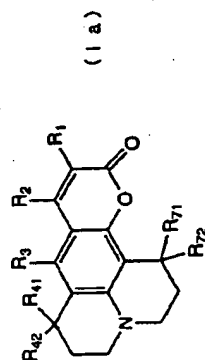
化合物	R ₁	R ₂	R ₃	R ₄	R ₅	R ₆	R ₇
I-101		H	H	H	-C ₂ H ₅	-C ₂ H ₅	H
I-102		H	H	H	-C ₂ H ₅	-C ₂ H ₅	H
I-103		H	H	H	-C ₂ H ₅	-C ₂ H ₅	H
I-104		H	H	H	-C ₂ H ₅	-C ₂ H ₅	H
I-105		H	H	H	-CH ₃	-CH ₃	H
I-106		H	H	H	-Ph	-Ph	H



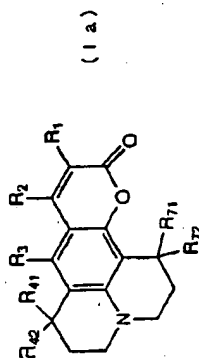
化合物	R ₁	R ₂	R ₃	R ₄₁	R ₄₂	R ₇₁	R ₇₂
I-208		H	H	CH ₃	CH ₃	CH ₃	CH ₃
I-209		H	H	CH ₃	CH ₃	CH ₃	CH ₃
I-210		H	H	CH ₃	CH ₃	CH ₃	CH ₃



化合物	R ₁	R ₂	R ₃	R ₄₁	R ₄₂	R ₇₁	R ₇₂
I-201		H	H	CH ₃	CH ₃	CH ₃	CH ₃
I-202		H	H	CH ₃	CH ₃	CH ₃	CH ₃
I-203		H	H	CH ₃	CH ₃	CH ₃	CH ₃
I-204		H	H	H	H	H	H
I-205		H	H	H	H	H	H
I-206		H	H	H	H	H	H
I-207		H	H	CH ₃	CH ₃	CH ₃	CH ₃



化合物	R ₁	R ₂	R ₃	R ₄	R ₅	R ₆	R ₇	R ₈	R ₉
I-211	-CO ₂ C ₂ H ₅	H	H	CH ₃	CH ₃	CH ₃	CH ₃	CH ₃	CH ₃
I-212	H	CH ₃	H	CH ₃	CH ₃	CH ₃	CH ₃	CH ₃	CH ₃
I-213	R ₁ とR ₂ とで 結合シクロペンテン環	H	CH ₃	CH ₃	CH ₃	CH ₃	CH ₃	CH ₃	CH ₃
I-214	H	CF ₃	H	CH ₃	CH ₃	CH ₃	CH ₃	CH ₃	CH ₃
I-215	COCH ₃	H	H	CH ₃	CH ₃	CH ₃	CH ₃	CH ₃	CH ₃
I-216	CN	H	H	CH ₃	CH ₃	CH ₃	CH ₃	CH ₃	CH ₃
I-217	CO ₂ H	H	H	CH ₃	CH ₃	CH ₃	CH ₃	CH ₃	CH ₃
I-218	-CO ₂ C ₄ H ₉ (l)	H	H	CH ₃	CH ₃	CH ₃	CH ₃	CH ₃	CH ₃
I-219	-Ph	H	H	CH ₃	CH ₃	CH ₃	CH ₃	CH ₃	CH ₃



これらの化合物は特開平6-9952号、Ger. Offen. 109812
5号等に記載の方法で合成することができる。

式(I)のケマリン誘導体は1種のみを用いても2種以上を併用してもよい。

次に、正孔注入性および/または輸送性の層に用いられる式(I)のテトラアリ
ールジアミン誘導体について説明する。

式(II)中、A₁、A₂、A₃、A₄およびA₅は各々アリール基を表し、A₁、
A₂、A₃のうち少なくとも1個は2個以上のベンゼン環を有する縮合環または環
系から成る多環のアリール基である。

A₁～A₅で表されるアリール基としては、置換基を有していてもよく、総
炭素数6～24のものが多い。置換基としては、フェニル基、3-ピ
リル基等が挙げられ、多環のアリール基としては、2-ピフェニル基、3-ピ
フェニル基、4-ピフェニル基、1-ナフチル基、2-ナフチル基、アント
リル基、フェナントリル基、ピレニル基、ペリレン基等が挙げられる。

式(II)において、A₁、A₂が結合して得られるアミノ基部分とA₃、A₄
が結合して得られるアミノ基部分とは同一であることが好ましい。

式(II)中、R₁およびR₂は各々アリール基を表し、pおよびqは各々0また
は1～4の整数である。

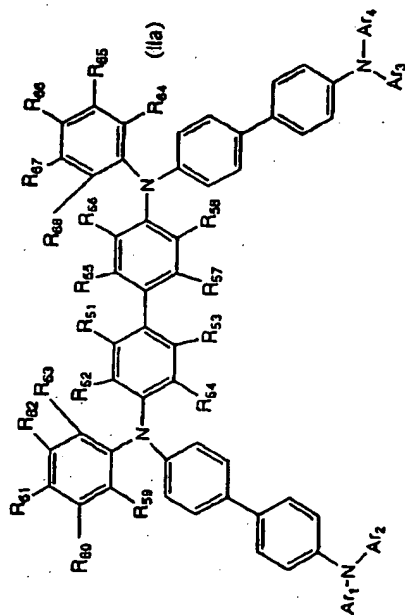
R₁、R₂で表されるアリール基としては式(I)のR₁～R₉のところのもの
と同様のものを挙げることができる。メチル基等が好ましい。p、qは0または1で
あることが好ましい。

式(II)中、R₃およびR₄は各々アリール基を表し、rおよびsは各々0ま
たは1～5の整数である。

R₃、R₄で表されるアリール基としては式(I)のR₁～R₉のところのもの
と同様のものを挙げることができる。フェニル基等が好ましい。r、sは0または
1であることが好ましい。

以下に式(II)で示されるテトラアリールジアミン誘導体の具体例を示すが、本
発明はこれらに限定されるものではない。以下では式(II)中のA₁等の組合せ
を用いて示している。またR₅～R₉、R₁₀～R₁₄ではすべてのHのときはHで

示し、置換基があるときは置換基のみを示している。



化合物	Ar ₁	Ar ₂	Ar ₃	Ar ₄	R ₅₁ ~R ₅₃	R ₅₉ ~R ₆₈
II-101	3- <i>t</i> -Bu-2-yl	3- <i>t</i> -Bu-2-yl	3- <i>t</i> -Bu-2-yl	3- <i>t</i> -Bu-2-yl	H	H
II-102	Ph	3- <i>t</i> -Bu-2-yl	Ph	3- <i>t</i> -Bu-2-yl	H	H
II-103	4- <i>t</i> -Bu-2-yl	4- <i>t</i> -Bu-2-yl	4- <i>t</i> -Bu-2-yl	4- <i>t</i> -Bu-2-yl	H	H
II-104	Ph	4- <i>t</i> -Bu-2-yl	Ph	4- <i>t</i> -Bu-2-yl	H	H
II-105	Ph	2- <i>t</i> -Bu-2-yl	Ph	2- <i>t</i> -Bu-2-yl	H	H
II-106	Pr	<i>t</i> -Bu	Ph	<i>t</i> -Bu	H	H
II-107	Pr	1- <i>t</i> -Bu-2-yl	Ph	1- <i>t</i> -Bu-2-yl	H	H
II-108	2- <i>t</i> -Bu-2-yl	2- <i>t</i> -Bu-2-yl	2- <i>t</i> -Bu-2-yl	2- <i>t</i> -Bu-2-yl	H	H
II-109	3- <i>t</i> -Bu-2-yl	3- <i>t</i> -Bu-2-yl	3- <i>t</i> -Bu-2-yl	3- <i>t</i> -Bu-2-yl	R ₅₁ =R ₅₂ =CH ₃	H
II-110	3- <i>t</i> -Bu-2-yl	3- <i>t</i> -Bu-2-yl	3- <i>t</i> -Bu-2-yl	3- <i>t</i> -Bu-2-yl	H	R ₅₁ =R ₅₂ =Ph
II-111	3- <i>t</i> -Bu-2-yl	3- <i>t</i> -Bu-2-yl	3- <i>t</i> -Bu-2-yl	3- <i>t</i> -Bu-2-yl	H	R ₅₁ =R ₅₂ =Ph
II-112	3- <i>t</i> -Bu-2-yl	3- <i>t</i> -Bu-2-yl	3- <i>t</i> -Bu-2-yl	3- <i>t</i> -Bu-2-yl	H	R ₅₁ =R ₅₂ =Ph

これらの化合物はEP0650955A1 (対称性平7-43564号) 等に記載の方法で合成することができる。
 これらの化合物は、1000~2000程度の分子量をもち、融点は200~400℃程度、ガラス転移温度は130~200℃程度である。このため、通常の真空蒸着等により透明で室温以上でも安定なアモルファス状態を形成し、平常で良好な膜として得られ、しかもそれが長期に渡って維持される。また、バインダー樹脂を用いることなく、それ自体で薄膜化することができる。
 式(II)のテトラアリールジアミン誘導体は1種のみを用いても2種以上を併用

してもよい。

本発明の有機EL素子は、式(1)のクマリン誘導体を発光層に、また式(1)のテトラアリールジアミン誘導体を正孔注入輸送層等の正孔注入性および/または輸送性の層に用いたものである。

本発明の有機EL素子の構成例を図1に示す。図面に示される有機EL素子1は、基板2上に、隔壁3、正孔注入輸送層4、発光層5、電子注入輸送層6、陰極7を順次有し、基板2側から発光を取り出すものである。そして、基板2と隔壁3との間には、発光色をコントロールするために、基板2側からカラーフィルタ層8および偏光変換フィルタ層9が設けられている。さらに、有機EL素子1には、これらの各層4～6、8、9および電極3、7を覆う封止層10が設けられており、これら全体がガラス基板2と一体化されたケーシング11中に配置されている。また、封止層10とケーシング11との間には気体あるいは液体12が充填されている。封止層10はテフロン等の樹脂で形成されており、ケーシング11の材質はガラスやアルミニウム等とすればよく、光酸化性樹脂、接着剤等で基板2等と接合することができる。気体あるいは液体12としては乾燥空気、N₂、Arなどの不活性気体、フロン系化合物などの不活性液体や吸湿剤等が用いられる。

発光層は、正孔（ホール）および電子の注入媒体、それらの輸送媒体、正孔と電子の両結合により励起子を生成させる機能を有する。発光層にはバイポーラ電子およびホールに安定な化合物で、かつ蛍光強度の強い化合物を用いること

電子輸送の各機能の高さを考慮し、必要に応じて設けられる。例えば、発光層に用いる化合物の正孔注入輸送機能または電子注入輸送機能が低い場合には、正孔注入輸送層または電子注入輸送層を設けず、発光層が正孔注入輸送層または電子注入輸送層を兼ねる構成とすることができ、また、場合によっては正孔注入輸送層および電子注入輸送層のいずれも設けなくともよい。また、正孔注入輸送層および電子注入輸送層は、それぞれにおいて、注入機能を付与層と輸送機能を付与層とに別個に設けてもよい。

発光層の厚さ、正孔注入輸送層の厚さおよび電子注入輸送層の厚さは特に限定されず、形成方法によっても異なるが、通常、5～1000nm程度、特に10～200nmとすることが好ましい。

正孔注入輸送層の厚さおよび電子注入輸送層の厚さは、両結合・発光媒体の設計によるが、発光層の厚さと同程度もしくは1/10～1/100程度とすればよい。電子もしくは正孔の、各々の注入層と輸送層を分ける場合は、注入層は4nm以上、輸送層は20nm以上とするのが好ましい。このときの注入層、輸送層の厚さの上限は、通常、注入層で1000nm程度、輸送層で100nm程度である。このような膜厚については注入輸送層を2層設けるときも同じである。

また、組み合わされる発光層や電子注入輸送層や正孔注入輸送層のキャリア移動度やキャリア密度（イオン化ポテンシャル・電子親和力により決まる）を考慮し、層厚をコントロールすることで、両結合媒体・発光媒体を自由に設計することが可能であり、発光色の設計や、両電極の光の干渉効果による発光強度・発光スペクトルの制御や、発光の空間分布の制御を可能にでき、所望の色調や素子や高

効率な素子を得ることができる。

式(1)のクマリン誘導体は、高い蛍光強度をもつ化合物なので発光層に用いることが好ましい化合物であり、発光層におけるその含有量は0.0%以上、さらには1.0%以上であることが好ましい。

本発明において、発光層には式(1)のクマリン誘導体のほかの蛍光物質を用いることができ、こうした蛍光物質としては、例えば、特開昭63-264692

好ましい。正孔注入輸送層は、隔壁からの正孔の注入を容易にする機能、正孔を安定に輸送する機能および電子の輸送を低下させる機能を有し、電子注入輸送層は、隔壁からの電子の注入を容易にする機能、電子を安定に輸送する機能および正孔の輸送を低下させる機能を有するものであり、これらの層は、発光層へ注入される正孔や電子を閉じ込めさせて正孔や電子の密度を増大させて両結合を向上させ、両結合領域を最適化させ、発光効率を改善する。正孔注入輸送層および電子注入輸送層は、発光層に用いる化合物の正孔注入、正孔輸送、電子注入、

号公報に開示されているような化合物、例えばキナクリドン、ルブレチン、スチリル系色素等の化合物から選択される少なくとも1種が挙げられる。また、トリス(8-キノリノラト)アルミニウム等の8-キノリノールないしその誘導体を配位子とする金属錯体色素などのキノリン誘導体、テトラフェニルプロパジエン、アントラセン、ペリレン、コロネン、1,2-フタロペリノン誘導体等が挙げられる。さらには、特開平8-12600号のフェニルアントラセン誘導体、特開平8-12969号のテトラアリアルエチン誘導体等も挙げられる。

特に、式(1)のクマリン誘導体はホスト材料、特にそれ自体で発光が可能なホスト材料と組み合わせ使用すること好ましく、ドーパントとしての使用が好ましい。このような場合の発光層におけるクマリン誘導体の含有量は0.01~10wt%、さらには0.1~5wt%であることが好ましい。ホスト材料と組み合わせ使用することによって、ホスト材料の発光波長特性を変化させることができ、長波長に移行した発光が可能になるとともに、素子の発光効率や安定性が向上する。

実施例には、要求される輝度・寿命・駆動電圧によりドーピング濃度を決めればよく、1wt%以上では、高輝度が素子が得られ、1.5wt%以上5wt%以下では高輝度でかつ駆動電圧上昇が小さく、発光寿命の長い素子が得られる。

式(1)のクマリン誘導体をドーピングするホスト材料としては、キノリン誘導体が好ましく、さらには8-キノリノールないしその誘導体を配位子とするキノリノラト金属錯体、特にアルミニウム錯体が好ましい。このよきの8-キノリノール誘導体は、8-キノリノールにハロゲン原子やアルキル基等が置換したもの、ベンゼン環が置換したものなどである。このようなアルミニウム錯体としては、特

ス(2-メチル-8-キノリノラト)アルミニウムオキシド、トリス(8-キノリノラト)インジウム、トリス(5-メチル-8-キノリノラト)アルミニウム、8-キノリノラトリチウム、トリス(5-クロロ-8-キノリノラト)ガリウム、ビス(5-クロロ-8-キノリノラト)カルシウム、5,7-ジクロロ-8-キノリノラトアルミニウム、トリス(5,7-ジプロモ-8-ヒドロキシキノリノラト)アルミニウム、ポリ[亜鉛(II)-ビス(8-ヒドロキシ-5-キノリニル)メタン]、等がある。

また、8-キノリノールないしその誘導体のほかに他の配位子を有するアルミニウム錯体であってもよく、このようなものとしては、ビス(2-メチル-8-キノリノラト)(フェノラト)アルミニウム(III)、ビス(2-メチル-8-キノリノラト)(オルト-クレゾラト)アルミニウム(III)、ビス(2-メチル-8-キノリノラト)(メタ-クレゾラト)アルミニウム(III)、ビス(2-メチル-8-キノリノラト)(パラ-クレゾラト)アルミニウム(III)、ビス(2-メチル-8-キノリノラト)(オルト-フェニルフェノラト)アルミニウム(III)、ビス(2-メチル-8-キノリノラト)(パラ-フェニルフェノラト)アルミニウム(III)、ビス(2-メチル-8-キノリノラト)(2,3-ジメチルフェノラト)アルミニウム(III)、ビス(2-メチル-8-キノリノラト)(2,3-ジメチルフェノラト)アルミニウム(III)、ビス(2-メチル-8-キノリノラト)(3,4-ジメチルフェノラト)アルミニウム(III)、ビス(2-メチル-8-キノリノラト)(3,5-ジメチルフェノラト)アルミニウム(III)、ビス(2-メチル-8-キノリノラト)(3,5-ジ-tert-ブチルフェノラト)アルミニウム(III)、ビス(2-メチル-8-キノリノラト)(2,6-ジフェニルフェノラト)アル

ミニウム(III)、ビス(2-メチル-8-キノリノラト)(2,4,6-トリフェニルフェノラト)アルミニウム(III)、ビス(2-メチル-8-キノリノラト)(2,3,6-トリメチルフェノラト)アルミニウム(III)、ビス(2-メチル-8-キノリノラト)(2,3,5,6-テトラメチルフェノラト)アルミニウム

11)、ビス(2-メチル-8-キノリノラト)(1-ナフトラト)アルミニウム
 11)、ビス(2-メチル-8-キノリノラト)(2-ナフトラト)アルミニウム
 11)、ビス(2, 4-ジメチル-8-キノリノラト)(オルト-フェニルフェ
 ノラト)アルミニウム(11)、ビス(2, 4-ジメチル-8-キノリノラト)(
 パラ-フェニルフェノラト)アルミニウム(11)、ビス(2, 4-ジメチル-8
 -キノリノラト)(メタ-フェニルフェノラト)アルミニウム(11)、ビス(2
 , 4-ジメチル-8-キノリノラト)(3, 5-ジメチルフェノラト)アルミニ
 ウム(11)、ビス(2, 4-ジメチル-8-キノリノラト)(3, 5-ジテリ
 -プフルフェノラト)アルミニウム(11)、ビス(2-メチル-4-エチル-8-
 キノリノラト)(パラ-クレゾラト)アルミニウム(11)、ビス(2-メチル-4
 -メトキシ-8-キノリノラト)(パラ-フェニルフェノラト)アルミニウム
 11)、ビス(2-メチル-5-シアノ-8-キノリノラト)(オルト-クレゾラ
 ト)アルミニウム(11)、ビス(2-メチル-6-トリフルオロメチル-8-キノ
 リノラト)(2-ナフトラト)アルミニウム(11)等がある。

このほか、ビス(2-メチル-8-キノリノラト)アルミニウム(11)-4-
 オキソ-ビス(2-メチル-8-キノリノラト)アルミニウム(11)、ビス(2
 , 4-ジメチル-8-キノリノラト)アルミニウム(11)-4-オキソ-ビス(2
 , 4-ジメチル-8-キノリノラト)アルミニウム(11)、ビス(4-エチル
 -2-メチル-8-キノリノラト)アルミニウム(11)-4-オキソ-ビス(4
 -エチル-2-メチル-8-キノリノラト)アルミニウム(11)、ビス(2-メ
 チル-4-メトキシキノリノラト)アルミニウム(11)-4-オキソ-ビス(2
 -メチル-4-メトキシキノリノラト)アルミニウム(11)、ビス(5-シアノ
 -2-メチル-8-キノリノラト)アルミニウム(11)-4-オキソ-ビス(5
 -シアノ-2-メチル-8-キノリノラト)アルミニウム(11)、ビス(2-メ
 チル-5-トリフルオ

ロメチル-8-キノリノラト)アルミニウム(11)-4-オキソ-ビス(2-メチ
 ル-5-トリフルオロメチル-8-キノリノラト)アルミニウム(11)等であつて
 もよい。

これらのなかでも、本発明では、特にトリス(8-キノリノラト)アルミニウ
 ムを用いることが好ましい。

このほかの本士は、特開平8-12600号に記載のフェニルア
 ントラセン誘導体や特開平8-12969号に記載のテトラアリアルエチレン誘導
 体なども好ましい。

フェニルアントラセン誘導体は、下記式(V)で表されるものである。

式(V)

$$\text{A}^1\text{-L}^1\text{-A}^2 \quad (\text{V})$$

 式(V)において、A¹およびA²は、各々モノフェニルアントリル基またはジ
 フェニルアントリル基を表し、これらは同一でも異なるものであってもよい。

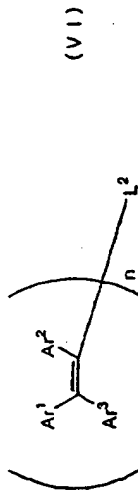
A¹、A²で表されるモノフェニルアントリル基またはジフェニルアントリル基
 は、無置換でも置換基を有するものであってもよく、置換基を有する場合は置換
 基としては、アルキル基、アリール基、アルコキシ基、アリロキシ基、アミノ
 基等が挙げられ、これらの置換基はさらに置換されていてもよい。また、このよ
 うな置換基の置換位置は特に限定されないが、アントラセン環ではなく、アント
 ラセン環に結合したフェニル基であることが好ましい。また、アントラセン環に
 おけるフェニル基の結合位置はアントラセン環の9位、10位であることが好ま
 しい。

式(V)において、L¹は単結合またはアリール基を表す。L¹で表されるア
 リール基としては、無置換であることが好ましく、具体的にはフェニレン基、
 ピフェニレン基、アントリレン基等の通常のアリール基の他、2個ないしそれ
 以上のアリール基が順接連結したものが挙げられる。L¹としては、単結合、
 p-フェニレン基、4, 4'-ビフェニレン基等が好ましい。

また、L¹で表されるアリール基は、2個ないしそれ以上のアリール基が
 アルキレン基、-O-、-S-または-NR-が介在して連結するものであつて

もよい。ここで、Rはアルキル基またはアリール基を表す。アルキル基としては
 メチル基、エチル基等が挙げられ、アリール基としてはフェニル基等が挙げられ
 る。なかでも、アリール基が好ましく、上記のフェニル基のほか、A¹、A²であ

つてもよく、さらにはフェニル基に A^1 または A^2 が置換したものであってもよい。また、アルキレン基としてはメチレン基、エチレン基等が好ましい。また、テトラアリアルエテン誘導体は下記式(VI)で表されるものである。



式(VI)において、 A^1 、 A^2 および A^3 は、各々芳香族残基を表し、これらは同一でも異なるものであってもよい。

A^1 、 A^2 、 A^3 で表される芳香族残基としては、芳香族炭化水素基(アリール基)、芳香族酸素残基が挙げられる。芳香族炭化水素基としては、単環もしくは多環の芳香族炭化水素基であってよく、縮合環や開環系も含まれる。芳香族炭化水素基は、炭数数が6〜30のもの好ましく、置換基を有するものであってもよい。置換基を有する場合の置換基としては、アルキル基、アリール基、アルコキシ基、アリールオキシ基、アミノ基等が挙げられる。芳香族炭化水素基としては、例えばフェニル基、アルキルフェニル基、アルコキシフェニル基、アリールフェニル基、アリールオキシフェニル基、アミノフェニル基、ピフェニル基、ナフチル基、アントリル基、ピレニル基、ペリレン基などが挙げられる。

また、芳香族酸素残基としては、ヘテロ原子としてO、N、Sを含むものが好ましく、6員環であっても5員環であってもよい。具体的には、チエニル基、フリル基、ピローリル基、ピリジル基などが挙げられる。

A^1 、 A^2 、 A^3 で表される芳香族基としては、特にフェニル基が好ましい。

n は2〜6の整数であり、特に2〜4の整数であることが好ましい。

L^2 は n 個の芳香族残基を表すが、特に芳香族炭化水素、芳香族酸素、芳香族エーテルまたは芳香族アミンから誘導される2〜6個、特に2〜4個の残基であることが好ましい。これらの芳香族残基は、さらに置換基を有するものであってもよいが、置換基のものが好ましい。

式(V)、(VI)の化合物は基の組合せ等によって電子輸送性あるいは正孔輸

送性のホスト材料となりうる。

式(I)のクマリン誘導体を用いる発光層としては、上記のホスト材料と組み合わせたものとする。また、少なくとも一種以上の正孔注入輸送性化合物と少なくとも一種以上の電子注入輸送性化合物との組合せとすることも好ましく、この組合せ中に式(I)の化合物をドーパントとして含有させることが好ましい。このような発光層における式(I)のクマリン誘導体の含有量は、0.01〜20wt%、さらには0.1〜15wt%とすることが好ましい。

発光層では、同キャリアのホッピング伝導パスができるため、各キャリアは強制的に優勢な物質中を移動し、逆の極性のキャリア注入は起こりにくくなるので、組合せる化合物をキャリアに対して安定な化合物とすることで、有機化合物がダメージを受けにくくなり、素子寿命のびるという利点があるが、式(I)のクマリン誘導体をこのような発光層に含有させることにより、キャリアに対して安定なまま発光層自体の光放出量を低下させることができ、発光強度を主に長波長に移行させることができることに、発光強度を高め、かつ素子の安定性が向上する。

発光層に用いられる正孔注入輸送性化合物および電子注入輸送性化合物は、各々、後記の正孔注入輸送層等用の化合物および電子注入輸送層等用の化合物の中から選択すればよい。なかでも、正孔注入輸送性化合物としては芳香族三級アミンを用いることが好ましく、具体的には式(I)のテトラアリアルジアミン誘導体、 N 、 N' -ビス(−3−メチルフェニル)− N 、 N' -ジフェニル−4,4'-ジアミノビフェニル、 N 、 N' -ビス(−3−ピフェニル)− N 、 N' -ジフェニル−4,4'-ジアミノビフェニル、 N 、 N' -ビス(−3−ピフェニル)− N 、 N' -ジフェニル−4,4'-ジアミノビフェニル、 N 、 N' -ビス(−4−1−ブチ

ルフェニル)− N 、 N' -ジフェニル−1,1'-ピフェニル−4,4'-ジアミン、 N 、 N' -テトラキス(−3−ピフェニル)−1,1'-ジフェニル−4,4'-ジアミン、 N 、 N' -ジフェニル− N 、 N' -ビス(−4'- N −3(メチルフェニル)− N -フェニル)アミノビフェニル−4-イル)ベンジジンなど、特開2006-285695号、特開2006-234681号、EP0660955A1(実用特許7-43564号)等に記載の化合物が好

けられ、なかでも式 (11) のテトラアリアルジミン誘導体が好ましい。また、電子注入輸送性化合物としては、キノリン誘導体、さらには 8-キノリノールなしいその誘導体を配位子とする金属錯体、特にトリス (8-キノリノール) アルミニウムを用いることが好ましい。

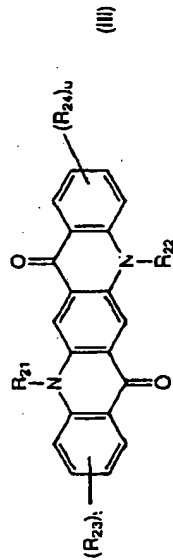
この場合の配合比は、キャリア密度、キャリア移動度により配合比を決めることが好ましい。正孔注入輸送性化合物/電子注入輸送性化合物の重量比が、1/99~99/1、さらには 20/80~80/20、特に 30/70~70/30 程度となるようにすることが好ましい。ただし、素子における材料の組合せによってはこの制限は受けない。

ここで、正孔注入輸送性化合物とは、1 μm 程度のこの化合物の単層膜を陰極と陽極の間に設けた単層膜素子を用い、正孔 (ホール) と電子の電流密度を測定したとき、正孔の電流密度が電子の電流密度に比べ 2 倍を超えるもの、好ましくは 6 倍以上、より好ましくは 10 倍以上になるものである。一方電子注入輸送性化合物とは、同様に通成した単層膜素子を用いて正孔 (ホール) と電子の電流密度を測定したとき、電子の電流密度が正孔の電流密度に比べ 2 倍を超えるもの、好ましくは 6 倍以上、より好ましくは 10 倍以上になるものである。なお、上記で用いる陰極および陽極は、実際に用いるものと同一のものである。

また、混合膜の厚さは、分子層一層に相当する厚みから、有機化合物層の膜厚未満とすることが好ましく、具体的には 1~8 nm とすることが好ましく、さらには 5~6.0 nm、特に 5~5.0 nm とすることが好ましい。

なお、上記のような配合割合においては、式 (1) のクマリン誘導体のほか、式 (111) のキナクリドン化合物または式 (IV) のスチリル系アミン化合物をドープ

メントとして用いることができる。この場合のドープ量は式 (1) のクマリン誘導体と同様である。

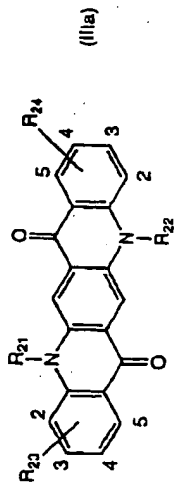


式 (111) について説明すると、式 (11) 中、R₂₁およびR₂₂は水素原子、アルキル基またはアリール基を意味し、これらは同一でも異なるものであってもよい。R₂₁、R₂₂で表されるアルキル基としては、炭素数 1~5 のものが好ましく、置換基を有していてもよい。具体的には、メチル基、エチル基、プロピル基、ブチル基等が挙げられる。

R₂₁、R₂₂で表されるアリール基としては、置換基を有していてもよく、飽和炭素 1~30 のものが好ましく、具体的にはフェニル基、トリル基、ジフェニルアミノフェニル基等が挙げられる。

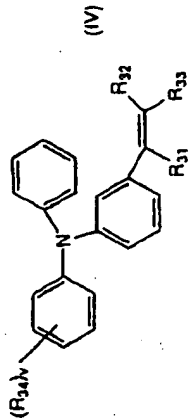
R₂₃、R₂₄は各々アルキル基またはアリール基を意味し、これらの具体例としては、R₂₁、R₂₂のと同じものと同様のものを挙げることができる。t および u は各々 0 または 1~4 の整数であり、0 であることが好ましい。t、u が 2 以上であるとき、隣接する R₂₃同士、R₂₄同士は互いに融合して環を形成してもよく、このような環としてはベンゼン環、ナフタレン環等の炭素環が挙げられる。

式 (111) のキナクリドン化合物の具体例を以下に示す。具体例は下記式 111 a) の R₂₁等の組合せで示している。また、同様の融合ベンゼン環には 1-位~5-位の位置を示し、これらにさらに融合ベンゼン環がつく場合の位置がわかるようにされている。



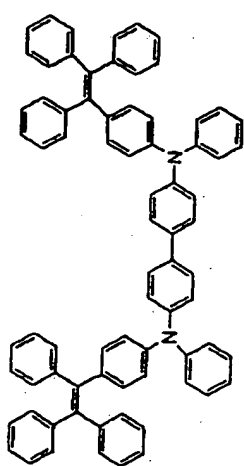
化合物 No.	R ₂₁	R ₂₂	R ₂₃	R ₂₄
III-1	H	H	H	H
III-2	-CH ₃	-CH ₃	H	H
III-3	-C ₂ H ₅	-C ₂ H ₅	H	H
III-4	-C ₃ H ₇	-C ₃ H ₇	H	H
III-5	-C ₄ H ₉	-C ₄ H ₉	H	H
III-6	-Ph	-Ph	H	H
III-7	o-トリル	o-トリル	H	H
III-8	m-トリル	m-トリル	H	H
III-9	p-トリル	p-トリル	H	H
III-10			H	H
III-11	-CH ₃	-CH ₃	2,3-結合 ベンゾ	2,3-結合 ベンゾ
III-12	H	H	2,3-結合 ベンゾ	2,3-結合 ベンゾ

これらの化合物は公知の方法、例えば米国特許第2821529号、同第2821530号、同第2844484号、同第2844485号等によって合成でき、市販品を用いることもできる。

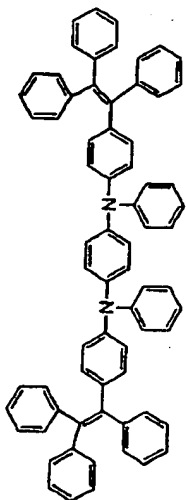


式 (IV) について説明すると、式 (IV) 中、R₃₁は水素原子またはアリール基を表す。R₃₁で表されるアリール基としては置換基を有するものであってもよく、総炭素数6〜30のものがあり、例えばフェニル基等が挙げられる。
R₃₂およびR₃₃は各々水素原子、アリール基またはアルケニル基を表し、これらは同一でも異なるものであってもよい。
R₃₂、R₃₃で表されるアリール基としては置換基を有するものであってもよく、総炭素数6〜70のものがあり、具体的にはフェニル基、ナフチル基、アントリル基等が挙げられ、置換基としてはアリールアミノ基、アリールアミノアリール基等が好ましい。また置換基にはスチリル基が含まれることも好ましく、このような場合式 (IV) で示される化合物から誘導される一価の基同士が、それ自体でまたは置換基を介して結合したような構造であることも好ましい。
R₃₄で表されるアルケニル基としては置換基を有するものであってもよく、総炭素数2〜50のものがあり、ビニル基等が挙げられ、ビニル基とともにスチリル基を形成していることが好ましく、このような場合、式 (IV) で示される化合物から誘導される一価の基同士が、それ自体でまたは置換基を介して結合したような構造であることも好ましい。
R₃₄はアリールアミノ基またはアリールアミノアリール基を表し、これらには

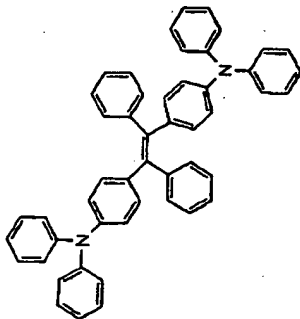
スチリル基を含んでいてもよく、このような場合、上記の同じく、式 (IV) で示される化合物から誘導される一価の基同士がそれ自体でまたは置換基を介して結合したような構造であることも好ましい。
式 (IV) のスチリル系アミン化合物の具体例を以下に示す。



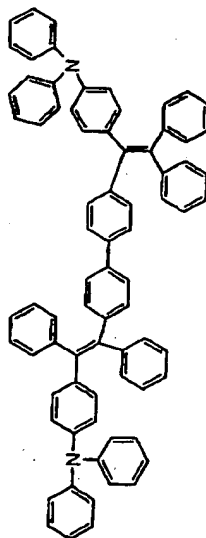
IV-1



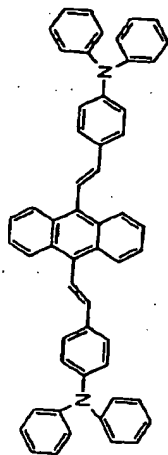
IV-2



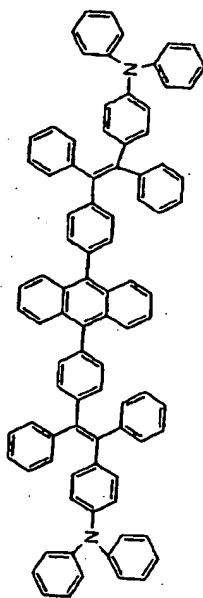
IV-3



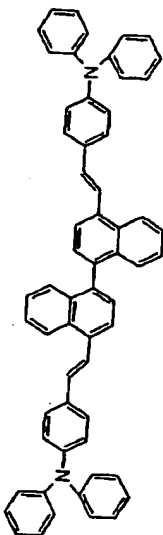
IV-4



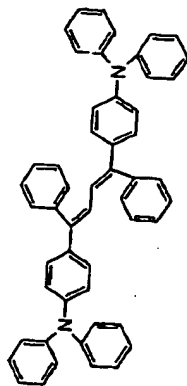
IV-5



IV-6



IV-7



IV-8

これらの化合物は公知の方法、例えばトリフェニルアミン誘導体をWittig
8反応させる、あるいはN1 (O) 錯体を用いてハロゲン化トリフェニルアミン
誘導体を (ホモ・ヘテロ) カップリングさせることによって合成でき、市販品を
用いることもできる。

なお、重合層におけるドーパントは、1種のみを用いても、2種以上を用い
てもよい。

重合層の形成方法としては、異なる蒸気圧より選択させる共蒸着が好ましいが
、蒸気圧 (純物質) が同程度あるいは非常に近い場合には、予め同じ蒸着ボ

と絶縁層の両側に、正孔注入層と電子注入層を2層以上設けるとともに同族である、このような絶縁層とすることによって、駆動電圧が低下し、電流リークの発生やゲークラスレットの発生・成長を防ぐことができる。また、素子化する場合、蒸着を用いているので1～10nm程度の薄い膜も、均一かつピンホールフリーとすることができるため、正孔注入層にイオン化ポテンシャルが小さく、可視部に吸収をもつような化合物を用いても、発光色の色調変化や吸収による効率の低下を防ぐことができる。

式(11)のテトラアリールジアンミン誘導体は、一般に発光層の層に用いることが好ましい。

本発明では、電子注入性および/または輸送性の層として電子注入輸送層を設けてもよい。電子注入輸送層には、トリリス(8-キノリノラト)アルミニウム等の8-キノリノールないしその誘導体を配位子とする有機金属錯体などのキノリン誘導体、オキサジアゾール誘導体、ペリレン誘導体、ピリジン誘導体、ビリミジン誘導体、キノキサリン誘導体、ジフェニルキノリン誘導体、ニトロ置換フルオレン誘導体等を用いることができる。電子注入輸送層は発光層を兼ねたものであることもよく、このような場合はトリリス(8-キノリノラト)アルミニウム等を使用することが好ましい。電子注入輸送層の形成は発光層と同様に蒸着等によればよい。

電子注入輸送層を電子注入層と電子輸送層とに分けて設ける場合は、電子注入輸送層用の化合物のなかから好ましい組合せを選択して用いることができる。このとき、陰極側から電子親和力の値の大きい化合物の層に接合することが

好ましい。陰極に接して電子注入層、発光層に接して電子輸送層を設けることが好ましい。電子親和力と絶縁層との関係については電子注入輸送層を2層以上設けるとともに同様である。

本発明では、上記の発光層や正孔注入輸送層や電子注入輸送層などのような有機化合物層に、一重項酸素クエンチナーとして知られているような化合物を含有させてもよい。このようなクエンチナーとしては、ルブレンやニッケル錯体、ジフェニルイソベンゾフラン、三級アミン等が挙げられる。

好ましい。陰極に接して電子注入層、発光層に接して電子輸送層を設けることが好ましい。電子親和力と絶縁層との関係については電子注入輸送層を2層以上設けるとともに同様である。

本発明では、上記の発光層や正孔注入輸送層や電子注入輸送層などのような有機化合物層に、一重項酸素クエンチナーとして知られているような化合物を含有させてもよい。このようなクエンチナーとしては、ルブレンやニッケル錯体、ジフェニルイソベンゾフラン、三級アミン等が挙げられる。

特に正孔注入輸送層、正孔注入層あるいは正孔輸送層において、式(1)のテトラアールジアミン誘導体の芳香族三級アミンとルブレノとの併用は好ましく、この場合のルブレノの使用量は式(1)のテトラアールジアミン誘導体の芳香族三級アミンの0.1~2.0倍であることが好ましい。このようなルブレノについては、EP065095A1 (対応特許平7-43564号)等の記載を参照することができる。ルブレノを正孔輸送層等に含有させることで正孔輸送層等の化合物を電子注入から守ることができる。さらには、両結合領域をトリス(8-キノリノラト)アルミニウムのような電子注入輸送性化合物を含有する層中の界面近傍から芳香族三級アミンのような正孔注入輸送性化合物を含有する層中の界面近傍にすらすすることで正孔注入からトリス(8-キノリノラト)アルミニウム等を守ることができる。なお、ルブレノに限らず、電子親和力が正孔注入輸送性化合物よりも低く、電子注入と正孔注入に対して安定な化合物であれば同様に用いることができる。

本発明において、陰極には、仕事関数の小さい材料、例えば、Li、Na、Mg、Al、Ag、Inあるいはこれらの1種以上を含む合金を用いることが好ましい。また、陰極は結晶粒が細かいことが好ましく、特に、アモルファス状態であることが好ましい。陰極の厚さは10~1000nm程度とすることが好ましい。また、電極形成の最後にAlや、フッ素化合物を蒸着、スパッタすることによって、電極が向上する。

有機EL素子で発光させるためには、少なくとも一方の電極が透明ないし半透明である必要があり、上記したように陰極の材料には制限があるので、好まし

くは発光光の透過率が80%以上となるように陽極の材料および厚さを決定することが好ましい。具体的には、例えば、ITO (スズドープ酸化インジウム)、IZO (亜鉛ドープ酸化インジウム)、 SnO_2 、Ni、Au、Pt、Pd、Pb、バントをドープしたポリシリコンなどを陽極に用いることが好ましい。また、陽極の厚さは10~500nm程度とすることが好ましい。また、素子の層構造を向上させるために駆動電圧が低いことが必要であるが、好ましいものとして10~300V/cm²または10V/cm²以下 (通常0.1~10V/cm²) のITO (

厚み10~300nm)が挙げられる。実際には、ITO層表面と陰極表面での光の多重反射による光干渉効果が高い光取り出し効率、高い色純度を満足できるようにITOの膜厚、光半定数を設計してやればよい。またディスプレイのよう大きなデバイスにおいては、ITOの抵抗が大きくなるのでAl等の配線をしてよい。

基板材料に特に制限はないが、図示例では基板側から発光光を取り出すため、ガラスや樹脂等の透明ないし半透明材料を用いる。また、基板には、図示のように、カラーフィルター膜や蛍光物質を含む蛍光変換フィルター膜、あるいは陽極体配線層を用いて発光色をコントロールしてもよい。

なお、基板に不透明な材料を用いる場合には、図1に示される積層順序を逆にしてもよい。

本発明では、発光層に式(1)の種々のクマリン誘導体を用いることによって例えば緑($\lambda_{\text{em}} 490 \sim 550 \text{ nm}$)、青($\lambda_{\text{em}} 440 \sim 490 \text{ nm}$)、赤($\lambda_{\text{em}} 580 \sim 660 \text{ nm}$)の発光を得ることができ、特に $\lambda_{\text{em}} 480 \sim 640 \text{ nm}$ の発光を好ましく得ることができる。

この上まの緑、青、赤のCIE色度座標は、好ましくは現行CIEの色純度と同等以上またはNTSC標準の色純度と同等であればよい。

上記の色度座標は一般的な色度測定機で測定することができる。本発明ではトプコン社製の測定機BM-7、SR-1などを用いて測定している。

本発明における好ましい λ_{em} 、CIE色度座標のx、y値の発光は、カラーフィルター膜や蛍光変換フィルター膜などを設けることによって得てもよい。

カラーフィルター膜には、液晶ディスプレイ等で用いられているカラーフィルターを用いてもよいが、有機ELの発光する光に合わせてカラーフィルターの特性を調整し、取り出し効率・色純度を最適化すればよい。また、EL素子材料や蛍光変換層が光吸収するような短波長の光をカットできるカラーフィルターを用いることが好ましく、これにより素子の画光性・表示のコントラストも向上する。このときカットする光は緑の場合560nm以上の波長の光および480nm以下の波長の光であり、青の場合480nm以上の波長の光であり、赤の場合580nm

また、カラーフィルター膜や蛍光変換フィルター膜の上には保護膜を設けることが好ましい。保護膜の材質はガラス、樹脂等であってよく、フィルター膜のダメージが防止でき、後工程での問題が起きないような材料を選択すればよく、その厚さは1~10 μm 程度である。保護膜を設けることにより、フィルター膜のダメージを防止でき、表面をフラット化でき、屈折率や膜厚の調整、光取り出し効率の向上等を図ることができる。

これらのカラーフィルター膜、蛍光変換フィルター膜、保護膜の材料は、市販品をそのまま用いることができ、これらの膜は蒸着法、電解重合法、気相成長法(熱蒸、スパッタ、CVD)等によって形成することができる。

次に、本発明の有機EL素子の製造方法を説明する。

陰極および陽極は、蒸着法やスパッタ法等の気相成長法により形成することが好ましい。

正孔注入輸送層、発光層および電子注入輸送層の形成には、均質な薄膜が形成できることから真空蒸着法を用いることが好ましい。真空蒸着法を用いた場合、アモルファス状態または結晶状態が0.1 μm 以下(通常、下限値は0.001 μm 程度である。)の均質な薄膜が得られる。結晶粒径が0.1 μm を超えていると、不均一な発光となり、素子の駆動電圧を高くしなければならなくなり、電荷の注入効率も著しく低下する。

真空蒸着の条件は特に限定されないが、 1.0^{-3}Pa (1.0^{-5}Torr) 以下の真空度とし、蒸着速度は0.001~100 nm/sec 程度とすることが好ましい。また、真空中で連続して各層を形成することが好ましい。真空中で連続して形成すれば、

各層の界面に不純物が吸着することを防げるため、高特性が得られる。また、素子の駆動電圧を低くすることができる。

これら各層の形成に真空蒸着法を用いる場合において、1層に複数の化合物を含有させる場合、化合物を入れた各ポートを個別に温度制御して蒸着すること、が好ましいが、予め混合してから蒸着してもよい。またこの他、溶液塗布法(スピンコート、ディップ、キャスト等)、ラングミュア・ブロッジェット(LB)法などを用いることもできる。溶液塗布法では、ポリマー等のマトリクス物質中に

以下の波長の光である。このようなカラーフィルターを用いることにより、CIE色度座標において好ましいx、y値が得られる。カラーフィルター膜の厚さは0.5~20 μm 程度とすればよい。

また、誘電体多層膜のような光学膜を用いてカラーフィルター膜の代わりにしてもよい。

・蛍光変換フィルター膜は、EL発光を吸収し、蛍光変換膜中の蛍光体から光を放出させることで発光色の色変換を行うものであるが、バインダー、蛍光材料、光吸収材料の三つから形成される。

蛍光材料は、基本的には蛍光量子収率が高いものを用い、よく、EL発光波長域に吸収が強いことが望ましい。具体的には蛍光スペクトルの発光強度最大波長が490~580 nm の場合、490~550 nm 、青の場合440~480 nm 、赤の場合580~640 nm であり、 λ_{max} 付近のスペクトルの半値幅がいずれの場合にも10~100 nm である蛍光物質が好ましい。発光には、レーザー用色素などが選んでおり、ローダミン系化合物、ペリレン系化合物、シアニン系化合物、フタロシアニン系化合物(サブフタロシアニン等も含む)、ナフタロイミド系化合物、縮合環炭化水素系化合物、縮合複素環系化合物、スチリル系化合物等を用い、よく、フォトリンバインダーは基本的に蛍光を消光しないような材料を選べばよく、フォトリンバインダー、印刷等で微細なパターンニングができるようなものが好ましい。また、ITOの成膜時にダメージを受けないような材料が好ましい。

光吸収材料は、蛍光材料の光吸収が足りない場合に用いるが、必要のない場合は用いなくてもよい。また、光吸収材料は、蛍光材料の蛍光を消光しないような

材料を選べばよい。

このような蛍光変換フィルターを用いることによって、CIE色度座標において好ましいx、y値が得られる。また、蛍光変換フィルター膜の厚さは0.5~20 μm 程度とすればよい。

本発明では図示例のようにカラーフィルター膜と蛍光変換フィルター膜とを併用してもよく、好ましくは発光光を取り出す際に特定波長の光をカットするようなカラーフィルター膜を配置すればよい。

これらの面により、発光層内の電子とホールの分極が決まり、発光領域が決まる。

実際には、電極・電子輸送性層・ホール輸送性層でのキャリア濃度・キャリア移動度が十分大きければ上記のように界面の障壁だけで問題は片づくが、電子輸送性層・ホール輸送性層に有機化合物を用いた場合、発光層に対してキャリア輸送性の輸送能力が不十分になるため、発光層のキャリア濃度はキャリア注入電極のエネルギレベルとキャリア輸送性層のキャリア輸送性（キャリア移動度・エネルギーレベル）にも依存する。このため、発光層への各キャリア電流密度は、用いる各層の有機化合物の特性に大きく依存する。

ここで比較的単純な場合を用いてさらに説明する。

例えば、障壁/ホール輸送性層/発光層/電子輸送性層/陰極の構成において、発光層界面での各キャリア輸送性層でのキャリア密度が一定の場合を考える。

この場合ホール輸送性層から発光層へのホールに対する障壁と電子輸送性層から発光層への電子に対する障壁が等しい時もしくは、非常に近い値（ $< 0.2 \text{ V}$ ）であれば発光層への各キャリア注入量は同程度となり、発光層各界面近傍での電子濃度とホール濃度は等しいか非常に近い濃度となる。ここで発光層の各キャリアの移動度が等しければ、発光層内で両結合がキャリアの突き抜けがない場合効果的に起こり高効率・高効率な発光が得られる。しかしながら、電子とホールの障壁が等しく局所的な障壁で両結合が起こる場合や、発光層内に大きなキャリアの障壁（ $> 0.2 \text{ eV}$ ）等がある場合は、発光領域が狭がらず、複数の異なる発光波長の発光分子を同時に発光させることができなくなるので、バイポーラ発光層には向かない。適当な電子とホールの衝突確率を持たせて両結合領域を決めるような大きなキャリアの障壁のない発光層を作ることがバイポーラ型発光層には必要である。

また、発光層からの各キャリアの突き抜けを防止するため、ホール輸送性層の電子プロック機能や電子輸送性層のホールプロック機能も効率的な向上に有効である。さらにこのような機能は、複数の発光層を持つ構成においては、それぞれのプロック層が両結合ポイントおよび発光ポイントとなり、複数の発光層を発光

各化合物を分散させる構成としてもよい。

以上においては、単一色発光の有機EL素子について述べてきたが、本発明では2層以上の発光層を発光させることが可能な有機EL素子を構成することができ、このような有機EL素子では、バイポーラ型発光層を含む2層以上の発光層を設け、2層以上の発光層をバイポーラ型発光層同士の場合、バイポーラ型発光層とこれより障壁側の正孔輸送性の発光層との場合、バイポーラ型発光層とこれより障壁側の電子輸送性の発光層との場合のいずれかとするものである。

ここで、バイポーラ型発光層は、発光層内の電子注入・輸送とホール注入・輸送が同じ程度あり、電子とホールが発光層全体に広がっている発光層である。トおよび発光ポイントが発光層全体に広がっている発光層である。

さらに説明すると電子輸送性層から注入される電子による電流密度とホール輸送性層から注入されるホールによる電流密度が同程度のオーダー、すなわち同キャリアの電流密度の比が $1/10 \sim 10/1$ 、好ましくは $1/6 \sim 6/1$ 、より好ましくは $1/2 \sim 2/1$ である発光層である。

この場合の同キャリアの電流密度の比は、具体的に、実際に使用するものと同じ電極を用い、発光層の単層膜を $1 \mu\text{m}$ 程度の厚さに成膜し、この電流密度の測定値から求めればよい。

一方、正孔輸送性の発光層は、ホールの電流密度がバイポーラ型よりも高いものであり、電子輸送性のものは、電子の電流密度がバイポーラ型よりも高いものである。

さらに、バイポーラ型発光層を主体にして説明する。

一般には電流密度はキャリア濃度とキャリア移動度の積で決まる。すなわち、発光層でのキャリア密度は、各界面での障壁で決まる。例えば、電子については電子注入される発光層界面での電子の障壁の大きさ（電子障壁の値）で決まり、ホールについてはホール注入される発光層界面でのホールの障壁の大きさ（イオン化ポテンシャルの値）で決まる。また、キャリア移動度は発光層に用いる材料の価数で決まる。

てもよい。
したがって、本発明におけるバイポーラ型発光層としては、混合層タイプのものが好ましく、2層以上の発光層はすべて混合層であることが好ましい。また、2層以上の発光層のうち少なくとも1層にはドーパントがドーピングされていることが好ましく、さらに好ましくはすべての発光層にドーパントがドーピングされていることである。

本発明の好ましい素子構成について説明すると、ドーパントをドーピングした混合層タイプの発光層のほかに、さらにドーパントをドーピングした発光層を設け、ドーピングした発光層を2層以上とするものである。ドーピングした発光層の組合せとしては、混合層同士、混合層とこれより隔壁側に設けられた正孔伝送性の発光層および/または隔壁側に設けられた電子伝送性の発光層であり、長寿命化を図る上では、特に混合層同士の組合せが好ましい。

この場合の混合層は、前記と同様に、正孔注入伝送性化合物と電子注入伝送性化合物とを含有する層であり、これらの混合層をホスト材料として用いたものである。また正孔伝送性の発光層は正孔注入伝送性化合物を、電子伝送性の発光層は電子注入伝送性化合物を各々ホスト材料として用いたものである。

次に、このような特に好ましい有機EL素子における発光過程について説明する。

1) まず、混合層同士の組合せ、例えば混合層が2層の場合を説明する。正孔注入および/または伝送性の層（「正孔層」と略す）側の混合層を混合層第1層、電子注入および/または伝送性の層（「電子層」と略す）側の混合層を混合層第2層とすると、正孔層から注入された正孔（ホール）は混合層第1層を通過し混合

層第2層へ、電子層から注入された電子は混合層第2層を通過し混合層第1層へと進むことが可能である。両混合層は電子通過、ホール通過および電子ホール衝突確率によって決まるが、両混合層は混合層第1、第2層、界面等の障壁がないので、広く分散する。したがって、混合層第1、第2層でそれぞれ励起子が生成され、それぞれのホストから、最も近い発光層にエネルギー移動する。混合層第1層で生成された励起子はこの層中の発光層（ドーパント）へ、混合層第2層ではこの層中の

させるバイポーラ型発光層を設計する上で重要である。

次に発光層内での各キャリア移動度が異なる場合、発光層界面での各キャリア伝送性層での各キャリア密度を調整することで、上記のような単純な場合と同様なバイポーラ型発光層と同様な状態を形成できる。当該発光層でのキャリア移動度の低い方のキャリア注入性界面での各キャリア密度を高めてやればならない。

さらに、発光層界面での各キャリア移動度を調整することで上記のような単純な場合と同様なバイポーラ型発光層と同様な状態を形成できる。

ただし、調整には限界があり、理想的には発光層の各キャリア移動度と各キャリア密度が等しいか、ほぼ同程度であることが望ましい。

上記のようなバイポーラ型発光層を設けることで、複数の発光層を持つ発光素子が得られるが、各発光層の発光安定性を得るには、発光層を、物理的・化学的・電気化学的・光化学的に安定化しなければならぬ。

特に発光層は、電子の注入・輸送、ホールの注入・輸送、両層合、発光などの機能が要求されるが、特に電子・ホールの注入・輸送する状態は、アニオンラジカル・カチオンラジカルもしくは、それに近い状態に相当し、有機固体薄膜材料に対してこのような電気化学的状態での安定性が要求される。

また、有機ELの原理は電気的分子励起状態からの光放出による発光であり、電気的に蛍光発光させることである。すなわち、固体薄膜中で蛍光を失活させるような劣化物が強量でも生成すると発光寿命は致命的に短くなり、実用に耐えない。

素子の発光安定性を得るには上記のような安定性を持つ化合物・素子構成、特

に電気化学的に安定な化合物・素子構成を持つことが必要である。

上記の条件を全て満足するような化合物等を用いて発光層を形成してやればよいが、一つの化合物で、バイポーラ型発光層を形成するのは難しい。より簡便な方法として、各キャリアに安定なホール伝送性化合物と電子伝送性化合物との混合層とすることで安定なバイポーラ型発光層を得ることができる。また、蛍光性を強めることで高輝度とするために混合層に高蛍光性ドーパントをドーピングし

発光層（ドーバント）へエネルギー移動することにより、2種の発光層が発光可能になる。

このような現象は混合層が3層以上であっても同様である。

ただし、ドーバントがキャリアトラップとして働く場合、トラップの深さを考慮する必要がある。

ii) 次に、正孔輸送性の発光層と混合発光層の組合せについて、例えば正孔輸送性から正孔輸送性の発光層、混合発光層の順に2層設けた場合を説明する。正孔輸送性から注入されたホールは正孔輸送性の発光層を通過し、電子層から注入された電子は、混合発光層中を通過し、正孔輸送性の発光層と混合発光層の界面近傍、および混合発光層中に拡がって再結合する。正孔輸送性の発光層の界面近傍、および混合発光層中で、それぞれ励起子が生成され、それぞれのホストから、励起子のマイグレーションできる範囲にあるエネルギーギャップの一番小さい発光層にエネルギー移動する。この際正孔輸送性の層の界面近傍で生成された励起子はこの層中の発光層（ドーバント）へ、混合層ではこの層中の発光層（ドーバント）へエネルギー移動することにより、2種の発光層が発光可能になっている。また、正孔輸送性の層のドーバントLUMO準位において電子が捕らえられ、正孔輸送性発光層中で再結合し発光することにより、2種の発光層が発光可能になる。

iii) さらに、電子輸送性の発光層と混合発光層の組合せについて、例えば電子層側から電子輸送性の発光層、混合発光層の順に2層設けた場合を説明する。電子層から注入された電子は、電子輸送性の発光層中を通過し混合層へ進入し、正孔層から注入されたホールは混合層へ入る。混合層と電子輸送性の発光層の界面近傍、および混合発光層中に拡がって再結合する。電子輸送性の発光層の界面近傍、お

電子輸送性発光層中で再結合することにより、2種の発光層が発光可能になっている。

ii)、iii) については、これらの組合せ、あるいはこれらにおいて発光層を3層以上としたときも同様の現象が起きる。

混合層におけるホスト材料としての正孔注入輸送性化合物と電子注入輸送性化合物との混合比は目的とするホストのキャリア輸送性によって変化する。正孔注入輸送性化合物は通常体積比で5/95～95/5の範囲のなかから選択される。正孔注入輸送性化合物比率の高い場合にはホール輸送量が多く両結合領域は陽極側にシフトし、電子注入輸送性化合物比率の高い場合には電子輸送量が多く両結合領域は陰極側にシフトする。それに伴って混合層の発光強度のバランスが変化する。このように、混合層型ホストのキャリア輸送性を調えることにより各発光層での発光強度を調えることができる。

また、本発明では、ホスト材料の種類を調えることによってキャリア輸送性を調えることができる。

このように本発明で、2層以上の発光層の発光特性をそれぞれの層について調整可能とすることができ、したがって、発光層のキャリア輸送性と構成を最適にすることができ、このとき、一層に2層以上の発光層があってもよい。

このような多色発光に対処した発光層の1層当たりの厚さは5～10 nm、さらには10～80 nmであることが好ましく、発光層の合計厚さは60～400 nmであることが好ましい。なお、混合層1層当たりの厚さは5～10 nm、さらには10～60 nmであることが好ましい。

このように複数の発光特性の異なる発光層を設ける場合、発光極大波長が長波長側の発光層を陽極側に設けることが好ましい。また、長寿命化を図る上ではド

ーバントとしてルブレン等のナフタセン骨格を有する化合物を発光層（特に混合層）にドーピングすることが好ましい。

次に、このような多色発光に対処した有機EL素子に用いるホスト材料およびドーバントについて説明する。ドーバントとしては、すでに述べた式(1)で示されるクマリン誘導体、式(11)で示されるキナクリドン化合物、式(12)で

および混合発光層中で、それぞれ励起子が生成され、それぞれのホストから、励起子のマイグレーションギャップの一番小さい発光層にエネルギー移動する。この際、電子輸送性の発光層界面で生成された励起子はこの層中の発光層（ドーバント）へ、混合発光層ではこの層中の発光層（ドーバント）へエネルギー移動すること、または電子輸送性の層のドーバントHOMO準位においてホールが捕らえ

示されるスチリル系アミン化合物、ルブレソンのナフタセン骨格を有する化合物を用いることができる。このほか、前記の発光材料となりうる化合物も用いることができる。さらには、式 (VII) で示される縮合多環化合物を用いることができる。式 (VII) について説明する。式 (VII) には前記のルブレソも含まれる。



式 (VII) において、Ar は芳香族残基を表し、m は 2～8 の整数であり、各々の Ar は同一でも異なるものであってもよい。

芳香族残基としては、芳香族炭化水素残基、芳香族複素環残基が挙げられる。芳香族炭化水素残基としては、ベンゼン環を含む炭化水素基のいずれであってもよく、例えば単環もしくは多環の芳香族炭化水素残基が挙げられ、縮合環や環系も含まれる。

芳香族炭化水素残基は、縮環数が 6～30 のものが好ましく、置換基を有するものであってもよい。置換基を有する場合の置換基としては、アルキル基、アルコキシ基、アリール基、アリールオキシ基、アミノ基、複素環基等が挙げられる。芳香族炭化水素残基としては、フェニル基、アルキルフェニル基、アルコキシフェニル基、アリールフェニル基、アリールオキシフェニル基、アルケニルフェニル基、アミノフェニル基、ナフチル基、アントリル基、ピレニル基、ペリレン基などが挙げられる。また、アルキニルアレーン (アリールアルキン) から誘導されるアリールアルキン基であってもよい。

芳香族複素環残基としてはヘテロ原子として O、N、S を含むものが好ましく、5 員環でも 6 員環でもよい。具体的には、チエニル基、フリル基、ピローリル基、ピリジル基などが挙げられる。

Ar としては、芳香族炭化水素残基が好ましく、特に、フェニル基、アルキル

基、エチル基、(n, l) -プロピル基、(n, l, sec, tert) -ブチル基、(n, l, neo, tert) -ペンチル基、(n, l, neo) -ヘキシル基等のアルキル基が挙げられ、これらのアルキル基のフェニル基における置換位置は o, m, p 位のいずれであってよい。このようなアルキルフェニル基の具体例としては、(o, m, p) -トリル基、4-n-ブチルフェニル基、4-tert-ブチルフェニル基、等が挙げられる。

アリールフェニル基としては、アリール部分がフェニル基であるものが好ましく、このようなフェニル基は置換されていてもよく、このときの置換基はアルキル基であることが好ましく、具体的には上記のアルキルフェニル基のところでも例示したアルキル基を挙げることができる。さらには、アリール部分は、フェニル基等のアリール基が置換したフェニル基であってもよい。このようなアリールフェニル基の具体例としては、(o, m, p) -ピフェニル基、4-トリルフェニル基、3-トリルフェニル基、テラフェニル基等が挙げられる。

アルケニルフェニル基としては、アルケニル部分の縮環数が 2～20 のものが好ましく、アルケニル基としてはトリアリールアルケニル基が好ましく、例えばトリフェニルビニル基、トリトリルビニル基、トリピフェニルビニル基等が挙げられる。このようなアルケニルフェニル基の具体例としては、トリフェニルビニルフェニル基等が挙げられる。

アミノフェニル基としては、アミノ部分がアリールアミノ基であるものが好ましく、アリールアミノ基としてはジフェニルアミノ基、フェニルトリアルアミノ基等が挙げられる。このようなアミノフェニル基の具体例としては、ジフェニルアミノフェニル基、フェニルトリアルアミノフェニル基等が挙げられる。

ナフチル基としては、1-ナフチル基、2-ナフチル基等であってよい。

アリールアルキル基としては、縮環数 8～20 のものが好ましく、フェニ

ルエチニル基、トリルエチニル基、ピフェニルエチニル基、ナフチルエチニル基、ジフェニルアミノフェニルエチニル基、N-フェニルトリアルアミノフェニルエチニル基、フェニルプロピニル基等が挙げられる。

また、式 (VII) における m は整数 3～10、好ましくは 3～6 の縮合多環系

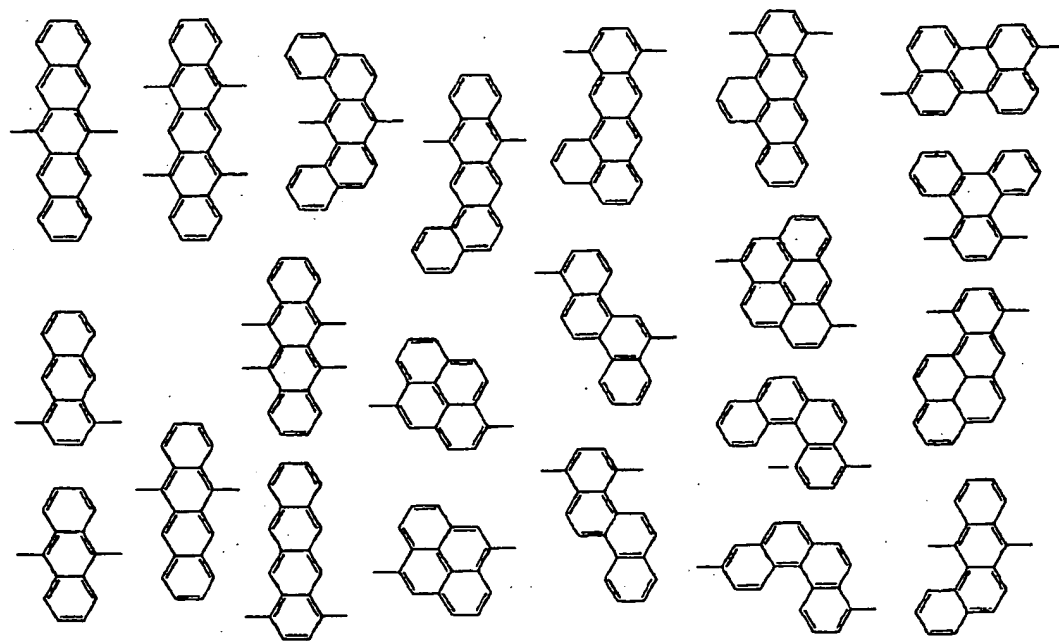
香族のm (2~8) 価の残基を表す。縮合環とは、環の構成原子のうち2個以上の原子が他の環と共有して結合している炭素環や炭素環などにより形成された環式構造をいう。縮合多環芳香族としては、縮合多環芳香族炭化水素、縮合多環芳香族炭素が挙げられる。

縮合多環芳香族炭化水素としては、アントラセン、フェナントレン、ナフタセン、ピレン、クリセン、トリフェニレン、ベンゾ [c] フェナントレン、ベンゾ [a] アントラセン、ベンタセン、ペリレン、ジベンゾ [a, i] アントラセン、ジベンゾ [a, h] アントラセン、ベンゾ [a] ナフタセン、ヘキサセン、アントラントレンなどが挙げられる。

縮合多環芳香族炭素環としては、ナフト [2, 1-f] イソキノリン、 α -ナフトフェナントリジン、フェナントロオキサゾール、キノリノ [6, 5-f] キノリン、ベンゾ [b] チオフェナントレン、ベンゾ [g] チオフェナントレン、ベンゾ [11] チオフェナントレン、ベンゾ [b] チオフェナントラキノンなどが挙げられる。

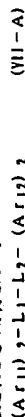
特には、縮合多環芳香族炭化水素が好ましく、Lはこれらの縮合多環芳香族炭化水素から誘導される2~8価、さらには2~6価の残基であることが好ましい。

このような縮合多環芳香族の2~8価の残基Lの具体例を以下に示す。



たはヘキサセンから誘導される2~8面、特に2~6面の残基が好ましい、とりわけナフタセンから誘導されるもの、すなわちなフタセン骨格を有する化合物を構成するものが好ましい。

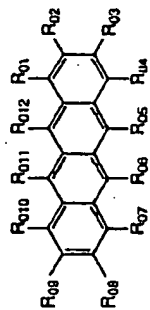
また、Lとしてアントラセンから誘導される2~6面、さらには2~4面の残基が好ましい。ただし、Lがアントラセンから誘導される2または3面の残基であるとき、2個または3個存在するA_rのうち、少なくとも1個はアルキルアレーン(アリールアルキル)から誘導される残基である。さらには、A_rのうち2個以上がこのような残基であることが好ましい。そして、特にLはアントラセンから誘導される3面の残基として、式VII)の化合物としては、このようなLであって、2個のA_rがアリールアルキル基、1個のA_rがビス(アリールアルキル)アントリル基であるものが好ましく、特に式VII-A)で表されるものが好ましい。



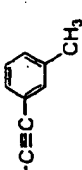

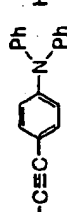
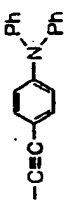
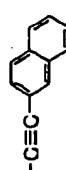

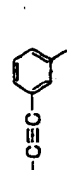

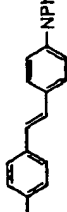
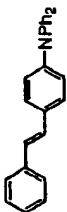


式中、L₁およびL₂は各々アントラセンから誘導される3面の残基を表し、これらは通常同一であるが、異なっていることもよい。A_r1およびA_r2は各々アリールアルキル基を表し、これらは通常同一であるが、異なっていることもよい。なお、アリールアルキル基のアントラセンにおける結合位置は、アントラセンの9,10位であることが好ましく、アントラセン同士は1位または2位で結合することが好ましい。また、アリールアルキル基は具体的には前記と同様のものが挙げられる。

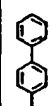

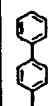

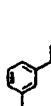
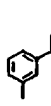
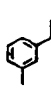



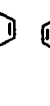






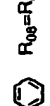



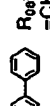


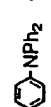
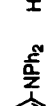
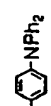

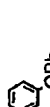

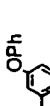

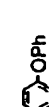
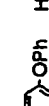
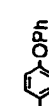


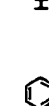


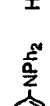
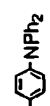
以下に、式(VIII)で表される化合物の具体例を示すが、本発明はこれらに限定されるものではない。ここでは、式(VII-1)~(VII-8)を用いて、これらR₀₁等の組み合わせで示している。なお、R₀₁~R₀₄等のようにまとめているものについては、特にことわらない限り、Hであることを示し、すべてHであるときはHで示している。

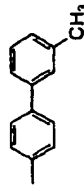
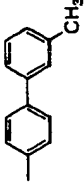
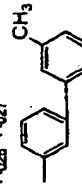
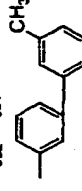
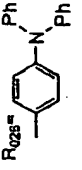
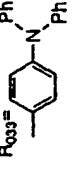
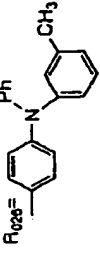
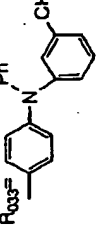
(VII-1)

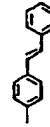
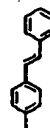
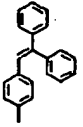
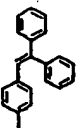



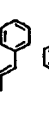
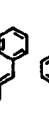


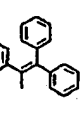
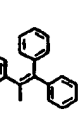


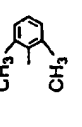
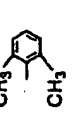

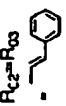
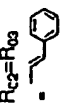


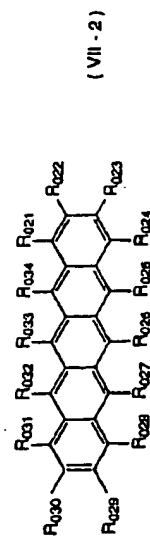
化合物 No.	R ₀₁ -R ₀₄	R ₀₅	R ₀₆	R ₀₇ -R ₀₁₀	R ₀₁₁	R ₀₁₂
1-1	H	m-ピフエニル	H	H	H	m-ピフエニル
1-2	H	O-ピフエニル	H	H	H	O-ピフエニル
1-3	H	4-n-ブチルフエニル	H	H	H	4-n-ブチルフエニル
1-4	H	4-t-ブチルフエニル	H	H	H	4-t-ブチルフエニル
1-5	H	p-ピフエニル	H	H	H	p-ピフエニル
1-6	H		H	H	H	
1-7	H		H	H	H	
1-8	H	Ph	H	H	H	Ph
1-9	H	2-ナフチル	H	H	H	2-ナフチル
1-10	H		H	H	H	
1-11	H	1-ナフチル	H	H	H	1-ナフチル
1-12	H	m-トリル	H	H	H	m-トリル
1-13	H	o-トリル	H	H	H	o-トリル
1-14	H	p-トリル	H	H	H	p-トリル
1-15	H		H	H	H	

化合物 No.	$R_{01}-R_{04}$	R_{05}	R_{06}	$R_{07}-R_{010}$	R_{011}	R_{012}
1-16	H	$-C\equiv C-Ph$	H	H	H	$-C\equiv C-Ph$
1-17	H	$-C\equiv C-Ph$	$-C\equiv C-Ph$	H	$-C\equiv C-Ph$	$-C\equiv C-Ph$
1-18	H	$-C\equiv C-$ 	H	H	H	$-C\equiv C-$ 
1-19	H	$-C\equiv C-$ 	H	H	H	$-C\equiv C-$ 
1-20	H	$-C\equiv C-$ 	H	H	H	$-C\equiv C-$ 
1-21	H	$-C\equiv C-$ 	H	H	H	$-C\equiv C-$ 
1-22	H	Ph	Ph	H	Ph	Ph
1-23	H		H	H	H	
1-24	H		H	H	H	

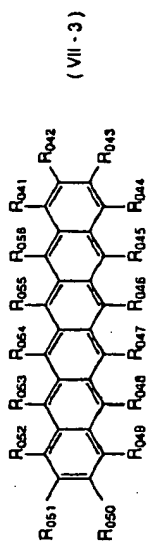
化合物 No.	$R_{01}-R_{04}$	R_{05}	R_{06}	$R_{07}-R_{010}$	R_{011}	R_{012}
1-25	H			H		
1-26	H			H		
1-27	H			H		
1-28	$R_{02}=R_{03}=CH_3$			H		
1-29	$R_{02}=R_{03}=CH_3$			$R_{06}=R_{08}=CH_3$		
1-30	$R_{02}=R_{03}=CH_3$			$R_{06}=R_{08}=CH_3$		
1-31	H			H		
1-32	H			H		
1-33	H			H		
1-34	H			H		
1-35	H	Ph		H		Ph

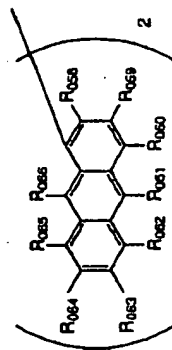
化合物 No.	R ₀₂₁ -R ₀₂₄	R ₀₂₅ -R ₀₂₇	R ₀₂₈ -R ₀₃₁	R ₀₃₂ -R ₀₃₄
2-1	H	R ₀₂₅ =o-ピフェニル	H	R ₀₃₂ =o-ピフェニル
2-2	H	R ₀₂₅ =m-ピフェニル	H	R ₀₃₂ =m-ピフェニル
2-3	H	R ₀₂₅ =4-n-ブチルフェニル	H	R ₀₃₂ =4-n-ブチルフェニル
2-4	H	R ₀₂₅ =m-トリル	H	R ₀₃₂ =m-トリル
2-5	H	R ₀₂₅ =R ₀₂₇ =m-ピフェニル	H	R ₀₃₂ =R ₀₃₄ =m-ピフェニル
2-6	H	R ₀₂₅ =R ₀₂₇ =4-n-ブチルフェニル	H	R ₀₃₂ =R ₀₃₄ =4-n-ブチルフェニル
2-7	H	R ₀₂₅ =p-ピフェニル	H	R ₀₃₂ =p-ピフェニル
2-8	H	R ₀₂₅ =R ₀₂₇ =p-ピフェニル	H	R ₀₃₂ =R ₀₃₄ =p-ピフェニル
2-9	H	R ₀₂₅ =R ₀₂₇ =Ph	H	R ₀₃₂ =R ₀₃₄ =Ph
2-10	H	R ₀₂₅ =R ₀₂₇ =m-トリル	H	R ₀₃₂ =R ₀₃₄ =m-トリル
2-11	H	R ₀₂₅ =R ₀₂₇ = 	H	R ₀₃₂ =R ₀₃₄ = 
2-12	H	R ₀₂₅ =R ₀₂₇ = 	H	R ₀₃₂ =R ₀₃₄ = 
2-13	H	R ₀₂₅ = 	H	R ₀₃₂ = 
2-14	H	R ₀₂₅ = 	H	R ₀₃₂ = 
2-15	H	R ₀₂₅ =1-ナフチル	H	R ₀₃₂ =1-ナフチル
2-16	H	R ₀₂₅ =2-ナフチル	H	R ₀₃₂ =2-ナフチル

化合物 No.	R ₀₁ -R ₀₄	R ₀₅	R ₀₆	R ₀₇ -R ₀₁₀	R ₀₁₁	R ₀₁₂
1-36	H	Ph		H		Ph
1-37	H	Ph		H		Ph
1-38	H	Ph		H		Ph
1-39	H			H		
1-40	H			H		
1-41	H			H		
1-42	R ₀₁ =R ₀₄ =Ph	H	H	H	H	H
1-43	R ₀₁ =R ₀₄ =Ph	H	H	R ₀₇ =R ₀₁₀ =Ph	H	H
1-44	R ₀₂ =R ₀₃ 	Ph	Ph	H	Ph	Ph
1-45	R ₀₂ =R ₀₃ 	Ph	H	H	H	Ph




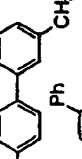


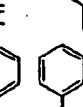
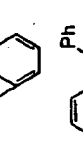
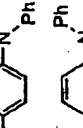
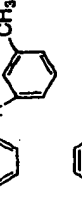
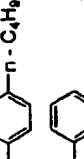

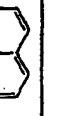
化合物 No.	$R_{021}-R_{024}$	$R_{025}-R_{027}$	$R_{028}-R_{031}$	$R_{032}-R_{034}$
2-17	H	$R_{026}=-C\equiv C-Ph$	H	$R_{033}=-C\equiv C-Ph$
2-18	H	$R_{026}=-C\equiv C-\text{CH}_3$	H	$R_{033}=-C\equiv C-\text{CH}_3$
2-19	H	$R_{026}=-C\equiv C-Ph$	H	$R_{033}=-C\equiv C-Ph$
2-20	H	$R_{026}=-C\equiv C-\text{N}(Ph)_2$	H	$R_{033}=-C\equiv C-\text{N}(Ph)_2$
2-21	H	$R_{026}=-C\equiv C-\text{C}_6\text{H}_5$	H	$R_{033}=-C\equiv C-\text{C}_6\text{H}_5$
2-22	H	$R_{026}=-C\equiv C-\text{C}_6\text{H}_4$	H	$R_{033}=-C\equiv C-\text{C}_6\text{H}_4$
2-23	H	$R_{026}=-C\equiv C-\text{CH}_3$	H	$R_{033}=-C\equiv C-\text{CH}_3$
2-24	H	$R_{026}=-C\equiv C-Ph$	H	$R_{033}=-C\equiv C-Ph$
2-25	H	$R_{026}=-C\equiv C-\text{N}(Ph)_2$	H	$R_{033}=-C\equiv C-\text{N}(Ph)_2$
2-26	H	$R_{026}=-C\equiv C-\text{C}_6\text{H}_5$	H	$R_{033}=-C\equiv C-\text{C}_6\text{H}_5$
2-27	H	$R_{026}=-C\equiv C-\text{C}_6\text{H}_4$	H	$R_{033}=-C\equiv C-\text{C}_6\text{H}_4$



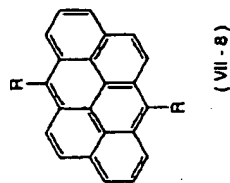
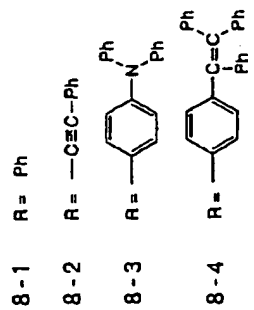
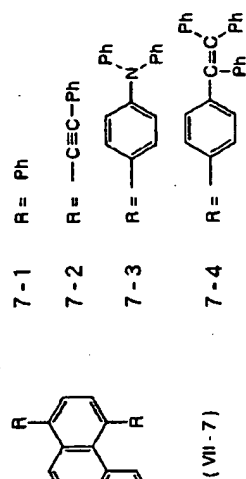
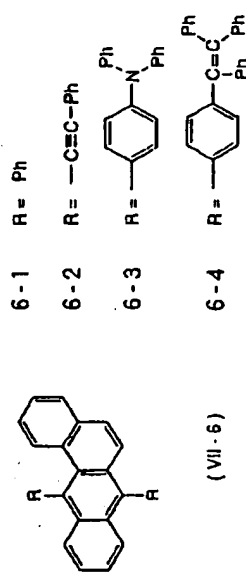


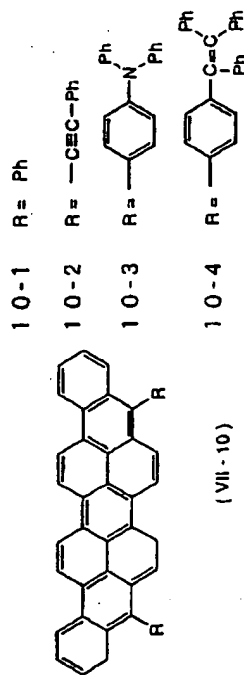
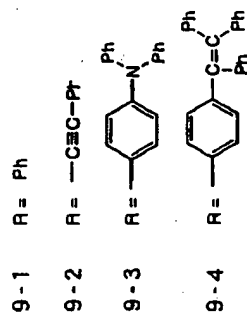
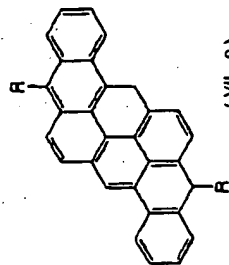
化合物 No.	R ₈₇	R ₀₈₉ -R ₀₈₈
4-1	H	R ₀₈₁ = R ₀₈₈ =
4-2	H	R ₀₈₁ = R ₀₈₈ =
4-3	H	R ₀₈₁ = R ₀₈₈ =
4-4	H	R ₀₈₁ = R ₀₈₈ =
4-5	H	R ₀₈₁ = R ₀₈₈ =
4-6	H	R ₀₈₁ = R ₀₈₈ =
4-7	H	R ₀₈₁ = R ₀₈₈ =
4-8	H	R ₀₈₁ = R ₀₈₈ =
4-9	H	R ₀₈₁ = R ₀₈₈ =
4-10	H	R ₀₈₁ = R ₀₈₈ =
4-11	H	R ₀₈₁ = R ₀₈₈ =
4-12	H	R ₀₈₁ = R ₀₈₈ =

(73)

化合物 No.	$R_{065}-R_{066}$
5-1	$R_{061} = R_{065} = -C \equiv C-Ph$
5-2	$R_{061} = R_{065} = -C \equiv C-$ 
5-3	$R_{061} = R_{065} = -C \equiv C-$ 
5-4	$R_{061} = R_{065} = -C \equiv C-$ 
5-5	$R_{061} = R_{065} = -C \equiv C-$ 
5-6	$R_{061} = R_{065} = -C \equiv C-$ 
5-7	$R_{061} = R_{065} = -C \equiv C-$ 
5-8	$R_{061} = R_{065} = -C \equiv C-$ 
5-9	$R_{061} = R_{065} = -C \equiv C-$ 
5-10	$R_{061} = R_{065} = -C \equiv C-$ 
5-11	$R_{061} = R_{065} = -C \equiv C-$ 
5-12	$R_{061} = R_{065} = -C \equiv C-$ 

(74)



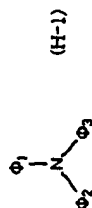


ドーパントのドーパントは、発光層の0.01~10体積%であることが好ましい。

一方、発光層に用いるホスト材料としては、前記のホスト材料、正孔注入輸送性化合物、電子注入輸送性化合物として挙げたもののなかから選択することができる。

正孔注入輸送性化合物である正孔輸送性のホスト材料としては、式(II)で示されるテトラアールジアン類を好ましいものとして挙げられる。

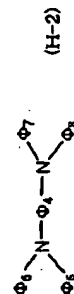
以下に、前記の化合物に包含しないし重複するものがあるが、正孔輸送性のホスト材料を列挙する。ここでは、式(H-1)~(H-12)に従う ϕ_1 等の組合せで示している。なお、式(H-6a)~(H-6c)、式(H-7a)~(H-7e)では組合せが共通であるため、H-6、H-7としてまとめて示している。








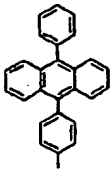





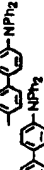
(H-1)	化合物	ϕ_1	ϕ_2	ϕ_3
H-1-1		Ph	同左	同左
H-1-2		o-ピフェニリル	同左	同左
H-1-3		m-ピフェニリル	同左	同左
H-1-4		p-ピフェニリル	同左	同左
H-1-5			同左	同左
H-1-6			同左	同左
H-1-7			同左	同左
H-1-8		2-ナフチル	同左	同左
H-1-9			同左	同左
H-1-10			同左	同左
H-1-11			同左	同左
H-1-12			同左	同左
H-1-13			同左	同左

(H-2)	化合物	Φ_4	Φ_3	Φ_6	Φ_7	Φ_8
H-2-1		同上	Ph	同左	同左	同左
H-2-2		同上	o-ビフェニリル	同左	同左	同左
H-2-3		同上	m-ビフェニリル	同左	同左	同左
H-2-4		同上	p-ビフェニリル	同左	同左	同左
H-2-5		同上		同左	同左	同左
H-2-6		同上		同左	同左	同左
H-2-7		同上		同左	同左	同左
H-2-8		同上	1-ナフチル	同左	同左	同左
H-2-9		同上	2-ナフチル	同左	同左	同左
H-2-10		同上		同左	同左	同左
H-2-11		同上		同左	同左	同左
H-2-12		同上		同左	同左	同左
H-2-13		同上		同左	同左	同左
H-2-14		同上		同左	同左	同左



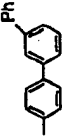
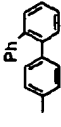
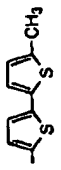
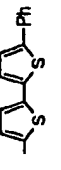
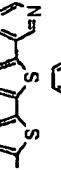
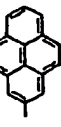
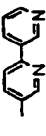
(H-1)	化合物	Φ_1	Φ_2	Φ_3
H-1-14		同左	同左	同左
H-1-15		同左	同左	同左
H-1-16		同左	同左	同左
H-1-17		同左	同左	同左
H-1-18		同左	同左	同左
H-1-19		m-ビフェニリル	同左	H
H-1-20		同左	同左	同左
H-1-21		同左	同左	同左
H-1-22		同左	同左	同左
H-1-23		同左	同左	同左
H-1-24		同左	同左	同左
H-1-25		同左	同左	同左
H-1-26		同左	同左	同左
H-1-27		同左	同左	同左




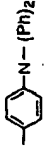

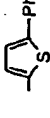
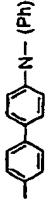
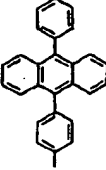
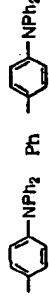
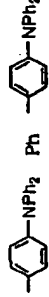
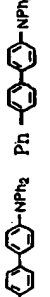
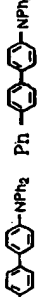

(H-2)

化合物	Φ_4	Φ_3	Φ_2	Φ_1
H-2-15			同左	同左
H-2-16	同上		同左	同左
H-2-17	同上		同左	同左
H-2-18	同上		同左	同左
H-2-19	同上		同左	同左
H-2-20	同上	Ph	H	H
H-2-21	同上	o-ビフェニリル	H	o-ビフェニリル H
H-2-22	同上	m-ビフェニリル	H	m-ビフェニリル H
H-2-23	同上	p-ビフェニリル	H	p-ビフェニリル H
H-2-24	同上	1-ナフチル	H	1-ナフチル H
H-2-25	同上	2-ナフチル	H	2-ナフチル H
H-2-26			H	
H-2-27				II



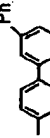
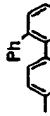


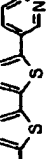
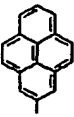
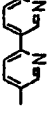
(H-2)

化合物	Φ_4	Φ_3	Φ_2	Φ_1
H-2-101		Ph	同左	同左
H-2-102	同上	o-ビフェニリル	同左	同左
H-2-103	同上	m-ビフェニリル	同左	同左
H-2-104	同上	p-ビフェニリル	同左	同左
H-2-105	同上		同上	同上
H-2-106	同上		同上	同左
H-2-107	同上		同上	同左
H-2-108	同上	1-ナフチル	同左	同左
H-2-109	同上	2-ナフチル	同左	同左
H-2-110	同上		同左	同左
H-2-111	同上		同左	同左
H-2-112	同上		同左	同左
H-2-113	同上		同左	同左
H-2-114	同上		同左	同左

(H-2)

化合物	Φ_4	Φ_3	Φ_6	Φ_7	Φ_1
H-2-115			同左	同左	同左
H-2-116	同上		同左	同左	同左
H-2-117	同上		同左	同左	同左
H-2-118	同上		同左	同左	同左
H-2-119	同上		同左	同左	同左
H-2-120	同上	Ph	H	Ph	H
H-2-121	同上	Ph		Ph	
H-2-122	同上	Ph		Ph	
H-2-123	同上		同左	Ph	Ph

(H-2)

化合物	Φ_4	Φ_3	Φ_6	Φ_7	Φ_1
H-2-201		Ph	同左	同左	同左
H-2-202	同上	o-ピフェニリル	同左	同左	同左
H-2-203	同上	m-ピフェニリル	同左	同左	同左
H-2-204	同上	p-ピフェニリル	同左	同左	同左
H-2-205	同上		同左	同左	同左
H-2-206	同上		同左	同左	同左
H-2-207	同上		同左	同左	同左
H-2-208	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左
H-2-209	同上	1-ナフチル	同左	同左	同左
H-2-210	同上		同左	同左	同左
H-2-211	同上		同左	同左	同左
H-2-212	同上		同左	同左	同左
H-2-213	同上		同左	同左	同左
H-2-214	同上		同左	同左	同左

(83)

W098/08360

(H-2)

化合物	Φ_4	Φ_3	Φ_2	Φ_1
H-2-215			同左	同左
H-2-216	同上		同左	同左
H-2-217	同上		同左	同左
H-2-218	同上		同左	同左
H-2-219	同上		同左	同左
H-2-220	同上	Ph	H	H

(84)

W098/08360

(H-2)

化合物	Φ_4	Φ_3	Φ_2	Φ_1
H-2-301		Ph	同左	同左
H-2-302	同上	o-ピフェニル	同左	同左
H-2-303	同上	m-ピフェニル	同左	同左
H-2-304	同上	p-ピフェニル	同左	同左
H-2-305	同上		同左	同左
H-2-306	同上		同左	同左
H-2-307	同上		同左	同左
H-2-308	同上	2-ナフチル	同左	同左
H-2-309	同上	1-ナフチル	同左	同左
H-2-310	同上		同左	同左
H-2-311	同上		同左	同左
H-2-312	同上		同左	同左
H-2-313	同上		同左	同左
H-2-314	同上		同左	同左

(H-2)

化合物	Φ_4	Φ_3	Φ_6	Φ_7	Φ_8
H-2-315			同左	同左	同左
H-2-316	同上		同左	同左	同左
H-2-317	同上		同左	同左	同左
H-2-318	同上		同左	同左	同左
H-2-319	同上		同左	同左	同左
H-2-320	同上	Ph	H	Ph	H
H-2-321	同上		Ph		Ph
H-2-322		Ph	同左	同左	同左
H-2-323		Ph	同左	同左	同左
H-2-324		Ph	同左	同左	同左

(H-2)

化合物	Φ_4	Φ_3	Φ_6	Φ_7	Φ_8
H-2-401		Ph	同左	同左	同左
H-2-402	同上	o-ピフエニリル	同左	同左	同左
H-2-403	同上	m-ピフエニリル	同左	同左	同左
H-2-404	同上	p-ピフエニリル	同左	同左	同左
H-2-405	同上		同左	同左	同左
H-2-406	同上		同左	同左	同左
H-2-407	同上		同左	同左	同左
H-2-408	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左
H-2-409	同上		同左	同左	同左
H-2-410	同上		同左	同左	同左
H-2-411	同上		同左	同左	同左
H-2-412	同上		同左	同左	同左
H-2-413	同上		同左	同左	同左

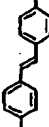
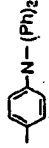

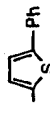
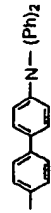
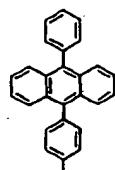

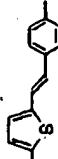
(H-2)

化合物	Φ_4	Φ_5	Φ_6	Φ_7	Φ_1
H-2-414			同左	同左	同左
H-2-415	同上		同左	同左	同左
H-2-416	同上		同左	同左	同左
H-2-417	同上		同左	同左	同左
H-2-418	同上		同左	同左	同左
H-2-419	同上	Ph	H	Ph	H

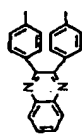

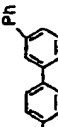
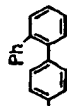

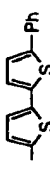
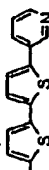
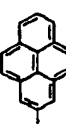
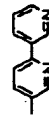
(H-2)

化合物	Φ_4	Φ_5	Φ_6	Φ_7	Φ_1
H-2-501		Ph	同左	同左	同左
H-2-502	同上	o-ビフェニリル	同左	同左	同左
H-2-503	同上	m-ビフェニリル	同左	同左	同左
H-2-504	同上	p-ビフェニリル	同左	同左	同左
H-2-505	同上		同左	同左	同左
H-2-506	同上		同左	同左	同左
H-2-507	同上		同左	同左	同左
H-2-508	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左
H-2-509	同上	1-ナフチル	同左	同左	同左
H-2-510	同上		同左	同左	同左
H-2-511	同上		同左	同左	同左
H-2-512	同上		同左	同左	同左
H-2-513	同上		同左	同左	同左
H-2-514	同上		同左	同左	同左


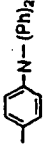
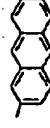

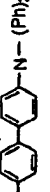
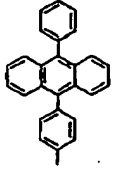
(H-2)

化合物	Φ_4	Φ_3	Φ_6	Φ_7	Φ_8
H-2-515			同左	同左	同左
H-2-516	同上		同左	同左	同左
H-2-517	同上		同左	同左	同左
H-2-518	同上		同左	同左	同左
H-2-519	同上		同左	同左	同左
H-2-520	同上	Ph	H	Ph	H
H-2-521		Ph	同左	同左	同左
H-2-522		Ph	同左	同左	同左

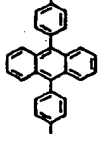
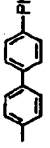
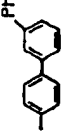
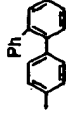



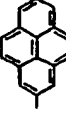

(H-2)

化合物	Φ_4	Φ_3	Φ_6	Φ_7	Φ_8
H-2-601		Ph	同左	同左	同左
H-2-602	同上	o-ピフェニリル	同左	同左	同左
H-2-603	同上	m-ピフェニリル	同左	同左	同左
H-2-604	同上	p-ピフェニリル	同左	同左	同左
H-2-605	同上		同左	同左	同左
H-2-606	同上		同左	同左	同左
H-2-607	同上		同左	同左	同左
H-2-608	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左
H-2-609	同上		同左	同左	同左
H-2-610	同上		同左	同左	同左
H-2-611	同上		同左	同左	同左
H-2-612	同上		同左	同左	同左
H-2-613	同上		同左	同左	同左

(H-2)

化合物	Φ_4	Φ_3	Φ_6	Φ_7	Φ_8
H-2-614			同左	同左	同左
H-2-615	同上		同左	同左	同左
H-2-616	同上		同左	同左	同左
H-2-617	同上		同左	同左	同左
H-2-618	同上		同左	同左	同左
H-2-619	同上	Ph	H	Ph	H

(H-2)

化合物	Φ_4	Φ_3	Φ_6	Φ_7	Φ_8
H-2-701		Ph	同左	同左	同左
H-2-702	同上	o-ピフェニリル	同左	同左	同左
H-2-703	同上	m-ピフェニリル	同左	同左	同左
H-2-704	同上	p-ピフェニリル	同左	同左	同左
H-2-705	同上		同左	同左	同左
H-2-706	同上		同左	同左	同左
H-2-707	同上		同左	同左	同左
H-2-708	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左
H-2-709	同上		同左	同左	同左
H-2-710	同上		同左	同左	同左
H-2-711	同上		同左	同左	同左
H-2-712	同上		同左	同左	同左
H-2-713	同上		同左	同左	同左

(H-2)

化合物	Φ_4	Φ_5	Φ_6	Φ_7	Φ_8
H-2-714			同左	同左	同左
H-2-715	同上		同左	同左	同左
H-2-716	同上		同左	同左	同左
H-2-717	同上		同左	同左	同左
H-2-718	同上		同左	同左	同左
H-2-719	同上	Ph	H	Ph	H
H-2-720		Ph	Ph	Ph	Ph

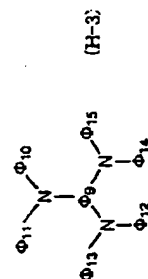
(94)

(H-2)

化合物	Φ_4	Φ_5	Φ_6	Φ_7	Φ_8
H-2-801		Ph	同左	同左	同左
H-2-802	同上	o-ビフェニリル	同左	同左	同左
H-2-803	同上	m-ビフェニリル	同左	同左	同左
H-2-804	同上	p-ビフェニリル	同左	同左	同左
H-2-805	同上		同左	同左	同左
H-2-806	同上		同左	同左	同左
H-2-807	同上		同左	同左	同左
H-2-808	同上	2-ナフテル	同左	同左	同左
H-2-809	同上		同左	同左	同左
H-2-810	同上		同左	同左	同左
H-2-811	同上		同左	同左	同左
H-2-812	同上		同左	同左	同左
H-2-813	同上		同左	同左	同左

(H-2)


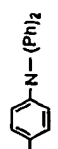
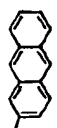
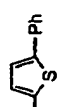
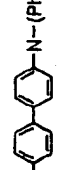
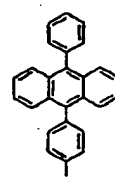



化合物	Φ_4	Φ_3	Φ_6	Φ_7	Φ_8
H-2-814			同左	同左	同左
H-2-815	同上		同左	同左	同左
H-2-816	同上		同左	同左	同左
H-2-817	同上		同左	同左	同左
H-2-818	同上		同左	同左	同左
H-2-819	同上	同上	H	Ph	H
H-2-820		同上	同左	同左	同左





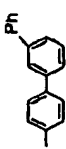
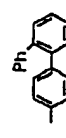
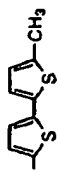
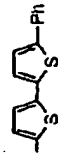
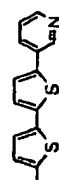
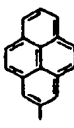
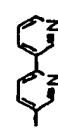
(H-3)

化合物	Φ_9	Φ_{10}	Φ_{11}	Φ_{12}	Φ_{13}	Φ_{14}	Φ_{15}
H-3-1		Ph	同左	同左	同左	同左	同左
H-3-2	同上	α -ピフェニリル	同左	同左	同左	同左	同左
H-3-3	同上	m-ピフェニリル	同左	同左	同左	同左	同左
H-3-4	同上	p-ピフェニリル	同左	同左	同左	同左	同左
H-3-5	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-6	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-7	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-8	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左	同左	同左
H-3-9	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-10	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-11	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-12	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-13	同上		同左	同左	同左	同左	同左

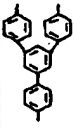
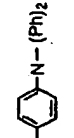
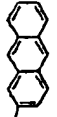
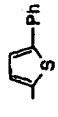
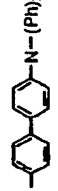
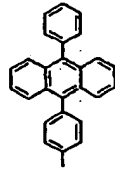
(H-3)

化合物	Φ_9	Φ_{10}	Φ_{11}	Φ_{12}	Φ_{13}	Φ_{14}	Φ_{15}
H-3-14			同左	同左	同左	同左	同左
H-3-15	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-16	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-17	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-18	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-19	同上	Ph	H	Ph	H	Ph	H
H-3-20	同上		H		H		H

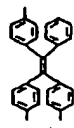
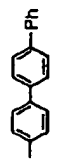
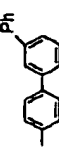
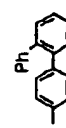
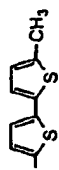
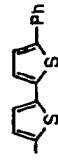
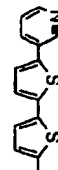
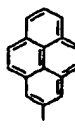
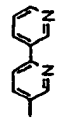
(H-3)

化合物	Φ_9	Φ_{10}	Φ_{11}	Φ_{12}	Φ_{13}	Φ_{14}	Φ_{15}
H-3-101		Ph	同左	同左	同左	同左	同左
H-3-102	同上	o-ピフェニリル	同左	同左	同左	同左	同左
H-3-103	同上	m-ピフェニリル	同左	同左	同左	同左	同左
H-3-104	同上	p-ピフェニリル	同左	同左	同左	同左	同左
H-3-105	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-106	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-107	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-108	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左	同左	同左
H-3-109	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-110	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-111	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-112	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-113	同上		同左	同左	同左	同左	同左

(H-3)

化合物	Φ_9	Φ_{10}	Φ_{11}	Φ_{12}	Φ_{13}	Φ_{14}	Φ_{15}
H-3-114			同左	同左	同左	同左	同左
H-3-115	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-116	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-117	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-118	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-119	同上	Ph	H	Ph	H	Ph	H

(H-3)

化合物	Φ_9	Φ_{10}	Φ_{11}	Φ_{12}	Φ_{13}	Φ_{14}	Φ_{15}
H-3-201		Ph	同左	同左	同左	同左	同左
H-3-202	同上	o-ピフェニル	同左	同左	同左	同左	同左
H-3-203	同上	m-ピフェニル	同左	同左	同左	同左	同左
H-3-204	同上	p-ピフェニル	同左	同左	同左	同左	同左
H-3-205	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-206	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-207	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-208	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左	同左	同左
H-3-209	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-210	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-211	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-212	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-213	同上		同左	同左	同左	同左	同左

(H-3)

化合物	Φ_9	Φ_{10}	Φ_{11}	Φ_{12}	Φ_{13}	Φ_{14}	Φ_{15}
H-3-214			同左	同左	同左	同左	同左
H-3-215	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-216	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-217	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-218	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-219	同上	Ph	H	Ph	H	Ph	H

(H-3)

化合物	Φ_9	Φ_{10}	Φ_{11}	Φ_{12}	Φ_{13}	Φ_{14}	Φ_{15}
H-3-301		Ph	同左	同左	同左	同左	同左
H-3-302	同上	O-ビフェニリル	同左	同左	同左	同左	同左
H-3-303	同上	m-ビフェニリル	同左	同左	同左	同左	同左
H-3-304	同上	p-ビフェニリル	同左	同左	同左	同左	同左
H-3-305	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-306	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-307	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-308	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左	同左	同左
H-3-309	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-310	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-311	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-312	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-313	同上		同左	同左	同左	同左	同左

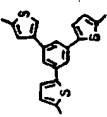

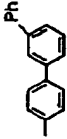
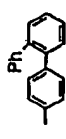

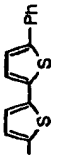
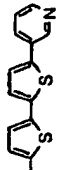
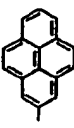

(H-3)

化合物	Φ_9	Φ_{10}	Φ_{11}	Φ_{12}	Φ_{13}	Φ_{14}	Φ_{15}
H-3-314			同上	同左	同左	同左	同左
H-3-315	同上		同上	同左	同左	同左	同左
H-3-316	同上		同上	同左	同左	同左	同左
H-3-317	同上		同上	同左	同左	同左	同左
H-3-318	同上		同上	同左	同左	同左	同左
H-3-319	同上	同上	H	Ph	H	Ph	H

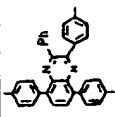


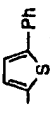
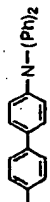
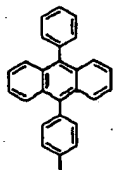
(H-3)

化合物	Φ_9	Φ_{10}	Φ_{11}	Φ_{12}	Φ_{13}	Φ_{14}	Φ_{15}
H-3-401		同上	同上	同左	同左	同左	同左
H-3-402	同上	同上	同上	同左	同左	同左	同左
H-3-403	同上	同上	同上	同左	同左	同左	同左
H-3-404	同上	同上	同上	同左	同左	同左	同左
H-3-405	同上	同上	同上	同左	同左	同左	同左
H-3-406	同上	同上	同上	同左	同左	同左	同左
H-3-407	同上	同上	同上	同左	同左	同左	同左
H-3-408	同上	同上	同上	同左	同左	同左	同左
H-3-409	同上	同上	同上	同左	同左	同左	同左
H-3-410	同上	同上	同上	同左	同左	同左	同左
H-3-411	同上	同上	同上	同左	同左	同左	同左
H-3-412	同上	同上	同上	同左	同左	同左	同左
H-3-413	同上	同上	同上	同左	同左	同左	同左

(H-3)

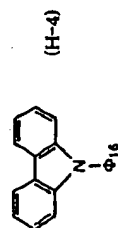
化合物	Φ_9	Φ_{10}	Φ_{11}	Φ_{12}	Φ_{13}	Φ_{14}	Φ_{15}
H-3-501		Ph	同左	同左	同左	同左	同左
H-3-502	同上	o-ピフェニリル	同左	同左	同左	同左	同左
H-3-503	同上	m-ピフェニリル	同左	同左	同左	同左	同左
H-3-504	同上	p-ピフェニリル	同左	同左	同左	同左	同左
H-3-505	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-506	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-507	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-508	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左	同左	同左
H-3-509	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-610	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-511	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-512	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-513	同上		同左	同左	同左	同左	同左

(H-3)

化合物	Φ_9	Φ_{10}	Φ_{11}	Φ_{12}	Φ_{13}	Φ_{14}	Φ_{15}
H-3-414			同左	同左	同左	同左	同左
H-3-415	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-416	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-417	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-418	同上		同左	同左	同左	同左	同左
H-3-419	同上	Ph	H	Ph	H	Ph	H

(H-3)

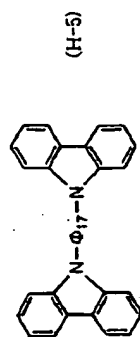
化合物	Φ_9	Φ_{10}	Φ_{11}	Φ_{12}	Φ_{13}	Φ_{14}	Φ_{15}
H-3-514			同上	同上	同上	同上	同上
H-3-515	同上		同上	同上	同上	同上	同上
H-3-516	同上		同上	同上	同上	同上	同上
H-3-517	同上		同上	同上	同上	同上	同上
H-3-518	同上		同上	同上	同上	同上	同上
H-3-519	同上	Ph	H	Ph	H	Ph	H
H-3-520		Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph



(H-4)

化合物	Φ_{16}	化合物	Φ_{16}
H-4-1	Ph	H-4-14	
H-4-2	o-ピフエニリル	H-4-15	
H-4-3	m-ピフエニリル	H-4-16	
H-4-4	p-ピフエニリル	H-4-17	
H-4-5		H-4-18	
H-4-6		H-4-20	H
H-4-7		H-4-21	-CH ₃
H-4-8	2-ナフチル	H-4-22	-C ₂ H ₅
H-4-9		H-4-23	-C ₃ H ₇
H-4-10		H-4-24	-C ₄ H ₉
H-4-11		H-4-25	
H-4-12		H-4-26	
H-4-13		H-4-27	
		H-4-28	

(103)



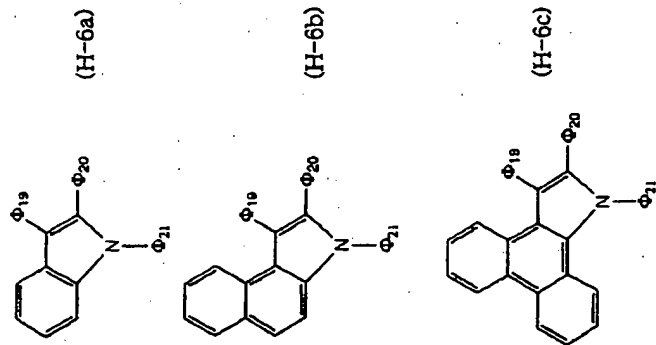
化合物	Φ_{17}
H-5-1	
H-5-2	
H-5-3	
H-5-4	
H-5-5	
H-5-6	
H-5-7	
H-5-8	
H-5-9	

(110)

(H-5)

化合物	Φ_{17}
H-5-10	
H-5-11	
H-5-12	
H-5-13	
H-5-14	
H-5-15	
H-5-16	
H-5-17	
H-5-18	

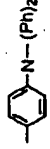


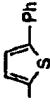
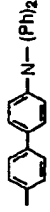
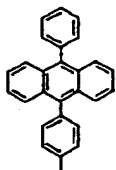
(111)





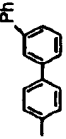
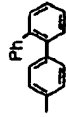

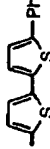
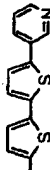
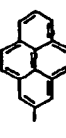
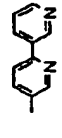
(H-6) H-6a~H-6cにおいて同じ組合せ：以下の(H-6)にて同じ]

化合物	Φ_{19}	Φ_{20}	Φ_{21}
H-6-1	Ph	同上	
H-6-2	o-ピフエニリル	同上	同上
H-6-3	m-ピフエニリル	同上	同上
H-6-4	p-ピフエニリル	同上	同上
H-6-5		同上	同上
H-6-6		同上	同上
H-6-7		同上	同上
H-6-8	2-ナフチル	同上	同上
H-6-9		同上	同上
H-6-10		同上	同上
H-6-11		同上	同上
H-6-12		同上	同上
H-6-13		同上	同上




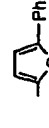
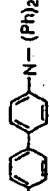
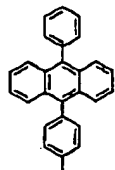
(H-6)

化合物	Φ_{19}	Φ_{20}	Φ_{21}
H-6-14		同上	
H-6-15		同上	同上
H-6-16		同上	同上
H-6-17		同上	同上
H-6-18		同上	同上
H-6-19	Ph	H	同上




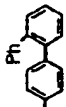


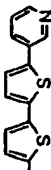
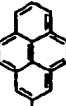
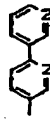
(H-6)

化合物	Φ_{19}	Φ_{20}	Φ_{21}
H-6-101	Ph	同上	
H-6-102	o-ピフエニリル	同上	同上
H-6-103	m-ピフエニリル	同上	同上
H-6-104	p-ピフエニリル	同上	同上
H-6-105		同上	同上
H-6-106		同上	同上
H-6-107		同上	同上
H-6-108	2-ナフチル	同上	同上
H-6-109		同上	同上
H-6-110		同上	同上
H-6-111		同上	同上
H-6-112		同上	同上
H-6-113		同上	同上

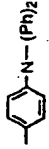
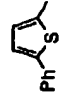

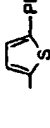
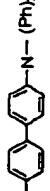
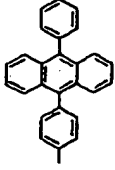
(H-6)

化合物	Φ_{19}	Φ_{20}	Φ_{21}
H-6-114		同左	
H-6-115		同左	同上
H-6-116		同左	同上
H-6-117		同左	同上
H-6-118		同左	同上
H-6-119	Ph	H	同上

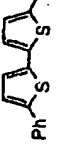

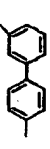
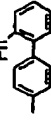



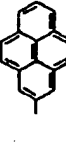

(H-6)

化合物	Φ_{19}	Φ_{20}	Φ_{21}
H-6-201	Ph	同左	
H-6-202	o-ピフエニリル	同左	同上
H-6-203	m-ピフエニリル	同左	同上
H-6-204	p-ピフエニリル	同左	同上
H-6-205		同左	同上
H-6-206		同左	同上
H-6-207		同左	同上
H-6-208	2-ナフチル	同左	同上
H-6-209		同左	同上
H-6-210		同左	同上
H-6-211		同左	同上
H-6-212		同左	同上
H-6-213		同左	同上

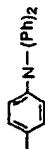
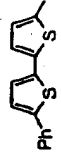


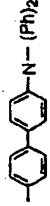
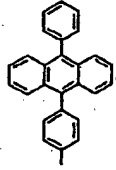
(H-6)

化合物	Φ_{19}	Φ_{20}	Φ_{21}
H-6-214		同左	
H-6-215		同左	同上
H-6-216		同左	同上
H-6-217		同左	同上
H-6-218		同左	同上
H-6-219	Ph	H	同上



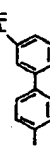
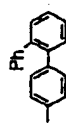

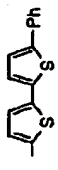
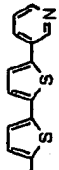
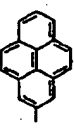
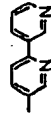
(H-6)

化合物	Φ_{19}	Φ_{20}	Φ_{21}
H-6-301	Ph	同左	
H-6-302	o-ピフエニリル	同左	同上
H-6-303	m-ピフエニリル	同左	同上
H-6-304	p-ピフエニリル	同左	同上
H-6-305		同左	同上
H-6-306		同左	同上
H-6-307		同左	同上
H-6-308	2-ナフチル	同左	同上
H-6-309		同左	同上
H-6-310		同左	同上
H-6-311		同左	同上
H-6-312		同左	同上
H-6-313		同左	同上

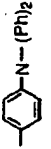
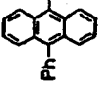


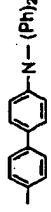
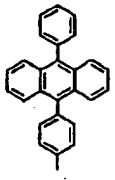
(H-6)

化合物	Φ_{19}	Φ_{20}	Φ_{21}
H-6-314		同左	
H-6-315		同左	同上
H-6-316		同左	同上
H-6-317		同左	同上
H-6-318		同左	同上
H-6-319	Ph	H	同上

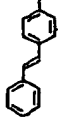

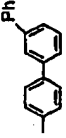
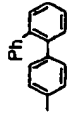


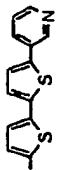
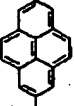
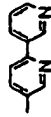
(H-6)

化合物	Φ_{19}	Φ_{20}	Φ_{21}
H-6-401	Ph	同左	
H-6-402	o-ビフェニリル	同左	同上
H-6-403	m-ビフェニリル	同左	同上
H-6-404	p-ビフェニリル	同左	同上
H-6-405		同左	同上
H-6-406		同左	同上
H-6-407		同左	同上
H-6-408	2-ナフチル	同左	同上
H-6-409		同左	同上
H-6-410		同左	同上
H-6-411		同左	同上
H-6-412		同左	同上
H-6-413		同左	同上


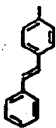

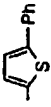
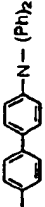
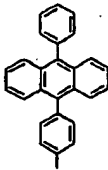
(H-6)

化合物	Φ_{19}	Φ_{20}	Φ_{21}
H-6-414		同左	
H-6-415		同左	同上
H-6-416		同左	同上
H-6-417		同左	同上
H-6-418		同左	同上
H-6-419	Ph	H	同上



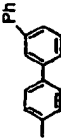
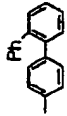



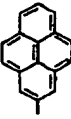
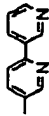
(H-6)

化合物	Φ_{19}	Φ_{20}	Φ_{21}
H-6-501	Ph	同左	
H-6-502	o-ピフェニリル	同左	同上
H-6-503	m-ピフェニリル	同左	同上
H-6-504	p-ピフェニリル	同左	同上
H-6-505		同左	同上
H-6-506		同左	同上
H-6-507		同左	同上
H-6-508	2-ナフチル	同左	同上
H-6-509		同左	同上
H-6-510		同左	同上
H-6-511		同左	同上
H-6-512		同左	同上
H-6-513		同左	同上

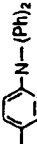


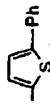
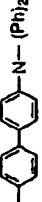
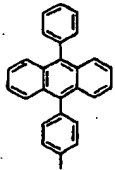
(H-6)

化合物	Φ_{19}	Φ_{20}	Φ_{21}
H-6-514		同上	
H-6-515		同上	同上
H-6-516		同上	同上
H-6-517		同上	同上
H-6-518		同上	同上
H-6-519	Ph	H	同上

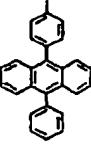

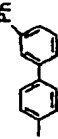
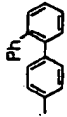



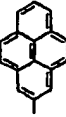
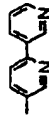
(H-6)

化合物	Φ_{19}	Φ_{20}	Φ_{21}
H-6-601	Ph	同上	
H-6-602	o-ピフェニリル	同上	同上
H-6-603	m-ピフェニリル	同上	同上
H-6-604	p-ピフェニリル	同上	同上
H-6-605		同上	同上
H-6-606		同上	同上
H-6-607		同上	同上
H-6-608	2-ナフチル	同上	同上
H-6-609		同上	同上
H-6-610		同上	同上
H-6-611		同上	同上
H-6-612		同上	同上
H-6-613		同上	同上

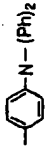
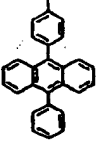


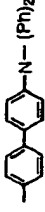
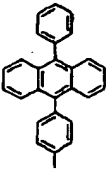
(H-6)

化合物	Φ_{19}	Φ_{20}	Φ_{21}
H-6-614		同左	
H-6-615		同左	同上
H-6-616		同左	同上
H-6-617		同左	同上
H-6-618		同左	同上
H-6-619	Ph	H	同上

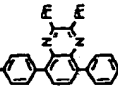

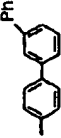
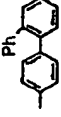

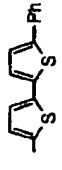

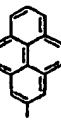

(H-6)

化合物	Φ_{15}	Φ_{20}	Φ_{21}
H-6-701	Ph	同左	
H-6-702	o-ジフエニリル	同左	同上
H-6-703	m-ジフエニリル	同左	同上
H-6-704	p-ジフエニリル	同左	同上
H-6-705		同左	同上
H-6-706		同左	同上
H-6-707		同左	同上
H-6-708	2-ナフチル	同左	同上
H-6-709		同左	同上
H-6-710		同左	同上
H-6-711		同左	同上
H-6-712		同左	同上
H-6-713		同左	同上

(H-6)

化合物	Φ_{19}	Φ_{20}	Φ_{21}
H-6-714		同左	
H-6-715		同左	同上
H-6-716		同左	同上
H-6-717		同左	同上
H-6-718		同左	同上
H-6-719	Ph	H	同上

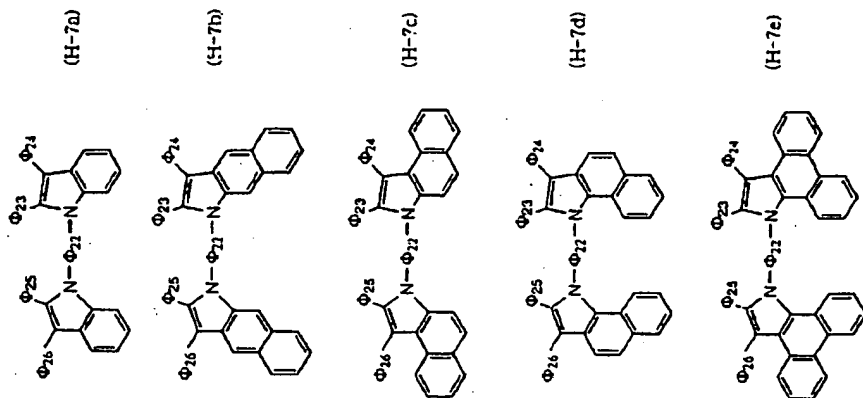
(H-6)

化合物	Φ_{19}	Φ_{20}	Φ_{21}
H-6-801	Ph	同左	
H-6-802	o-ピフェニリル	同左	同上
H-6-803	m-ピフェニリル	同左	同上
H-6-804	p-ピフェニリル	同左	同上
H-6-805		同左	同上
H-6-806		同左	同上
H-6-807		同左	同上
H-6-808	2-ナフチル	同左	同上
H-6-809		同左	同上
H-6-810		同左	同上
H-6-811		同左	同上
H-6-812		同左	同上
H-6-813		同左	同上



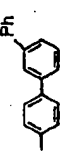
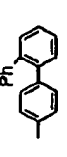


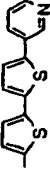
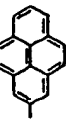
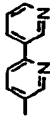
(H-6)

化合物	Φ_{19}	Φ_{10}	Φ_{21}
H-6-814		同上	
H-6-815		同上	
H-6-816		同上	
H-6-817		同上	
H-6-818		同上	
H-6-819	Ph	H	同上
H-6-820	Ph	Ph	




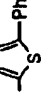
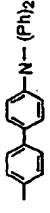
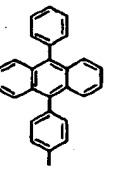
(130)





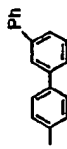
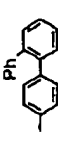



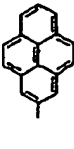

(H-7) (H-7a~H-7eにおいて同じ組合せ; 以下の(H-7)にて同じ)

化合物	Φ_{22}	Φ_{23}	Φ_{24}	Φ_{25}	Φ_{26}
H-7-1		Ph	同左	同左	同左
H-7-2	同上	o-ピフェニリル	同左	同左	同左
H-7-3	同上	m-ピフェニリル	同左	同左	同左
H-7-4	同上	p-ピフェニリル	同左	同左	同左
H-7-5	同上		同左	同左	同左
H-7-6	同上		同左	同左	同左
H-7-7	同上		同左	同左	同左
H-7-8	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左
H-7-9	同上		同左	同左	同左
H-7-10	同上		同左	同左	同左
H-7-11	同上		同左	同左	同左
H-7-12	同上		同左	同左	同左
H-7-13	同上		同左	同左	同左

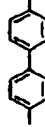
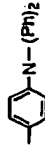

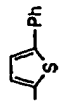

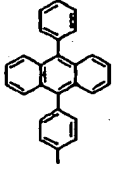
G(H-7)

化合物	Φ_{22}	Φ_{23}	Φ_{24}	Φ_{25}	Φ_{26}
H-7-14			同左	同左	同左
H-7-15	同上		同左	同左	同左
H-7-16	同上		同左	同左	同左
H-7-17	同上		同左	同左	同左
H-7-18	同上		同左	同左	同左
H-7-19	同上	Ph	H	Ph	H

(H-7)

化合物	Φ_{22}	Φ_{23}	Φ_{24}	Φ_{25}	Φ_{26}
H-7-101		Ph	同左	同左	同左
H-7-102	同上	o-ピフェニリル	同左	同左	同左
H-7-103	同上	m-ピフェニリル	同左	同左	同左
H-7-104	同上	p-ピフェニリル	同左	同左	同左
H-7-105	同上		同左	同左	同左
H-7-106	同上		同左	同左	同左
H-7-107	同上		同左	同左	同左
H-7-108	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左
H-7-109	同上		同左	同左	同左
H-7-110	同上		同左	同左	同左
H-7-111	同上		同左	同左	同左
H-7-112	同上		同左	同左	同左
H-7-113	同上		同左	同左	同左

(H-7)

化合物	Φ_{22}	Φ_{23}	Φ_{24}	Φ_{25}	Φ_{26}
H-7-114			同左	同左	同左
H-7-115	同上		同左	同左	同左
H-7-116	同上		同左	同左	同左
H-7-117	同上		同左	同左	同左
H-7-118	同上		同左	同左	同左
H-7-119	同上	Ph	H	Ph	H



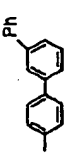
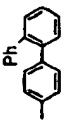
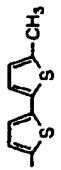
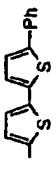
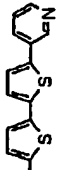
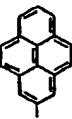
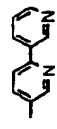
(H-7)

化合物	Φ_{22}	Φ_{23}	Φ_{24}	Φ_{25}	Φ_{26}
H-7-201		Ph	同左	同左	同左
H-7-202	同上	o-ピフェニリル	同左	同左	同左
H-7-203	同上	m-ピフェニリル	同左	同左	同左
H-7-204	同上	p-ピフェニリル	同左	同左	同左
H-7-205	同上		同左	同左	同左
H-7-206	同上		同左	同左	同左
H-7-207	同上		同左	同左	同左
H-7-208	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左
H-7-209	同上		同左	同左	同左
H-7-210	同上		同左	同左	同左
H-7-211	同上		同左	同左	同左
H-7-212	同上		同左	同左	同左
H-7-213	同上		同左	同左	同左

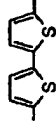
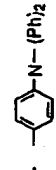


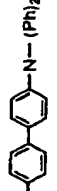
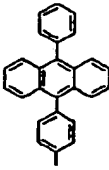
(H-7)

化合物	Φ_{22}	Φ_{23}	Φ_{24}	Φ_{25}	Φ_{26}
H-7-214			同左	同左	同左
H-7-215	同上		同左	同左	同左
H-7-216	同上		同左	同左	同左
H-7-217	同上		同左	同左	同左
H-7-218	同上		同左	同左	同左
H-7-219	同上	Ph	H	Ph	H

(H-7)

化合物	Φ_{22}	Φ_{21}	Φ_{24}	Φ_{23}	Φ_{25}
H-7-301		Ph	同左	同左	同左
H-7-302	同上	o-ピフェニル	同左	同左	同左
H-7-303	同上	m-ピフェニル	同左	同左	同左
H-7-304	同上	p-ピフェニル	同左	同左	同左
H-7-305	同上		同左	同左	同左
H-7-306	同上		同左	同左	同左
H-7-307	同上		同左	同左	同左
H-7-308	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左
H-7-309	同上		同左	同左	同左
H-7-310	同上		同左	同左	同左
H-7-311	同上		同左	同左	同左
H-7-312	同上		同左	同左	同左
H-7-313	同上		同左	同左	同左

(H-7)

化合物	Φ_{22}	Φ_{23}	Φ_{24}	Φ_{25}	Φ_{26}
H-7-314			同左	同左	同左
H-7-315	同上		同左	同左	同左
H-7-316	同上		同左	同左	同左
H-7-317	同上		同左	同左	同左
H-7-318	同上		同左	同左	同左
H-7-319	同上	Ph	H	Ph	H

(H-7)



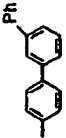
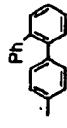


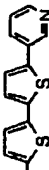
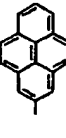
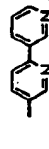
化合物	Φ_{22}	Φ_{23}	Φ_{24}	Φ_{25}	Φ_{26}
H-7-414			同左	同左	同左
H-7-415	同上		同左	同左	同左
H-7-416	同上		同左	同左	同左
H-7-417	同上		同左	同左	同左
H-7-418	同上		同左	同左	同左
H-7-419	同上	Ph	H	Ph	H
H-7-420		Ph	同左	同左	同左
H-7-421		Ph	同左	同左	同左

(139)

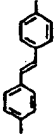
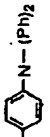
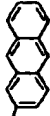
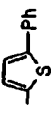
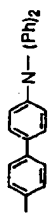
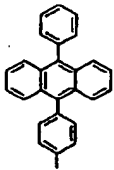
(H-7)

化合物	Φ_{22}	Φ_{23}	Φ_{24}	Φ_{25}	Φ_{26}
H-7-401		Ph	同左	同左	同左
H-7-402	同上	O-ビフェニリル	同左	同左	同左
H-7-403	同上	m-ビフェニリル	同左	同左	同左
H-7-404	同上	p-ビフェニリル	同左	同左	同左
H-7-405	同上		同左	同左	同左
H-7-406	同上		同左	同左	同左
H-7-407	同上		同左	同左	同左
H-7-408	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左
H-7-409	同上		同左	同左	同左
H-7-410	同上		同左	同左	同左
H-7-411	同上		同左	同左	同左
H-7-412	同上		同左	同左	同左
H-7-413	同上		同左	同左	同左

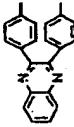
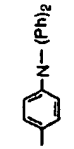

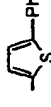
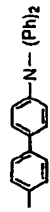
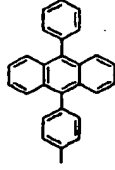
(H-7)

化合物	Φ_{22}	Φ_{23}	Φ_{24}	Φ_{25}	Φ_{26}
H-7-501		Ph	同左	同左	同左
H-7-502	同上	o-ピフエニリル	同左	同左	同左
H-7-503	同上	m-ピフエニリル	同左	同左	同左
H-7-504	同上	p-ピフエニリル	同左	同左	同左
H-7-505	同上		同左	同左	同左
H-7-506	同上		同左	同左	同左
H-7-507	同上		同左	同左	同左
H-7-508	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左
H-7-509	同上		同左	同左	同左
H-7-510	同上		同左	同左	同左
H-7-511	同上		同左	同左	同左
H-7-512	同上		同左	同左	同左
H-7-513	同上		同左	同左	同左

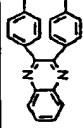

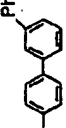
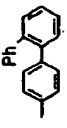
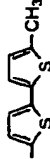

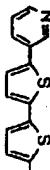
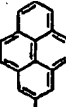
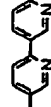
(H-7)

化合物	Φ_{22}	Φ_{23}	Φ_{24}	Φ_{25}	Φ_{26}
H-7-514			同左	同左	同左
H-7-516	同上		同左	同左	同左
H-7-516	同上		同左	同左	同左
H-7-517	同上		同左	同左	同左
H-7-518	同上		同左	同左	同左
H-7-519	同上	Ph	H	Ph	H

(H-7)

化合物	Φ_{22}	Φ_{23}	Φ_{24}	Φ_{25}	Φ_{26}
H-7-614			同左	同左	同左
H-7-615	同上		同左	同左	同左
H-7-616	同上		同左	同左	同左
H-7-617	同上		同左	同左	同左
H-7-618	同上		同左	同左	同左
H-7-619	同上	Ph	H	Ph	H

(H-7)

化合物	Φ_{22}	Φ_{23}	Φ_{24}	Φ_{25}	Φ_{26}
H-7-601		Ph	同左	同左	同左
H-7-602	同上	o-ピフェニリル	同左	同左	同左
H-7-603	同上	m-ピフェニリル	同左	同左	同左
H-7-604	同上	p-ピフェニリル	同左	同左	同左
H-7-605	同上		同左	同左	同左
H-7-606	同上		同左	同左	同左
H-7-607	同上		同左	同左	同左
H-7-608	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左
H-7-609	同上		同左	同左	同左
H-7-610	同上		同左	同左	同左
H-7-611	同上		同左	同左	同左
H-7-612	同上		同左	同左	同左
H-7-613	同上		同左	同左	同左

(H-7)

化合物	Φ_{22}	Φ_{23}	Φ_{24}	Φ_{25}	Φ_{26}
H-7-701		Ph	同左	同左	同左
H-7-702	同上	o-ピフエニリル	同左	同左	同左
H-7-703	同上	m-ピフエニリル	同左	同左	同左
H-7-704	同上	p-ピフエニリル	同左	同左	同左
H-7-705	同上		同左	同左	同左
H-7-706	同上		同左	同左	同左
H-7-707	同上		同左	同左	同左
H-7-708	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左
H-7-709	同上		同左	同左	同左
H-7-710	同上		同左	同左	同左
H-7-711	同上		同左	同左	同左
H-7-712	同上		同左	同左	同左
H-7-713	同上		同左	同左	同左

(H-7)

化合物	Φ_{22}	Φ_{23}	Φ_{24}	Φ_{25}	Φ_{26}
H-7-714		同左	同左	同左	同左
H-7-715	同上		同左	同左	同左
H-7-716	同上		同左	同左	同左
H-7-717	同上		同左	同左	同左
H-7-718	同上		同左	同左	同左
H-7-719	同上	Ph	H	Ph	H

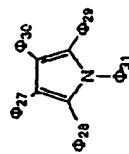
(H-7)

化合物	Φ_{22}	Φ_{23}	Φ_{24}	Φ_{25}	Φ_{26}
H-7-801		Ph	同左	同左	同左
H-7-802	同上	o-ピフェニリル	同左	同左	同左
H-7-803	同上	m-ピフェニリル	同左	同左	同左
H-7-804	同上	p-ピフェニリル	同左	同左	同左
H-7-805	同上		同左	同左	同左
H-7-806	同上		同左	同左	同左
H-7-807	同上		同左	同左	同左
H-7-808	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左
H-7-809	同上		同左	同左	同左
H-7-810	同上		同左	同左	同左
H-7-811	同上		同左	同左	同左
H-7-812	同上		同左	同左	同左
H-7-813	同上		同左	同左	同左



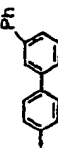
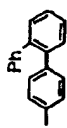
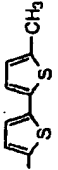

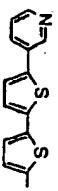
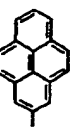
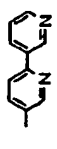
(H-7)

化合物	Φ_{22}	Φ_{23}	Φ_{24}	Φ_{25}	Φ_{26}
H-7-814			同左	同左	同左
H-7-815	同上		同左	同左	同左
H-7-816	同上		同左	同左	同左
H-7-817	同上		同左	同左	同左
H-7-818	同上		同左	同左	同左
H-7-819	同上	Ph	H	Ph	H

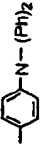


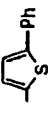
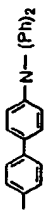
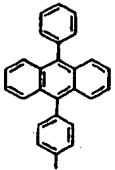
(H-8)





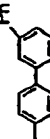
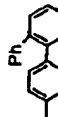

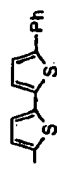
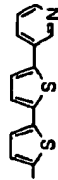
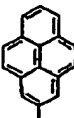
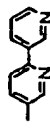
(H-8)

化合物	Φ_{17}	Φ_{18}	Φ_{19}	Φ_{20}	Φ_{21}
H-8-1	Ph	同左	同左	同左	
H-8-2	o-ピフエニル	同左	同左	同左	同上
H-8-3	m-ピフエニル	同左	同左	同左	同上
H-8-4	p-ピフエニル	同左	同左	同左	同上
H-8-5		同左	同左	同左	同上
H-8-6		同左	同左	同左	同上
H-8-7		同左	同左	同左	同上
H-8-8	2-ナフチル	同左	同左	同左	同上
H-8-9		同左	同左	同左	同上
H-8-10		同左	同左	同左	同上
H-8-11		同左	同左	同左	同上
H-8-12		同左	同左	同左	同上
H-8-13		同左	同左	同左	同上

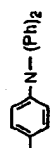

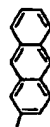

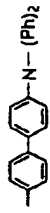
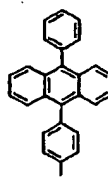
(H-8)

化合物	Φ_{17}	Φ_{18}	Φ_{19}	Φ_{20}	Φ_{21}
H-8-14		同左	同左	同左	
H-8-15		同左	同左	同左	同上
H-8-16		同左	同左	同左	同上
H-8-17		同左	同左	同左	同上
H-8-18		同左	同左	同左	同上
H-8-19	Ph	H	Ph	H	同上

(H-8)

化合物	Φ_{27}	Φ_{28}	Φ_{29}	Φ_{30}	Φ_{31}
H-8-101	Ph	同左	同左	同左	
H-8-102	o-ピフエニリル	同左	同左	同左	同上
H-8-103	m-ピフエニリル	同左	同左	同左	同上
H-8-104	p-ピフエニリル	同左	同左	同左	同上
H-8-105		同左	同左	同左	同上
H-8-106		同左	同左	同左	同上
H-8-107		同左	同左	同左	同上
H-8-108	2-ナフチル	同左	同左	同左	同上
H-8-109		同左	同左	同左	同上
H-8-110		同左	同左	同左	同上
H-8-111		同左	同左	同左	同上
H-8-112		同左	同左	同左	同上
H-8-113		同左	同左	同左	同上

GH-8)

化合物	Φ_{27}	Φ_{28}	Φ_{29}	Φ_{30}	Φ_{31}
H-8-114		同左	同左	同左	
H-8-115		同左	同左	同左	同上
H-8-116		同左	同左	同左	同上
H-8-117		同左	同左	同左	同上
H-8-118		同左	同左	同左	同上
H-8-119	Ph	H	Ph	H	同上

(H-8)

化合物	Φ_{77}	Φ_{78}	Φ_{79}	Φ_{80}	Φ_{81}
H-8-201	Ph	同左	同左	同左	
H-8-202	o-ピフエニリル	同左	同左	同左	同上
H-8-203	m-ピフエニリル	同左	同左	同左	同上
H-8-204	p-ピフエニリル	同左	同左	同左	同上
H-8-205		同左	同左	同左	同上
H-8-206		同左	同左	同左	同上
H-8-207		同左	同左	同左	同上
H-8-208	2-ナフチル	同左	同左	同左	同上
H-8-209		同左	同左	同左	同上
H-8-210		同左	同左	同左	同上
H-8-211		同左	同左	同左	同上
H-8-212		同左	同左	同左	同上
H-8-213		同左	同左	同左	同上

(H-8)

化合物	Φ_{77}	Φ_{78}	Φ_{79}	Φ_{80}	Φ_{81}
H-8-214		同左	同左	同左	
H-8-215		同左	同左	同左	同上
H-8-216		同左	同左	同左	同上
H-8-217		同左	同左	同左	同上
H-8-218		同左	同左	同左	同上
H-8-219	Ph	H	Ph	H	同上



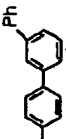
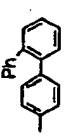


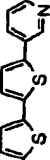
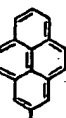

(H-8)

化合物	Φ_{21}	Φ_{28}	Φ_{29}	Φ_{30}	Φ_{31}
H-8-301	Ph	同左	同左	同左	
H-8-302	o-ピフエニリル	同左	同左	同左	同上
H-8-303	m-ピフエニリル	同左	同左	同左	同上
H-8-304	p-ピフエニリル	同左	同左	同左	同上
H-8-305		同左	同左	同左	同上
H-8-306		同左	同左	同左	同上
H-8-307		同左	同左	同左	同上
H-8-308	2-ナフチル	同左	同左	同左	同上
H-8-309		同左	同左	同左	同上
H-8-310		同左	同左	同左	同上
H-8-311		同左	同左	同左	同上
H-8-312		同左	同左	同左	同上
H-8-313		同左	同左	同左	同上



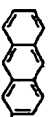

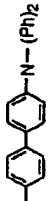
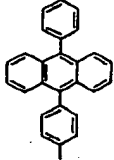
(H-8)

化合物	Φ_{27}	Φ_{28}	Φ_{29}	Φ_{30}	Φ_{31}
H-8-314		同左	同左	同左	
H-8-315		同左	同左	同左	同上
H-8-316		同左	同左	同左	同上
H-8-317		同左	同左	同左	同上
H-8-318		同左	同左	同左	同上
H-8-319	Ph	H	Ph	H	同上

(H-8)

化合物	Φ_{27}	Φ_{28}	Φ_{29}	Φ_{30}	Φ_{31}
H-8-401	Ph	同左	同左	同左	
H-8-402	o-ピフエニリル	同左	同左	同左	同上
H-8-403	m-ピフエニリル	同左	同左	同左	同上
H-8-404	p-ピフエニリル	同左	同左	同左	同上
H-8-405		同左	同左	同左	同上
H-8-406		同左	同左	同左	同上
H-8-407		同左	同左	同左	同上
H-8-408	2-ナフチル	同左	同左	同左	同上
H-8-409		同左	同左	同左	同上
H-8-410		同左	同左	同左	同上
H-8-411		同左	同左	同左	同上
H-8-412		同左	同左	同左	同上
H-8-413		同左	同左	同左	同上

(H-8)

化合物	Φ_{27}	Φ_{28}	Φ_{29}	Φ_{30}	Φ_{31}
H-8-414		同左	同左	同左	
H-8-415		同左	同左	同左	同上
H-8-416		同左	同左	同左	同上
H-8-417		同左	同左	同左	同上
H-8-418		同左	同左	同左	同上
H-8-419	Ph	H	Ph	H	同上

(H-8)

化合物	Φ_{27}	Φ_{28}	Φ_{29}	Φ_{30}	Φ_{31}
H-8-501	Ph	同左	同左	同左	
H-8-502	o-ピフエニリル	同左	同左	同左	同上
H-8-503	m-ピフエニリル	同左	同左	同左	同上
H-8-504	p-ピフエニリル	同左	同左	同左	同上
H-8-505		同左	同左	同左	同上
H-8-506		同左	同左	同左	同上
H-8-507		同左	同左	同左	同上
H-8-508	2-ナフチル	同左	同左	同左	同上
H-8-509		同左	同左	同左	同上
H-8-510		同左	同左	同左	同上
H-8-511		同左	同左	同左	同上
H-8-512		同左	同左	同左	同上
H-8-513		同左	同左	同左	同上

(H-8)

化合物	Φ_{27}	Φ_{28}	Φ_{29}	Φ_{30}	Φ_{31}
H-8-514		同左	同左	同左	
H-8-515		同左	同左	同左	同上
H-8-516		同左	同左	同左	同上
H-8-517		同左	同左	同左	同上
H-8-518		同左	同左	同左	同上
H-8-519	Ph	H	Ph	H	同上

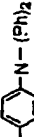
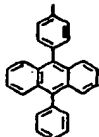

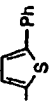
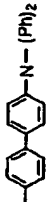
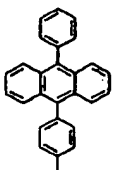
(H-8)

化合物	Φ_{27}	Φ_{28}	Φ_{29}	Φ_{30}	Φ_{31}
H-8-601	Ph	同左	同左	同左	
H-8-602	<i>o</i> -ピフェニリル	同左	同左	同左	同上
H-8-603	<i>m</i> -ピフェニリル	同左	同左	同左	同上
H-8-604	<i>p</i> -ピフェニリル	同左	同左	同左	同上
H-8-605		同左	同左	同左	同上
H-8-606		同左	同左	同左	同上
H-8-607		同左	同左	同左	同上
H-8-608	2-ナフチル	同左	同左	同左	同上
H-8-609		同左	同左	同左	同上
H-8-610		同左	同左	同左	同上
H-8-611		同左	同左	同左	同上
H-8-612		同左	同左	同左	同上
H-8-613		同左	同左	同左	同上

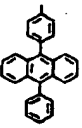

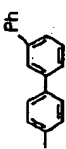
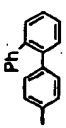

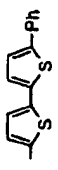
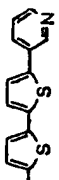
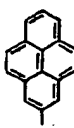
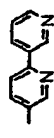
(H-8)

化合物	Φ_{27}	Φ_{28}	Φ_{29}	Φ_{30}	Φ_{31}
H-8-614		同左	同左	同左	
H-8-615		同左	同左	同左	同上
H-8-616		同左	同左	同左	同上
H-8-617		同左	同左	同左	同上
H-8-618		同左	同左	同左	同上
H-8-619	Ph	H	Ph	H	同上

(H-8)

化合物	Φ_{27}	Φ_{28}	Φ_{29}	Φ_{30}	Φ_{31}
H-8-714		同左	同左	同左	
H-8-715		同左	同左	同左	同上
H-8-716		同左	同左	同左	同上
H-8-717		同左	同左	同左	同上
H-8-718		同左	同左	同左	同上
H-8-719	Ph	F	Ph	H	同上

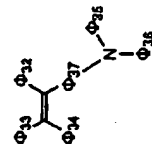
(H-8)

化合物	Φ_{27}	Φ_{28}	Φ_{29}	Φ_{30}	Φ_{31}
H-8-701	Ph	同左	同左	同左	
H-8-702	<i>o</i> -ピフェニリル	同左	同左	同左	同上
H-8-703	<i>m</i> -ピフェニリル	同左	同左	同左	同上
H-8-704	<i>p</i> -ピフェニリル	同左	同左	同左	同上
H-8-705		同左	同左	同左	同上
H-8-706		同左	同左	同左	同上
H-8-707		同左	同左	同左	同上
H-8-708	2-ナフチル	同左	同左	同左	同上
H-8-709		同左	同左	同左	同上
H-8-710		同左	同左	同左	同上
H-8-711		同左	同左	同左	同上
H-8-712		同左	同左	同左	同上
H-8-713		同左	同左	同左	同上

(H-8)

化合物	Φ_{27}	Φ_{28}	Φ_{29}	Φ_{30}	Φ_{31}
H-8-814		同左	同左	同左	同上
H-8-815		同左	同左	同左	同上
H-8-816		同左	同左	同左	同上
H-8-817		同左	同左	同左	同上
H-8-818		同左	同左	同左	同上
H-8-819	Ph	H	Ph	H	同上



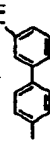
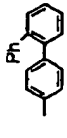

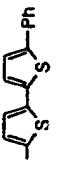
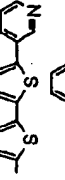
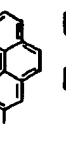

(H-9)




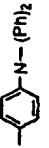
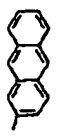
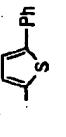
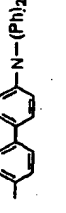
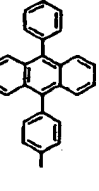
(H-8)

化合物	Φ_{27}	Φ_{28}	Φ_{29}	Φ_{30}	Φ_{31}
H-8-801	Ph	同左	同左	同左	同上
H-8-802	o-ピフェニリル	同左	同左	同左	同上
H-8-803	m-ピフェニリル	同左	同左	同左	同上
H-8-804	p-ピフェニリル	同左	同左	同左	同上
H-8-805		同左	同左	同左	同上
H-8-806		同左	同左	同左	同上
H-8-807		同左	同左	同左	同上
H-8-808	2-ナフチル	同左	同左	同左	同上
H-8-809		同左	同左	同左	同上
H-8-810		同左	同左	同左	同上
H-8-811		同左	同左	同左	同上
H-8-812		同左	同左	同左	同上
H-8-813		同左	同左	同左	同上



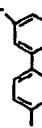
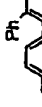

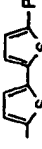

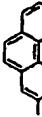
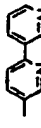
(H-9)

化合物	Φ_{11}	Φ_{12}	Φ_{13}	Φ_{14}	Φ_{15}	Φ_{16}
H-9-1		Ph	同左	同左	同左	同左
H-9-2	同上	o-ピフエニリル	同左	同左	同左	同左
H-9-3	同上	m-ピフエニリル	同左	同左	同左	同左
H-9-4	同上	p-ピフエニリル	同左	同左	同左	同左
H-9-5	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-6	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-7	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-8	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左	同左
H-9-9	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-10	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-11	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-12	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-13	同上		同左	同左	同左	同左

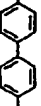
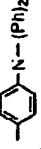



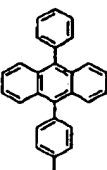
(H-9)

化合物	Φ_{17}	Φ_{12}	Φ_{13}	Φ_{14}	Φ_{15}	Φ_{16}
H-9-14			同左	同左	同左	同左
H-9-15	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-16	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-17	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-18	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-19	同上	Ph	H	Ph	H	Ph

(H-9)

化合物	Φ_1	Φ_2	Φ_3	Φ_4	Φ_5	Φ_6
H-9-101		Ph	同左	同左	同左	同左
H-9-102	同上	o-ピフェニル	同左	同左	同左	同左
H-9-103	同上	m-ピフェニル	同左	同左	同左	同左
H-9-104	同上	p-ピフェニル	同左	同左	同左	同左
H-9-105	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-106	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-107	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-108	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左	同左
H-9-109	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-110	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-111	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-112	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-113	同上		同左	同左	同左	同左

(H-9)

化合物	Φ_1	Φ_2	Φ_3	Φ_4	Φ_5	Φ_6
H-9-114			同左	同左	同左	同左
H-9-115	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-116	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-117	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-118	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-119	同上	Ph	H	Ph	H	Ph

(H-9)

化合物	Φ_{17}	Φ_{11}	Φ_{33}	Φ_{34}	Φ_{35}	Φ_{36}
H-9-201		Ph	同左	同左	同左	同左
H-9-202	同上	o-ピフェニリル	同左	同左	同左	同左
H-9-203	同上	m-ピフェニリル	同左	同左	同左	同左
H-9-204	同上	p-ピフェニリル	同左	同左	同左	同左
H-9-205	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-206	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-207	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-208	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左	同左
H-9-209	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-210	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-211	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-212	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-213	同上		同左	同左	同左	同左

(H-9)

化合物	Φ_{17}	Φ_{22}	Φ_{31}	Φ_{34}	Φ_{35}	Φ_{36}
H-9-214			同左	同左	同左	同左
H-9-215	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-216	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-217	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-218	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-219	同上	Ph	H	Ph	H	Ph

(H-9)

化合物	Φ_{37}	Φ_{32}	Φ_{33}	Φ_{34}	Φ_{35}	Φ_{36}
H-9-301		Ph	同左	同左	同左	同左
H-9-302	同上	o-ピフェニリル	同左	同左	同左	同左
H-9-303	同上	m-ピフェニリル	同左	同左	同左	同左
H-9-304	同上	p-ピフェニリル	同左	同左	同左	同左
H-9-305	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-306	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-307	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-308	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左	同左
H-9-309	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-310	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-311	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-312	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-313	同上		同左	同左	同左	同左

(H-9)

化合物	Φ_{37}	Φ_{32}	Φ_{33}	Φ_{34}	Φ_{35}	Φ_{36}
H-9-314			同左	同左	同左	同左
H-9-315	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-316	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-317	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-318	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-319	同上	Ph	H	Ph	H	Ph

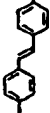
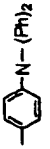

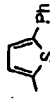
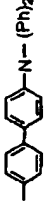
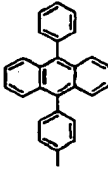
(H-9)

化合物	Φ_{37}	Φ_{32}	Φ_{33}	Φ_{34}	Φ_{35}	Φ_{36}
H-9-414			同左	同左	同左	同左
H-9-415	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-416	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-417	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-418	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-419	同上	Ph	H	Ph	H	Ph
H-9-420		Ph	同左	同左	同左	同左

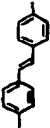

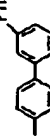
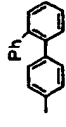



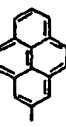
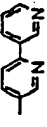
(H-9)

化合物	Φ_{37}	Φ_{32}	Φ_{33}	Φ_{34}	Φ_{35}	Φ_{36}
H-9-401		Ph	同左	同左	同左	同左
H-9-402	同上	o-ピフエニリル	同左	同左	同左	同左
H-9-403	同上	m-ピフエニリル	同左	同左	同左	同左
H-9-404	同上	p-ピフエニリル	同左	同左	同左	同左
H-9-405	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-406	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-407	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-408	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左	同左
H-9-409	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-410	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-411	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-412	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-413	同上		同左	同左	同左	同左

(H-9)

化合物	Φ_{17}	Φ_{12}	Φ_{11}	Φ_{14}	Φ_{15}	Φ_{16}
H-9-514			同左	同左	同左	同左
H-9-515	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-516	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-517	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-518	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-519	同上	Ph	H	Ph	H	Ph

(H-9)

化合物	Φ_{17}	Φ_{12}	Φ_{11}	Φ_{14}	Φ_{15}	Φ_{16}
H-9-501		Ph	同左	同左	同左	同左
H-9-502	同上	o-ピフエニル	同左	同左	同左	同左
H-9-503	同上	m-ピフエニル	同左	同左	同左	同左
H-9-504	同上	p-ピフエニル	同左	同左	同左	同左
H-9-505	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-506	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-507	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-508	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左	同左
H-9-509	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-510	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-511	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-512	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-513	同上		同左	同左	同左	同左

(H-9)

化合物	Φ_{11}	Φ_{12}	Φ_{13}	Φ_{14}	Φ_{15}	Φ_{16}
H-9-614						
H-9-615	同上					
H-9-616	同上					
H-9-617	同上					
H-9-618	同上					
H-9-619	同上					

(H-9)

化合物	Φ_{11}	Φ_{12}	Φ_{13}	Φ_{14}	Φ_{15}	Φ_{16}
H-9-601		Ph				
H-9-602	同上	o-ピフェニリル				
H-9-603	同上	m-ピフェニリル				
H-9-604	同上	p-ピフェニリル				
H-9-605	同上					
H-9-606	同上					
H-9-607	同上					
H-9-608	同上	2-ナフチル				
H-9-609	同上					
H-9-610	同上					
H-9-611	同上					
H-9-612	同上					
H-9-613	同上					

(H-9)

化合物	Φ_{17}	Φ_{12}	Φ_{11}	Φ_{14}	Φ_{13}	Φ_{16}
H-9-701		Ph	同左	同左	同左	同左
H-9-702	同上	o-ピフェニリル	同左	同左	同左	同左
H-9-703	同上	m-ピフェニリル	同左	同左	同左	同左
H-9-704	同上	p-ピフェニリル	同左	同左	同左	同左
H-9-705	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-706	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-707	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-708	同上	2-ジフチル	同左	同左	同左	同左
H-9-709	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-710	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-711	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-712	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-713	同上		同左	同左	同左	同左

(H-9)

化合物	Φ_{17}	Φ_{12}	Φ_{11}	Φ_{14}	Φ_{13}	Φ_{16}
H-9-714			同左	同左	同左	同左
H-9-715	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-716	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-717	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-718	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-719	同上	Ph	H	Ph	H	Ph

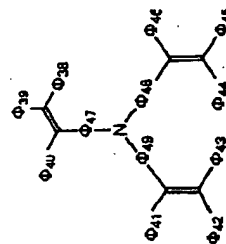
(H-9)

化合物	Φ_{17}	Φ_{11}	Φ_{13}	Φ_{14}	Φ_{15}	Φ_{16}
H-9-801		Ph	同左	同左	同左	同左
H-9-802	同上	o-ピフェニリル	同左	同左	同左	同左
H-9-803	同上	m-ピフェニリル	同左	同左	同左	同左
H-9-804	同上	p-ピフェニリル	同左	同左	同左	同左
H-9-805	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-806	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-807	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-808	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左	同左
H-9-809	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-810	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-811	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-812	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-813	同上		同左	同左	同左	同左




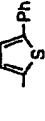
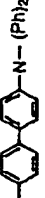
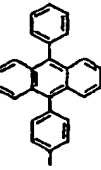
(H-9)

化合物	Φ_{17}	Φ_{12}	Φ_{13}	Φ_{14}	Φ_{15}	Φ_{16}
H-9-814		$\text{N}-(\text{Ph})_2$	同左	同左	同左	同左
H-9-815	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-816	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-817	同上	$\text{N}-(\text{Ph})_2$	同左	同左	同左	同左
H-9-818	同上		同左	同左	同左	同左
H-9-819	同上	Ph	H	Ph	H	Ph
H-9-820		Ph	同左	同左	同左	同左


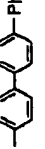
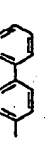
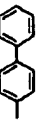


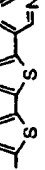
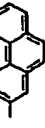

(H-10)



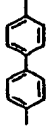
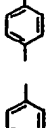



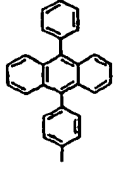
(H-10)

化合物	$\Phi_{17}-\Phi_{49}$	$\Phi_{39}, \Phi_{42}, \Phi_{45}$	$\Phi_{38}, \Phi_{40}, \Phi_{41}, \Phi_{43}, \Phi_{44}, \Phi_{46}$
H-10-14			Ph
H-10-15	同上		Ph
H-10-16	同上		Ph
H-10-17	同上		Ph
H-10-18	同上		Ph

(H-10)

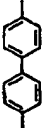


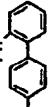
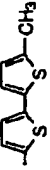


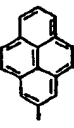
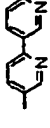
化合物	$\Phi_{17}-\Phi_{49}$	$\Phi_{39}, \Phi_{42}, \Phi_{45}$	$\Phi_{38}, \Phi_{40}, \Phi_{41}, \Phi_{43}, \Phi_{44}, \Phi_{46}$
H-10-1		Ph	Ph
H-10-2	同上	o-ピフェニリル	Ph
H-10-3	同上	m-ピフェニリル	Ph
H-10-4	同上	p-ピフェニリル	Ph
H-10-5	同上		Ph
H-10-6	同上		Ph
H-10-7	同上		Ph
H-10-8	同上	2-ナフチル	Ph
H-10-9	同上		Ph
H-10-10	同上		Ph
H-10-11	同上		Ph
H-10-12	同上		Ph
H-10-13	同上		Ph

(H-10)

化合物	$\Phi_{17}-\Phi_{19}$	$\Phi_{29}, \Phi_{42}, \Phi_{43}$	$\Phi_{31}, \Phi_{40}, \Phi_{41}, \Phi_{43}, \Phi_{44}, \Phi_{46}$
H-10-114			Ph
H-10-115	同上		Ph
H-10-116	同上		Ph
H-10-117	同上		Ph
H-10-118	同上		Ph

(187)

(H-10)

化合物	$\Phi_{17}-\Phi_{19}$	$\Phi_{29}, \Phi_{42}, \Phi_{43}$	$\Phi_{31}, \Phi_{40}, \Phi_{41}, \Phi_{43}, \Phi_{44}, \Phi_{46}$
H-10-101		Ph	Ph
H-10-102	同上	o-ピフエニリル	Ph
H-10-103	同上	m-ピフエニリル	Ph
H-10-104	同上	p-ピフエニリル	Ph
H-10-105	同上		Ph
H-10-106	同上		Ph
H-10-107	同上		Ph
H-10-108	同上	2-ナフチル	Ph
H-10-109	同上		Ph
H-10-110	同上		Ph
H-10-111	同上		Ph
H-10-112	同上		Ph
H-10-113	同上		Ph

(H-10)

化合物	$\Phi_{47} \sim \Phi_{49}$	$\Phi_{31}, \Phi_{42}, \Phi_{45}$	$\Phi_{11}, \Phi_{40}, \Phi_{41}, \Phi_{43}, \Phi_{44}, \Phi_{46}$
H-10-214			Ph
H-10-215	同上		Ph
H-10-216	同上		Ph
H-10-217	同上		Ph
H-10-218	同上		Ph

(H-10)

化合物	$\Phi_{47} \sim \Phi_{49}$	$\Phi_{39}, \Phi_{42}, \Phi_{45}$	$\Phi_{38}, \Phi_{40}, \Phi_{41}, \Phi_{43}, \Phi_{44}, \Phi_{46}$
H-10-201		Ph	Ph
H-10-202	同上	o-ピフェニリル	Ph
H-10-203	同上	m-ピフェニリル	Ph
H-10-204	同上	p-ピフェニリル	Ph
H-10-205	同上		Ph
H-10-206	同上		Ph
H-10-207	同上		Ph
H-10-208	同上	2-ナフチル	Ph
H-10-209	同上		Ph
H-10-210	同上		Ph
H-10-211	同上		Ph
H-10-212	同上		Ph
H-10-213	同上		Ph

(H-10)

化合物	$\Phi_{47} \sim \Phi_{49}$	$\Phi_{39}, \Phi_{42}, \Phi_{45}$	$\Phi_{38}, \Phi_{40}, \Phi_{41}, \Phi_{43}, \Phi_{44}, \Phi_{46}$
H-10-314			Ph
H-10-315	同上		Ph
H-10-316	同上		Ph
H-10-317	同上		Ph
H-10-318	同上		Ph

(H-10)

化合物	$\Phi_{47} \sim \Phi_{49}$	$\Phi_{39}, \Phi_{42}, \Phi_{45}$	$\Phi_{38}, \Phi_{40}, \Phi_{41}, \Phi_{43}, \Phi_{44}, \Phi_{46}$
H-10-301		Ph	Ph
H-10-302	同上	o-ピフエニル	Ph
H-10-303	同上	m-ピフエニル	Ph
H-10-304	同上	p-ピフエニル	Ph
H-10-305	同上		Ph
H-10-306	同上		Ph
H-10-307	同上		Ph
H-10-308	同上	2-ナフチル	Ph
H-10-309	同上		Ph
H-10-310	同上		Ph
H-10-311	同上		Ph
H-10-312	同上		Ph
H-10-313	同上		Ph

(H-10)

化合物	$\Phi_{47} \sim \Phi_{49}$	$\Phi_{49}, \Phi_{42}, \Phi_{45}$	$\Phi_{49}, \Phi_{40}, \Phi_{41}, \Phi_{43}, \Phi_{44}, \Phi_{46}$
H-10-401		Ph	Ph
H-10-402	同上	o-ピフエニリル	Ph
H-10-403	同上	m-ピフエニリル	Ph
H-10-404	同上	p-ピフエニリル	Ph
H-10-405	同上		Ph
H-10-406	同上		Ph
H-10-407	同上		Ph
H-10-408	同上	2-ナフチル	Ph
H-10-409	同上		Ph
H-10-410	同上		Ph
H-10-411	同上		Ph
H-10-412	同上		Ph
H-10-413	同上		Ph

(H-10)

化合物	$\Phi_{47} \sim \Phi_{49}$	$\Phi_{49}, \Phi_{42}, \Phi_{45}$	$\Phi_{49}, \Phi_{40}, \Phi_{41}, \Phi_{43}, \Phi_{44}, \Phi_{46}$
H-10-414			Ph
H-10-415	同上		Ph
H-10-416	同上		Ph
H-10-417	同上		Ph
H-10-418	同上		Ph

(H-10)

化合物	$\Phi_{47} \sim \Phi_{49}$	$\Phi_{39}, \Phi_{42}, \Phi_{45}$	$\Phi_{31}, \Phi_{40}, \Phi_{41}, \Phi_{43}, \Phi_{44}, \Phi_{46}$
H-10-514			Ph
H-10-515	同上		Ph
H-10-516	同上		Ph
H-10-517	同上		Ph
H-10-518	同上		Ph

(H-10)

化合物	$\Phi_{47} \sim \Phi_{49}$	$\Phi_{39}, \Phi_{42}, \Phi_{45}$	$\Phi_{31}, \Phi_{40}, \Phi_{41}, \Phi_{43}, \Phi_{44}, \Phi_{46}$
H-10-501		Ph	Ph
H-10-502	同上	o-ピフエニリル	Ph
H-10-503	同上	m-ピフエニリル	Ph
H-10-504	同上	p-ピフエニリル	Ph
H-10-505	同上		Ph
H-10-506	同上		Ph
H-10-507	同上		Ph
H-10-508	同上	2-ナフチル	Ph
H-10-509	同上		Ph
H-10-510	同上		Ph
H-10-511	同上		Ph
H-10-512	同上		Ph
H-10-513	同上		Ph

(H-10)

化合物	$\Phi_{47} \sim \Phi_{49}$	$\Phi_{39}, \Phi_{42}, \Phi_{43}$	$\Phi_{31}, \Phi_{40}, \Phi_{41}, \Phi_{43}, \Phi_{44}, \Phi_{46}$
H-10-601		Ph	Ph
H-10-602	同上	o-ピフエニリル	Ph
H-10-603	同上	m-ピフエニリル	Ph
H-10-604	同上	p-ピフエニリル	Ph
H-10-605	同上		Ph
H-10-606	同上		Ph
H-10-607	同上		Ph
H-10-608	同上	2-ナフチル	Ph
H-10-609	同上		Ph
H-10-610	同上		Ph
H-10-611	同上		Ph
H-10-612	同上		Ph
H-10-613	同上		Ph

(H-10)

化合物	$\Phi_{47} \sim \Phi_{49}$	$\Phi_{32}, \Phi_{42}, \Phi_{43}$	$\Phi_{31}, \Phi_{40}, \Phi_{41}, \Phi_{43}, \Phi_{44}, \Phi_{46}$
H-10-614			Ph
H-10-615	同上		Ph
H-10-616	同上		Ph
H-10-617	同上		Ph
H-10-618	同上		Ph

(199)

(200)


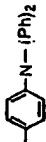

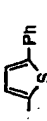
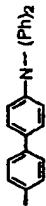
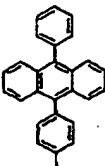
(H-10)

(H-10)




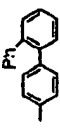


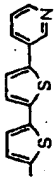
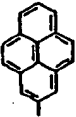
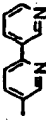
化合物	$\Phi_{47}-\Phi_{49}$	$\Phi_{39}, \Phi_{42}, \Phi_{45}$	$\Phi_{31}, \Phi_{40}, \Phi_{41}, \Phi_{43}, \Phi_{44}, \Phi_{46}$
H-10-701		Ph	Ph
H-10-702	同上	o-ピフエニリル	Ph
H-10-703	同上	m-ピフエニリル	Ph
H-10-704	同上	p-ピフエニリル	Ph
H-10-705	同上		Ph
H-10-706	同上		Ph
H-10-707	同上		Ph
H-10-708	同上	2-ナフチル	Ph
H-10-709	同上		Ph
H-10-710	同上		Ph
H-10-711	同上		Ph
H-10-712	同上		Ph
H-10-713	同上		Ph

化合物	$\Phi_{17}-\Phi_{19}$	$\Phi_{39}, \Phi_{42}, \Phi_{45}$	$\Phi_{31}, \Phi_{40}, \Phi_{41}, \Phi_{43}, \Phi_{44}, \Phi_{46}$
H-10-714			Ph
H-10-715	同上		Ph
H-10-716	同上		Ph
H-10-717	同上		Ph
H-10-718	同上		Ph

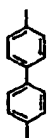

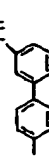
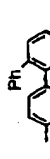

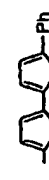

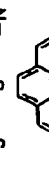
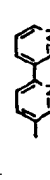
(H-11)

化合物	$\Phi_{37} \sim \Phi_{41}$	$\Phi_{50}, \Phi_{52}, \Phi_{53}$	$\Phi_{51}, \Phi_{54}, \Phi_{56}$
H-11-14			Ph
H-11-15	同上		Ph
H-11-16	同上		Ph
H-11-17	同上		Ph
H-11-18	同上		Ph

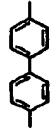
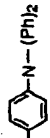

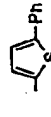
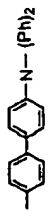
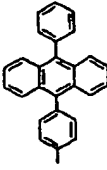
(H-11)

化合物	$\Phi_{37} \sim \Phi_{41}$	$\Phi_{50}, \Phi_{52}, \Phi_{53}$	$\Phi_{51}, \Phi_{54}, \Phi_{56}$
H-11-1		Ht	Ph
H-11-2	同上	o-ピフエニリル	Ph
H-11-3	同上	m-ピフエニリル	Ph
H-11-4	同上	p-ピフエニリル	Ph
H-11-5	同上		Ph
H-11-6	同上		Ph
H-11-7	同上		Ph
H-11-8	同上	2-ナフチル	Ph
H-11-9	同上		Ph
H-11-10	同上		Ph
H-11-11	同上		Ph
H-11-12	同上		Ph
H-11-13	同上		Ph



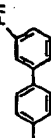
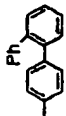


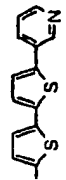
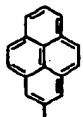

(H-11)

化合物	$\Phi_{37} \sim \Phi_{38}$	$\Phi_{50}, \Phi_{52}, \Phi_{53}$	Ph	$\Phi_{31}, \Phi_{51}, \Phi_{54}, \Phi_{56}$
H-11-101				Ph
H-11-102	同上	o-ピフエニル		Ph
H-11-103	同上	m-ピフエニル		Ph
H-11-104	同上	p-ピフエニル		Ph
H-11-105	同上			Ph
H-11-106	同上			Ph
H-11-107	同上			Ph
H-11-108	同上	2-ナフチル		Ph
H-11-109	同上			Ph
H-11-110	同上			Ph
H-11-111	同上			Ph
H-11-112	同上			Ph
H-11-113	同上			Ph


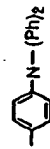


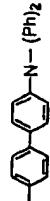
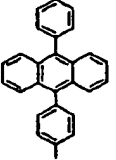
(H-11)

化合物	$\Phi_{37} \sim \Phi_{38}$	$\Phi_{50}, \Phi_{52}, \Phi_{53}$	$\Phi_{51}, \Phi_{54}, \Phi_{56}$
H-11-114			Ph
H-11-115	同上		Ph
H-11-116	同上		Ph
H-11-117	同上		Ph
H-11-118	同上		Ph

(H-11)

化合物	$\Phi_{37} \sim \Phi_{38}$	$\Phi_{39}, \Phi_{32}, \Phi_{33}$	Ph	$\Phi_{31}, \Phi_{33}, \Phi_{34}, \Phi_{36}$
H-11-201				Ph
H-11-202	同上	o-ピフエニリル		Ph
H-11-203	同上	m-ピフエニリル		Ph
H-11-204	同上	p-ピフエニリル		Ph
H-11-205	同上			Ph
H-11-206	同上			Ph
H-11-207	同上			Ph
H-11-208	同上	2-ナフチル		Ph
H-11-209	同上			Ph
H-11-210	同上			Ph
H-11-211	同上			Ph
H-11-212	同上			Ph
H-11-213	同上			Ph

(H-11)

化合物	$\Phi_{37} \sim \Phi_{38}$	$\Phi_{39}, \Phi_{32}, \Phi_{33}$	$\Phi_{31}, \Phi_{33}, \Phi_{34}, \Phi_{36}$
H-11-214			Ph
H-11-215	同上		Ph
H-11-216	同上		Ph
H-11-217	同上		Ph
H-11-218	同上		Ph



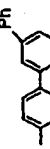
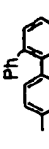
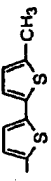


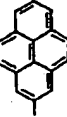
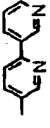
(H-11)

化合物	$\Phi_{37} \sim \Phi_{39}$	$\Phi_{50}, \Phi_{51}, \Phi_{55}$	$\Phi_{51}, \Phi_{53}, \Phi_{54}, \Phi_{56}$
H-11-314			Ph
H-11-315	同上		Ph
H-11-316	同上		Ph
H-11-317	同上		Ph
H-11-318	同上		Ph


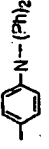
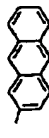

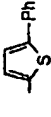
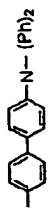
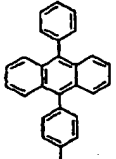
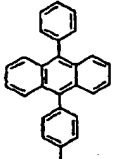
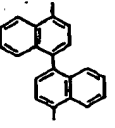
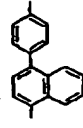
(H-11)

化合物	$\Phi_{37} \sim \Phi_{39}$	$\Phi_{50}, \Phi_{51}, \Phi_{55}$	$\Phi_{51}, \Phi_{53}, \Phi_{54}, \Phi_{56}$
H-11-301		Ph	Ph
H-11-302	同上	o-ピフエニリル	Ph
H-11-303	同上	m-ピフエニリル	Ph
H-11-304	同上	p-ピフエニリル	Ph
H-11-305	同上		Ph
H-11-306	同上		Ph
H-11-307	同上		Ph
H-11-308	同上	2-ナフチル	Ph
H-11-309	同上		Ph
H-11-310	同上		Ph
H-11-311	同上		Ph
H-11-312	同上		Ph
H-11-313	同上		Ph

(H-11)

化合物	$\Phi_{57} \sim \Phi_{58}$	Φ_{50}	Φ_{52}	Φ_{55}	Φ_{51}	Φ_{53}	Φ_{54}	Φ_{56}
H-11-401		Ph	Ph	Ph	Ph			Ph
H-11-402	同上	同上	同上	o-ピフエニリル	Ph			Ph
H-11-403	同上	同上	同上	m-ピフエニリル	Ph			Ph
H-11-404	同上	同上	同上	p-ピフエニリル	Ph			Ph
H-11-405	同上	同上	同上		Ph			Ph
H-11-406	同上	同上	同上		Ph			Ph
H-11-407	同上	同上	同上		Ph			Ph
H-11-408	同上	同上	同上	2-ナフチル	Ph			Ph
H-11-409	同上	同上	同上		Ph			Ph
H-11-410	同上	同上	同上		Ph			Ph
H-11-411	同上	同上	同上		Ph			Ph
H-11-412	同上	同上	同上		Ph			Ph
H-11-413	同上	同上	同上		Ph			Ph

(H-11)

化合物	$\Phi_{57} \sim \Phi_{58}$	Φ_{50}	Φ_{52}	Φ_{55}	Φ_{51}	Φ_{53}	Φ_{54}	Φ_{56}
H-11-414			同上	Ph	Ph			Ph
H-11-416	同上		同上		Ph			Ph
H-11-416	同上	同上	同上		Ph			Ph
H-11-417	同上	同上	同上		Ph			Ph
H-11-418	同上		同上		Ph			Ph
H-11-419		同上	同上	Ph	Ph			Ph
H-11-420		同上	同上	Ph	Ph			Ph

(113)

(114)

(H-11)

(H-11)

化合物	$\Phi_{17} \sim \Phi_{18}$	Φ_{20}	Φ_{52}	Φ_{53}	Φ_{51}	Φ_{31}	Φ_{54}	Φ_{56}
H-11-501			Ph				Ph	
H-11-502	同上	o-ジフェニル					Ph	
H-11-503	同上	m-ジフェニル					Ph	
H-11-504	同上	p-ジフェニル					Ph	
H-11-505	同上						Ph	
H-11-506	同上						Ph	
H-11-507	同上						Ph	
H-11-508	同上	2-ナフチル					Ph	
H-11-509	同上						Ph	
H-11-510	同上						Ph	
H-11-511	同上						Ph	
H-11-512	同上						Ph	
H-11-513	同上						Ph	

化合物	$\Phi_{17} \sim \Phi_{18}$	Φ_{50}	Φ_{52}	Φ_{55}	Φ_{51}	Φ_{53}	Φ_{54}	Φ_{56}
H-11-514							Ph	
H-11-515	同上						Ph	
H-11-516	同上						Ph	
H-11-517	同上						Ph	
H-11-518	同上						Ph	

(H-11)

化合物	$\Phi_{37} \sim \Phi_{38}$	Φ_{39}	Φ_{40}	Φ_{41}	Φ_{42}	Φ_{43}	Φ_{44}	Φ_{45}
H-11-601		同上	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph
H-11-602	同上	同上	o-ピフエニリル	同上	同上	同上	同上	同上
H-11-603	同上	同上	m-ピフエニリル	同上	同上	同上	同上	同上
H-11-604	同上	同上	p-ピフエニリル	同上	同上	同上	同上	同上
H-11-605	同上	同上		同上	同上	同上	同上	同上
H-11-606	同上	同上		同上	同上	同上	同上	同上
H-11-607	同上	同上		同上	同上	同上	同上	同上
H-11-608	同上	同上	2-ナフチル	同上	同上	同上	同上	同上
H-11-609	同上	同上		同上	同上	同上	同上	同上
H-11-610	同上	同上		同上	同上	同上	同上	同上
H-11-611	同上	同上		同上	同上	同上	同上	同上
H-11-612	同上	同上		同上	同上	同上	同上	同上
H-11-613	同上	同上		同上	同上	同上	同上	同上

(H-11)

化合物	$\Phi_{37} \sim \Phi_{38}$	Φ_{39}	Φ_{40}	Φ_{41}	Φ_{42}	Φ_{43}	Φ_{44}	Φ_{45}
H-11-614		同上		同上	同上	同上	同上	同上
H-11-615	同上	同上		同上	同上	同上	同上	同上
H-11-616	同上	同上		同上	同上	同上	同上	同上
H-11-617	同上	同上		同上	同上	同上	同上	同上
H-11-618	同上	同上		同上	同上	同上	同上	同上

(117)

(218)

(H-11)

(H-11)

化合物	$\Phi_{27} \sim \Phi_{31}$	$\Phi_{30}, \Phi_{32}, \Phi_{33}$	$\Phi_{31}, \Phi_{33}, \Phi_{34}, \Phi_{36}$
H-11-701		Ph	Ph
H-11-702	同上	o-ビフェニリル	Ph
H-11-703	同上	m-ビフェニリル	Ph
H-11-704	同上	p-ビフェニリル	Ph
H-11-705	同上		Ph
H-11-706	同上		Ph
H-11-707	同上		Ph
H-11-708	同上	2-ナフチル	Ph
H-11-709	同上		Ph
H-11-710	同上		Ph
H-11-711	同上		Ph
H-11-712	同上		Ph
H-11-713	同上		Ph

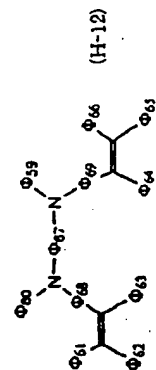
化合物	$\Phi_{27} \sim \Phi_{31}$	$\Phi_{30}, \Phi_{32}, \Phi_{33}$	$\Phi_{31}, \Phi_{33}, \Phi_{34}, \Phi_{36}$
H-11-714			Ph
H-11-715	同上		Ph
H-11-716	同上		Ph
H-11-717	同上		Ph
H-11-718	同上		Ph

(H-11)



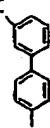
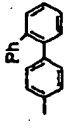
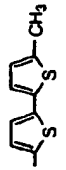
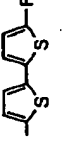
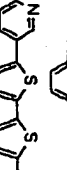
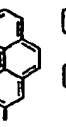

化合物	$\Phi_{37} \sim \Phi_{38}$	$\Phi_{50}, \Phi_{52}, \Phi_{55}$	$\Phi_{51}, \Phi_{53}, \Phi_{54}, \Phi_{56}$
H-11-814			Ph
H-11-815	同上		Ph
H-11-816	同上		Ph
H-11-817	同上		Ph
H-11-818	同上		Ph
H-11-819		Ph	Ph

(H-11)




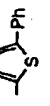
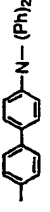
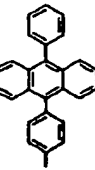
化合物	$\Phi_{37} \sim \Phi_{38}$	$\Phi_{50}, \Phi_{52}, \Phi_{55}$	$\Phi_{51}, \Phi_{53}, \Phi_{54}, \Phi_{56}$
H-11-801		Ph	Ph
H-11-802	同上	o-ピフエニリル	Ph
H-11-803	同上	m-ピフエニリル	Ph
H-11-804	同上	p-ピフエニリル	Ph
H-11-805	同上		Ph
H-11-806	同上		Ph
H-11-807	同上		Ph
H-11-808	同上	2-ナフチル	Ph
H-11-809	同上		Ph
H-11-810	同上		Ph
H-11-811	同上		Ph
H-11-812	同上		Ph
H-11-813	同上		Ph



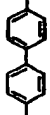
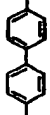
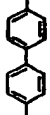
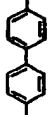


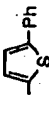
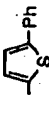
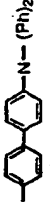
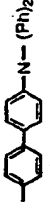
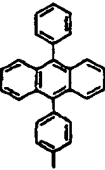
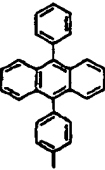
(H-12)

化合物	$\Phi_{57} \sim \Phi_{69}$	Φ_{79}	Φ_{80}	$\Phi_{81} \sim \Phi_{83}$	$\Phi_{84} \sim \Phi_{86}$
H-12-1		Ph	同左	Ph	Ph
H-12-2	同上	o-ピフェニリル	同左	Ph	Ph
H-12-3	同上	m-ピフェニリル	同左	Ph	Ph
H-12-4	同上	p-ピフェニリル	同左	Ph	Ph
H-12-5	同上		同左	Ph	Ph
H-12-6	同上		同左	Ph	Ph
H-12-7	同上		同左	Ph	Ph
H-12-8	同上	2-ナフチル	同左	Ph	Ph
H-12-9	同上		同左	Ph	Ph
H-12-10	同上		同左	Ph	Ph
H-12-11	同上		同左	Ph	Ph
H-12-12	同上		同左	Ph	Ph
H-12-13	同上		同左	Ph	Ph

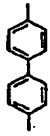


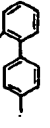



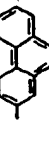

(H-12)

化合物	$\Phi_{57} \sim \Phi_{69}$	Φ_{79}	Φ_{80}	$\Phi_{81} \sim \Phi_{83}$	$\Phi_{84} \sim \Phi_{86}$
H-12-14			同左	Ph	Ph
H-12-15	同上		同左	Ph	Ph
H-12-16	同上		同左	Ph	Ph
H-12-17	同上		同左	Ph	Ph
H-12-18	同上		同左	Ph	Ph

(H-12)

化合物	$\Phi_1 \sim \Phi_4$	Φ_5	Φ_6	$\Phi_7 \sim \Phi_{13}$	$\Phi_{14} \sim \Phi_{16}$
H-12-114					Ph
H-12-115	同上		同上		Ph
H-12-116	同上		同上		Ph
H-12-117	同上		同上		Ph
H-12-118	同上		同上		Ph

(H-12)

化合物	$\Phi_1 \sim \Phi_4$	Φ_5	Φ_6	$\Phi_7 \sim \Phi_{13}$	$\Phi_{14} \sim \Phi_{16}$
H-12-101		Ph	同上	Ph	Ph
H-12-102	同上	p-ピフェニル	同上	Ph	Ph
H-12-103	同上	m-ピフェニル	同上	Ph	Ph
H-12-104	同上	p-ピフェニル	同上	Ph	Ph
H-12-105	同上		同上	Ph	Ph
H-12-106	同上		同上	Ph	Ph
H-12-107	同上		同上	Ph	Ph
H-12-108	同上	2-ナフチル	同上	Ph	Ph
H-12-109	同上		同上	Ph	Ph
H-12-110	同上		同上	Ph	Ph
H-12-111	同上		同上	Ph	Ph
H-12-112	同上		同上	Ph	Ph
H-12-113	同上		同上	Ph	Ph

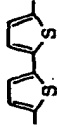
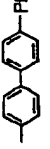
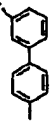
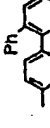



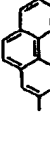
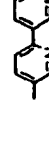
(H-12)

化合物	$\Phi_{57} \sim \Phi_{59}$	Φ_{59}	Φ_{60}	$\Phi_{61} \sim \Phi_{63}$	$\Phi_{64} \sim \Phi_{66}$
H-12-201		Ph	同左	Ph	Ph
H-12-202	同上	o-ピフエニリル	同左	Ph	Ph
H-12-203	同上	m-ピフエニリル	同左	Ph	Ph
H-12-204	同上	p-ピフエニリル	同左	Ph	Ph
H-12-205	同上		同左	Ph	Ph
H-12-206	同上		同左	Ph	Ph
H-12-207	同上		同左	Ph	Ph
H-12-208	同上	2-ナフチル	同左	Ph	Ph
H-12-209	同上		同左	Ph	Ph
H-12-210	同上		同左	Ph	Ph
H-12-211	同上		同左	Ph	Ph
H-12-212	同上		同左	Ph	Ph
H-12-213	同上		同左	Ph	Ph


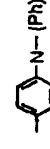


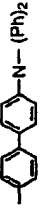
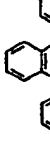
(H-12)

化合物	$\Phi_{57} \sim \Phi_{59}$	Φ_{59}	Φ_{60}	$\Phi_{61} \sim \Phi_{63}$	$\Phi_{64} \sim \Phi_{66}$
H-12-214			同左	Ph	Ph
H-12-215	同上		同左	Ph	Ph
H-12-216	同上		同左	Ph	Ph
H-12-217	同上		同左	Ph	Ph
H-12-218	同上		同左	Ph	Ph

(H-12)

化合物	$\Phi_{61} \sim \Phi_{66}$	Φ_{59}	Φ_{60}	$\Phi_{61} \sim \Phi_{63}$	$\Phi_{64} \sim \Phi_{66}$
H-12-301		Ph	同左	Ph	Ph
H-12-302	同上	o-ピフェニリル	同左	Ph	Ph
H-12-303	同上	m-ピフェニリル	同左	Ph	Ph
H-12-304	同上	p-ピフェニリル	同左	Ph	Ph
H-12-305	同上		同左	Ph	Ph
H-12-306	同上		同左	Ph	Ph
H-12-307	同上		同左	Ph	Ph
H-12-308	同上	2-ナフチル	同左	Ph	Ph
H-12-309	同上		同左	Ph	Ph
H-12-310	同上		同左	Ph	Ph
H-12-311	同上		同左	Ph	Ph
H-12-312	同上		同左	Ph	Ph
H-12-313	同上		同左	Ph	Ph

(H-12)

化合物	$\Phi_{61} \sim \Phi_{66}$	Φ_{59}	Φ_{60}	$\Phi_{61} \sim \Phi_{63}$	$\Phi_{64} \sim \Phi_{66}$
H-12-314			Ph	Ph	Ph
H-12-315	同上		Ph	Ph	Ph
H-12-316	同上		Ph	Ph	Ph
H-12-317	同上		Ph	Ph	Ph
H-12-318	同上		Ph	Ph	Ph

(H-12)

化合物	$\Phi_{27} \sim \Phi_{29}$	Φ_{39}	Φ_{60}	$\Phi_{61} \sim \Phi_{63}$	$\Phi_{64} \sim \Phi_{66}$
H-12-401		Ph	同左	Ph	Ph
H-12-402	同上	o-ピフエニリル	同左	Ph	Ph
H-12-403	同上	m-ピフエニリル	同左	Ph	Ph
H-12-404	同上	p-ピフエニリル	同左	Ph	Ph
H-12-405	同上		同左	Ph	Ph
H-12-406	同上		同左	Ph	Ph
H-12-407	同上		同左	Ph	Ph
H-12-408	同上	2-ナフチル	同左	Ph	Ph
H-12-409	同上		同左	Ph	Ph
H-12-410	同上		同左	Ph	Ph
H-12-411	同上		同左	Ph	Ph
H-12-412	同上		同左	Ph	Ph
H-12-413	同上		同左	Ph	Ph

(H-12)

化合物	$\Phi_{27} \sim \Phi_{29}$	Φ_{39}	Φ_{60}	$\Phi_{61} \sim \Phi_{63}$	$\Phi_{64} \sim \Phi_{66}$
H-12-414			同左	Ph	Ph
H-12-415	同上		同左	Ph	Ph
H-12-416	同上		同左	Ph	Ph
H-12-417	同上		同左	Ph	Ph
H-12-418	同上		同左	Ph	Ph

(H-12)

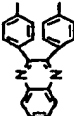


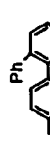
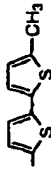

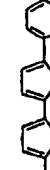


化合物	$\Phi_{17} \sim \Phi_{49}$	Φ_{59}	Φ_{60}	$\Phi_{61} \sim \Phi_{63}$	$\Phi_{64} \sim \Phi_{66}$
H-12-501		Ph	同左	Ph	Ph
H-12-502	同上	o-ピフエニル	同左	Ph	Ph
H-12-503	同上	m-ピフエニル	同左	Ph	Ph
H-12-504	同上	p-ピフエニル	同左	Ph	Ph
H-12-505	同上		同左	Ph	Ph
H-12-506	同上		同左	Ph	Ph
H-12-507	同上		同左	Ph	Ph
H-12-508	同上	2-ナフチル	同左	Ph	Ph
H-12-509	同上		同左	Ph	Ph
H-12-510	同上		同左	Ph	Ph
H-12-511	同上		同左	Ph	Ph
H-12-512	同上		同左	Ph	Ph
H-12-513	同上		同左	Ph	Ph

(232)

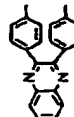
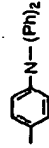

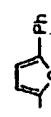
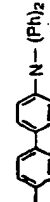
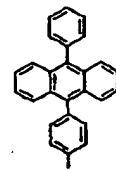
(H-12)

化合物	$\Phi_{17} \sim \Phi_{49}$	Φ_{59}	Φ_{60}	$\Phi_{61} \sim \Phi_{63}$	$\Phi_{64} \sim \Phi_{66}$
H-12-514			Ph	Ph	Ph
H-12-515	同上		Ph	Ph	Ph
H-12-516	同上		Ph	Ph	Ph
H-12-517	同上		Ph	Ph	Ph
H-12-518	同上		Ph	Ph	Ph

(H-12)

化合物	$\Phi_{57} \sim \Phi_{59}$	Φ_{59}	Φ_{60}	$\Phi_{61} \sim \Phi_{63}$	$\Phi_{64} \sim \Phi_{66}$
H-12-601		Ph	同左	Ph	Ph
H-12-602	同上	o-ピフェニリル	同左	Ph	Ph
H-12-603	同上	m-ピフェニリル	同左	Ph	Ph
H-12-604	同上	p-ピフェニリル	同左	Ph	Ph
H-12-605	同上		同左	Ph	Ph
H-12-606	同上		同左	Ph	Ph
H-12-607	同上		同左	Ph	Ph
H-12-608	同上	2-ナフチル	同左	Ph	Ph
H-12-609	同上		同左	Ph	Ph
H-12-610	同上		同左	Ph	Ph
H-12-611	同上		同左	Ph	Ph
H-12-612	同上		同左	Ph	Ph
H-12-613	同上		同左	Ph	Ph

(H-12)

化合物	$\Phi_{57} \sim \Phi_{59}$	Φ_{59}	Φ_{60}	$\Phi_{61} \sim \Phi_{63}$	$\Phi_{64} \sim \Phi_{66}$
H-12-614			同左	Ph	Ph
H-12-615	同上		同左	Ph	Ph
H-12-616	同上		同左	Ph	Ph
H-12-617	同上		同左	Ph	Ph
H-12-618	同上		同左	Ph	Ph

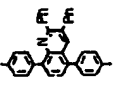




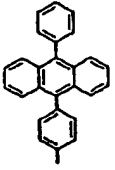
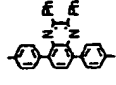
(H-12)

化合物	$\Phi_{67} \sim \Phi_{69}$	Φ_{59}	Φ_{60}	$\Phi_{61} \sim \Phi_{63}$	$\Phi_{64} \sim \Phi_{66}$
H-12-714			同左	同左	Ph
H-12-715	同上		同左	同左	Ph
H-12-716	同上		同左	同左	Ph
H-12-717	同上		同左	同左	Ph
H-12-718	同上		同左	同左	Ph

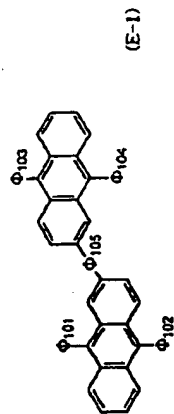
(H-12)

化合物	$\Phi_{67} \sim \Phi_{69}$	Φ_{59}	Φ_{60}	$\Phi_{61} \sim \Phi_{63}$	$\Phi_{64} \sim \Phi_{66}$
H-12-701		Ph	同左	Ph	Ph
H-12-702	同上	o-ピフエニリル	同左	Ph	Ph
H-12-703	同上	m-ピフエニリル	同左	Ph	Ph
H-12-704	同上	p-ピフエニリル	同左	Ph	Ph
H-12-705	同上		同左	Ph	Ph
H-12-706	同上		同左	Ph	Ph
H-12-707	同上		同左	Ph	Ph
H-12-708	同上	2-ナフチル	同左	Ph	Ph
H-12-709	同上		同左	Ph	Ph
H-12-710	同上		同左	Ph	Ph
H-12-711	同上		同左	Ph	Ph
H-12-712	同上		同左	Ph	Ph
H-12-713	同上		同左	Ph	Ph



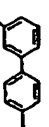
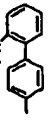
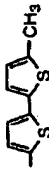


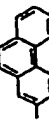
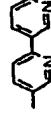
(H-12)

化合物	$\Phi_{51} \sim \Phi_{59}$	Φ_{59}	Φ_{60}	$\Phi_{61} \sim \Phi_{63}$	$\Phi_{64} \sim \Phi_{66}$
H-12-814			同左	Ph	Ph
H-12-815	同上		同左	Ph	Ph
H-12-816	同上		同左	Ph	Ph
H-12-817	同上		同左	Ph	Ph
H-12-818	同上		同左	Ph	Ph
H-12-819		Ph	Ph	Ph	Ph




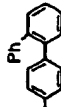



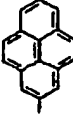
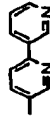
一方、電子注入輸送性化合物である電子輸送性のホスト材料としては、前記のキノリノラト金属錯体が好ましい。
以下に、前記の化合物に包含しない置換する化合物もあるが、電子輸送性のホスト材料を列挙する。ここでは式 (E-1) ~ (E-14) に従う Φ_{101} 等の組合せで示している。




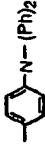



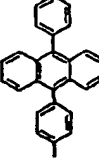
(H-12)

化合物	$\Phi_{51} \sim \Phi_{59}$	Φ_{59}	Φ_{60}	$\Phi_{61} \sim \Phi_{63}$	$\Phi_{64} \sim \Phi_{66}$
H-12-801		Ph	同左	Ph	Ph
H-12-802	同上	o-ピフエニリル	同左	Ph	Ph
H-12-803	同上	m-ピフエニリル	同左	Ph	Ph
H-12-804	同上	p-ピフエニリル	同左	Ph	Ph
H-12-805	同上		同左	Ph	Ph
H-12-806	同上		同左	Ph	Ph
H-12-807	同上		同左	Ph	Ph
H-12-808	同上	2-ナフチル	同左	Ph	Ph
H-12-809	同上		同左	Ph	Ph
H-12-810	同上		同左	Ph	Ph
H-12-811	同上		同左	Ph	Ph
H-12-812	同上		同左	Ph	Ph
H-12-813	同上		同左	Ph	Ph

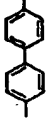
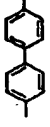

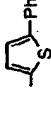

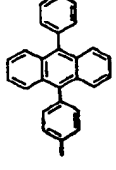
(E-1)

化合物	Φ_{103}	Φ_{101}	Φ_{102}	Φ_{103}	Φ_{104}
E-1-1		Ph	同左	同左	同左
E-1-2	同上	o-ピフエニリル	同左	同左	同左
E-1-3	同上	m-ピフエニリル	同左	同左	同左
E-1-4	同上	p-ピフエニリル	同左	同左	同左
E-1-5	同上		同左	同左	同左
E-1-6	同上		同左	同左	同左
E-1-7	同上		同左	同左	同左
E-1-8	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左
E-1-9	同上		同左	同左	同左
E-1-10	同上		同左	同左	同左
E-1-11	同上		同左	同左	同左
E-1-12	同上		同左	同左	同左
E-1-13	同上		同左	同左	同左



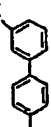
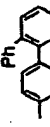



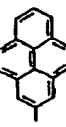
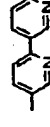
(E-1)

化合物	Φ_{105}	Φ_{101}	Φ_{102}	Φ_{103}	Φ_{104}
E-1-14			同左	同左	同左
E-1-15	同上		同左	同左	同左
E-1-16	同上		同左	同左	同左
E-1-17	同上		同左	同左	同左
E-1-18	同上		同左	同左	同左
E-1-19	同上	Ph	H	Ph	H


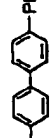
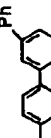



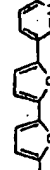
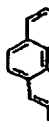
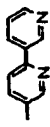
(E-1)

化合物	Φ_{105}	Φ_{101}	Φ_{102}	Φ_{103}	Φ_{104}
E-1-114			同上	同上	同上
E-1-115	同上		同上	同上	同上
E-1-116	同上		同上	同上	同上
E-1-117	同上		同上	同上	同上
E-1-118	同上		同上	同上	同上
E-1-119	同上	Ph	H	Ph	H


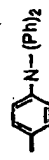


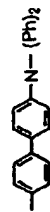
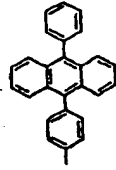
(E-1)

化合物	Φ_{103}	Φ_{101}	Φ_{102}	Φ_{103}	Φ_{104}
E-1-101		Ph	同上	同上	同上
E-1-102	同上	o-ピフェニリル	同上	同上	同上
E-1-103	同上	m-ピフェニリル	同上	同上	同上
E-1-104	同上	p-ピフェニリル	同上	同上	同上
E-1-105	同上		同上	同上	同上
E-1-106	同上		同上	同上	同上
E-1-107	同上		同上	同上	同上
E-1-108	同上	2-ナフチル	同上	同上	同上
E-1-109	同上		同上	同上	同上
E-1-110	同上		同上	同上	同上
E-1-111	同上		同上	同上	同上
E-1-112	同上		同上	同上	同上
E-1-113	同上		同上	同上	同上



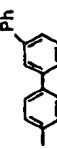
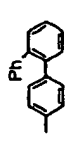



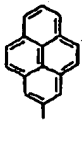

(E-1)

化合物	Φ_{105}	Φ_{101}	Φ_{102}	Φ_{103}	Φ_{104}
E-1-201		Ph	同左	同左	同左
E-1-202	同上	o-ピフェニリル	同左	同左	同左
E-1-203	同上	m-ピフェニリル	同左	同左	同左
E-1-204	同上	p-ピフェニリル	同左	同左	同左
E-1-205	同上		同左	同左	同左
E-1-206	同上		同左	同左	同左
E-1-207	同上		同左	同左	同左
E-1-208	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左
E-1-209	同上		同左	同左	同左
E-1-210	同上		同左	同左	同左
E-1-211	同上		同左	同左	同左
E-1-212	同上		同左	同左	同左
E-1-213	同上		同左	同左	同左

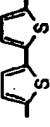


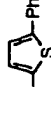
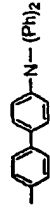
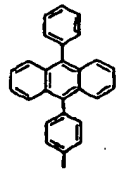
(E-1)

化合物	Φ_{105}	Φ_{101}	Φ_{102}	Φ_{103}	Φ_{104}
E-1-214			同左	同左	同左
E-1-215	同上		同左	同左	同左
E-1-216	同上		同左	同左	同左
E-1-217	同上		同左	同左	同左
E-1-218	同上		同左	同左	同左
E-1-219	同上	Ph	H	Ph	H

(E-1)

化合物	Φ_{105}	Φ_{101}	Φ_{102}	Φ_{103}	Φ_{104}
E-1-301		Ph	同左	同左	同左
E-1-302	同上	o-ピフエニリル	同左	同左	同左
E-1-303	同上	m-ピフエニリル	同左	同左	同左
E-1-304	同上	p-ピフエニリル	同左	同左	同左
E-1-305	同上		同左	同左	同左
E-1-306	同上		同左	同左	同左
E-1-307	同上		同左	同左	同左
E-1-308	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左
E-1-309	同上		同左	同左	同左
E-1-310	同上		同左	同左	同左
E-1-311	同上		同左	同左	同左
E-1-312	同上		同左	同左	同左
E-1-313	同上		同左	同左	同左

(E-1)

化合物	Φ_{105}	Φ_{101}	Φ_{102}	Φ_{103}	Φ_{104}
E-1-314			同左	同左	同左
E-1-315	同上		同左	同左	同左
E-1-316	同上		同左	同左	同左
E-1-317	同上		同左	同左	同左
E-1-318	同上		同左	同左	同左
E-1-319	同上	Ph	H	Ph	H

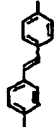

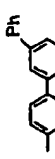


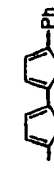
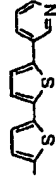
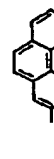
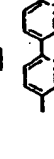
(E-1)

化合物	Φ_{105}	Φ_{101}	Φ_{102}	Φ_{103}	Φ_{104}
E-1-401		Ph	同左	同左	同左
E-1-402	同上	o-ピフェニリル	同左	同左	同左
E-1-403	同上	m-ピフェニリル	同左	同左	同左
E-1-404	同上	p-ピフェニリル	同左	同左	同左
E-1-405	同上		同左	同左	同左
E-1-406	同上		同左	同左	同左
E-1-407	同上		同左	同左	同左
E-1-408	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左
E-1-409	同上		同左	同左	同左
E-1-410	同上		同左	同左	同左
E-1-411	同上		同左	同左	同左
E-1-412	同上		同左	同左	同左
E-1-413	同上		同左	同左	同左

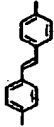
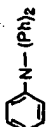
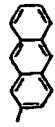

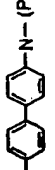
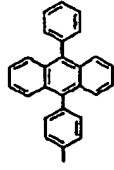
(E-1)

化合物	Φ_{105}	Φ_{101}	Φ_{102}	Φ_{103}	Φ_{104}
E-1-414			同左	同左	同左
E-1-415	同上		同左	同左	同左
E-1-416	同上		同左	同左	同左
E-1-417	同上		同左	同左	同左
E-1-418	同上		同左	同左	同左
E-1-419	同上	Ph	H	Ph	H



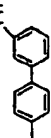
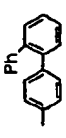
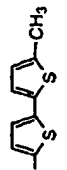
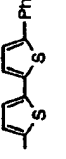
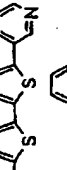
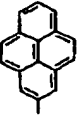
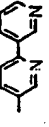
(E-1)

化合物	Φ_{105}	Φ_{101}	Φ_{102}	Φ_{103}	Φ_{104}
E-1-501		Ph	同左	同左	同左
E-1-502	同上	o-ピフエニリル	同左	同左	同左
E-1-503	同上	m-ピフエニリル	同左	同左	同左
E-1-504	同上	p-ピフエニリル	同左	同左	同左
E-1-505	同上		同左	同左	同左
E-1-506	同上		同左	同左	同左
E-1-507	同上		同左	同左	同左
E-1-508	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左
E-1-509	同上		同左	同左	同左
E-1-510	同上		同左	同左	同左
E-1-511	同上		同左	同左	同左
E-1-512	同上		同左	同左	同左
E-1-513	同上		同左	同左	同左


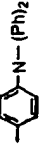
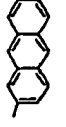
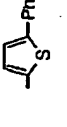
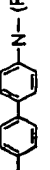
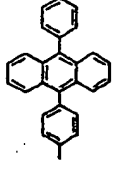
(E-1)

化合物	Φ_{105}	Φ_{101}	Φ_{102}	Φ_{103}	Φ_{104}
E-1-514			同左	同左	同左
E-1-515	同上		同左	同左	同左
E-1-516	同上		同左	同左	同左
E-1-517	同上		同左	同左	同左
E-1-518	同上		同左	同左	同左
E-1-519	同上	Ph	H	Ph	H

(E-1)

化合物	Φ_{105}	Φ_{101}	Φ_{102}	Φ_{103}	Φ_{104}
E-1-601		Ph	同左	同左	同左
E-1-602	同上	o-ピフエニリル	同左	同左	同左
E-1-603	同上	m-ピフエニリル	同左	同左	同左
E-1-604	同上	p-ピフエニリル	同左	同左	同左
E-1-605	同上		同左	同左	同左
E-1-606	同上		同左	同左	同左
E-1-607	同上		同左	同左	同左
E-1-608	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左
E-1-609	同上		同左	同左	同左
E-1-610	同上		同左	同左	同左
E-1-611	同上		同左	同左	同左
E-1-612	同上		同左	同左	同左
E-1-613	同上		同左	同左	同左

(E-1)

化合物	Φ_{105}	Φ_{101}	Φ_{102}	Φ_{103}	Φ_{104}
E-1-614			同左	同左	同左
E-1-615	同上		同左	同左	同左
E-1-616	同上		同左	同左	同左
E-1-617	同上		同左	同左	同左
E-1-618	同上		同左	同左	同左
E-1-619	同上	Ph	H	Ph	H

(E-1)

化合物	Φ_{103}	Φ_{101}	Φ_{102}	Φ_{103}	Φ_{104}
E-1-701		Ph	同左	同左	同左
E-1-702	同上	o-ピフェニリル	同左	同左	同左
E-1-703	同上	m-ピフェニリル	同左	同左	同左
E-1-704	同上	p-ピフェニリル	同左	同左	同左
E-1-705	同上		同左	同左	同左
E-1-706	同上		同左	同左	同左
E-1-707	同上		同左	同左	同左
E-1-708	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左
E-1-709	同上		同左	同左	同左
E-1-710	同上		同左	同左	同左
E-1-711	同上		同左	同左	同左
E-1-712	同上		同左	同左	同左
E-1-713	同上		同左	同左	同左

(E-1)

化合物	Φ_{103}	Φ_{101}	Φ_{102}	Φ_{103}	Φ_{104}
E-1-714			同左	同左	同左
E-1-715	同上		同左	同左	同左
E-1-716	同上		同左	同左	同左
E-1-717	同上		同左	同左	同左
E-1-718	同上		同左	同左	同左
E-1-719	同上	Ph	H	Ph	H

(E-1)

化合物	Φ_{105}	Φ_{101}	Φ_{102}	Φ_{103}	Φ_{104}
E-1-814			同左	同左	同左
E-1-815	同上		同左	同左	同左
E-1-816	同上		同左	同左	同左
E-1-817	同上		同左	同左	同左
E-1-818	同上		同左	同左	同左
E-1-819	同上	Ph	H	Ph	H
E-1-820		Ph	同左	同左	同左

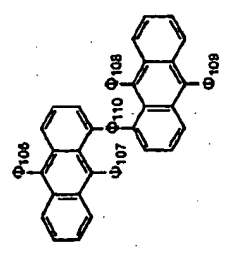
(E-1)

化合物	Φ_{105}	Φ_{101}	Φ_{102}	Φ_{103}	Φ_{104}
E-1-801		Ph	同左	同左	同左
E-1-802	同上	o-ピフエニリル	同左	同左	同左
E-1-803	同上	m-ピフエニリル	同左	同左	同左
E-1-804	同上	p-ピフエニリル	同左	同左	同左
E-1-805	同上		同左	同左	同左
E-1-806	同上		同左	同左	同左
E-1-807	同上		同左	同左	同左
E-1-808	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左
E-1-809	同上		同左	同左	同左
E-1-810	同上		同左	同左	同左
E-1-811	同上		同左	同左	同左
E-1-812	同上		同左	同左	同左
E-1-813	同上		同左	同左	同左


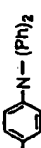

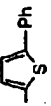

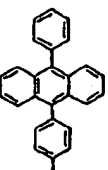
(E-2)

化合物	Φ ₁₁₀	Φ ₁₀₆	Φ ₁₀₇	Φ ₁₀₈	Φ ₁₀₉
E-2-1		Ph	同左	同左	同左
E-2-2	同上	o-ビフエニリル	同左	同左	同左
E-2-3	同上	m-ビフエニリル	同左	同左	同左
E-2-4	同上	p-ビフエニリル	同左	同左	同左
E-2-5	同上		同左	同左	同左
E-2-6	同上		同左	同左	同左
E-2-7	同上		同左	同左	同左
E-2-8	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左
E-2-9	同上		同左	同左	同左
E-2-10	同上		同左	同左	同左
E-2-11	同上		同左	同左	同左
E-2-12	同上		同左	同左	同左
E-2-13	同上		同左	同左	同左



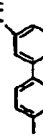
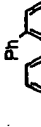



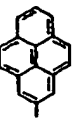

(E-2)




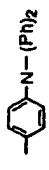


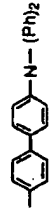
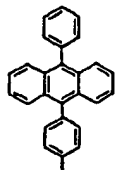
(E-2)

化合物	Φ_{110}	Φ_{106}	Φ_{107}	Φ_{108}	Φ_{109}
E-2-14			同左	同左	同左
E-2-15	同上		同左	同左	同左
E-2-16	同上		同左	同左	同左
E-2-17	同上		同左	同左	同左
E-2-18	同上		同左	同左	同左
E-2-19	同上	Ph	H	Ph	H



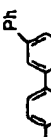
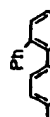



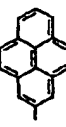
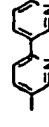
(E-2)

化合物	Φ_{110}	Φ_{106}	Φ_{107}	Φ_{108}	Φ_{109}
E-2-101		Ph	同左	同左	同左
E-2-102	同上	o-ピフエニリル	同左	同左	同左
E-2-103	同上	m-ピフエニリル	同左	同左	同左
E-2-104	同上	p-ピフエニリル	同左	同左	同左
E-2-105	同上		同左	同左	同左
E-2-106	同上		同左	同左	同左
E-2-107	同上		同左	同左	同左
E-2-108	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左
E-2-109	同上		同左	同左	同左
E-2-110	同上		同左	同左	同左
E-2-111	同上		同左	同左	同左
E-2-112	同上		同左	同左	同左
E-2-113	同上		同左	同左	同左

(E-2)

化合物	Φ_{110}	Φ_{106}	Φ_{107}	Φ_{108}	Φ_{109}
E-2-114			同左	同左	同左
E-2-115	同上		同左	同左	同左
E-2-116	同上		同左	同左	同左
E-2-117	同上		同左	同左	同左
E-2-118	同上		同左	同左	同左
E-2-119	同上	Ph	H	Ph	H

(E-2)

化合物	Φ_{110}	Φ_{106}	Φ_{107}	Φ_{108}	Φ_{109}
E-2-201		Ph	同左	同左	同左
E-2-202	同上	o-ピフェニル	同左	同左	同左
E-2-203	同上	m-ピフェニル	同左	同左	同左
E-2-204	同上	p-ピフェニル	同左	同左	同左
E-2-205	同上		同左	同左	同左
E-2-206	同上		同左	同左	同左
E-2-207	同上		同左	同左	同左
E-2-208	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左
E-2-209	同上		同左	同左	同左
E-2-210	同上		同左	同左	同左
E-2-211	同上		同左	同左	同左
E-2-212	同上		同左	同左	同左
E-2-213	同上		同左	同左	同左

(E-2)

化合物	Φ_{110}	Φ_{106}	Φ_{107}	Φ_{104}	Φ_{109}
E-2-214			同左	同左	同左
E-2-215	同上		同左	同左	同左
E-2-216	同上		同左	同左	同左
E-2-217	同上		同左	同左	同左
E-2-218	同上		同左	同左	同左
E-2-219	同上	Ph	H	Ph	H

(E-2)

化合物	Φ_{110}	Φ_{106}	Φ_{107}	Φ_{103}	Φ_{109}
E-2-301		Ph	同左	同左	同左
E-2-302	同上	o-ピフエニリル	同左	同左	同左
E-2-303	同上	m-ピフエニリル	同左	同左	同左
E-2-304	同上	p-ピフエニリル	同左	同左	同左
E-2-305	同上		同左	同左	同左
E-2-306	同上		同左	同左	同左
E-2-307	同上		同左	同左	同左
E-2-308	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左
E-2-309	同上		同左	同左	同左
E-2-310	同上		同左	同左	同左
E-2-311	同上		同左	同左	同左
E-2-312	同上		同左	同左	同左
E-2-313	同上		同左	同左	同左

(E-2)	化合物	Φ_{110}	Φ_{106}	Φ_{107}	Φ_{108}	Φ_{109}
E-2-314		同上		同左	同左	同左
E-2-315	同上	同上		同左	同左	同左
E-2-316	同上	同上		同左	同左	同左
E-2-317	同上	同上		同左	同左	同左
E-2-318	同上	同上		同左	同左	同左
E-2-319	同上	同上	Ph	H	Pn	H

(E-2)	化合物	Φ_{110}	Φ_{106}	Φ_{107}	Φ_{108}	Φ_{109}
E-2-401		同上	Ph	同左	同左	同左
E-2-402	同上	同上	o-ピフェニル	同左	同左	同左
E-2-403	同上	同上	m-ピフェニル	同左	同左	同左
E-2-404	同上	同上	p-ピフェニル	同左	同左	同左
E-2-405	同上	同上		同左	同左	同左
E-2-406	同上	同上		同左	同左	同左
E-2-407	同上	同上		同左	同左	同左
E-2-408	同上	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左
E-2-409	同上	同上		同左	同左	同左
E-2-410	同上	同上		同左	同左	同左
E-2-411	同上	同上		同左	同左	同左
E-2-412	同上	同上		同左	同左	同左
E-2-413	同上	同上		同左	同左	同左

(E-2)

化合物	Φ_{10}	Φ_{106}	Φ_{107}	Φ_{108}	Φ_{109}
E-2-414			同左	同左	同左
E-2-415	同上		同左	同左	同左
E-2-416	同上		同左	同左	同左
E-2-417	同上		同左	同左	同左
E-2-418	同上		同左	同左	同左
E-2-419	同上	Ph	H	Ph	H

(E-2)

化合物	Φ_{10}	Φ_{106}	Φ_{107}	Φ_{108}	Φ_{109}
E-2-501		Ph	同左	同左	同左
E-2-502	同上	o-ピフェニル	同左	同左	同左
E-2-503	同上	m-ピフェニル	同左	同左	同左
E-2-504	同上	p-ピフェニル	同左	同左	同左
E-2-505	同上		同左	同左	同左
E-2-506	同上		同左	同左	同左
E-2-507	同上		同左	同左	同左
E-2-508	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左
E-2-509	同上		同左	同左	同左
E-2-510	同上		同左	同左	同左
E-2-511	同上		同左	同左	同左
E-2-512	同上		同左	同左	同左
E-2-513	同上		同左	同左	同左

(E-2)

化合物	Φ_{110}	Φ_{106}	Φ_{107}	Φ_{108}	Φ_{109}
E-2-514			同左	同左	同左
E-2-515	同上		同左	同左	同左
E-2-516	同1.		同左	同左	同左
E-2-517	同上		同左	同左	同左
E-2-518	同上		同左	同左	同左
E-2-519	同上	Ph	H	Ph	H

(E-2)

化合物	Φ_{110}	Φ_{106}	Φ_{107}	Φ_{108}	Φ_{109}
E-2-601		Ph	同左	同左	同左
E-2-602	同上	σ -ピフェニリル	同左	同左	同左
E-2-603	同上	m-ピフェニリル	同左	同左	同左
E-2-604	同上	p-ピフェニリル	同左	同左	同左
E-2-605	同上		同左	同左	同左
E-2-606	同上		同左	同左	同左
E-2-607	同上		同左	同左	同左
E-2-608	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左
E-2-609	同上		同左	同左	同左
E-2-610	同上		同左	同左	同左
E-2-611	同上		同左	同左	同左
E-2-612	同上		同左	同左	同左
E-2-613	同上		同左	同左	同左

(E-2)

化合物	Φ_{110}	Φ_{106}	Φ_{107}	Φ_{103}	Φ_{109}
E-2-701		Ph	同左	同左	同左
E-2-702	同上	o-ピフエニリル	同左	同左	同左
E-2-703	同上	m-ピフエニリル	同左	同左	同左
E-2-704	同上	p-ピフエニリル	同左	同左	同左
E-2-705	同上		同左	同左	同左
E-2-706	同上		同左	同左	同左
E-2-707	同上		同左	同左	同左
E-2-708	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左
E-2-709	同上		同左	同左	同左
E-2-710	同上		同左	同左	同左
E-2-711	同上		同左	同左	同左
E-2-712	同上		同左	同左	同左
E-2-713	同上		同左	同左	同左

(E-2)

化合物	Φ_{110}	Φ_{106}	Φ_{107}	Φ_{103}	Φ_{109}
E-2-614			同左	同左	同左
E-2-615	同上		同左	同左	同左
E-2-616	同上		同左	同左	同左
E-2-617	同上		同左	同左	同左
E-2-618	同上		同左	同左	同左
E-2-619	同上	Ph	H	Ph	H



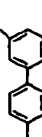
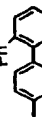



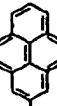
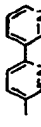
(E-2)

化合物	Φ_{110}	Φ_{105}	Φ_{107}	Φ_{108}	Φ_{109}
E-2-801		Ph	同左	同左	同左
E-2-802	同上	o-ピフエニリル	同左	同左	同左
E-2-803	同上	m-ピフエニリル	同左	同左	同左
E-2-804	同上	p-ピフエニリル	同左	同左	同左
E-2-805	同上		同左	同左	同左
E-2-806	同上		同左	同左	同左
E-2-807	同上		同左	同左	同左
E-2-808	同上	2-ナフチル	同左	同左	同左
E-2-809	同上		同左	同左	同左
E-2-810	同上		同左	同左	同左
E-2-811	同上		同左	同左	同左
E-2-812	同上		同左	同左	同左
E-2-813	同上		同左	同左	同左

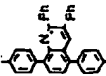
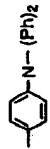

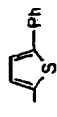

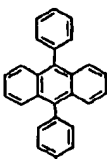
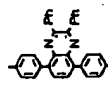
(E-2)

化合物	Φ_{110}	Φ_{105}	Φ_{107}	Φ_{108}	Φ_{109}
E-2-714			同左	同左	同左
E-2-715	同上		同左	同左	同左
E-2-716	同上		同左	同左	同左
E-2-717	同上		同左	同左	同左
E-2-718	同上		同左	同左	同左
E-2-719	同上	Ph	H	Ph	H

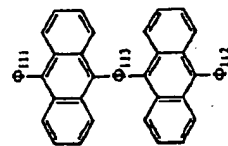
(E-3)

化合物	Φ_{113}	Φ_{111}	Φ_{112}
E-3-1		Ph	同左
E-3-2	同上	o-ピフエニリル	同左
E-3-3	同上	m-ピフエニリル	同左
E-3-4	同上	p-ピフエニリル	同左
E-3-5	同上		同左
E-3-6	同上		同左
E-3-7	同上		同左
E-3-8	同上	2-ナフチル	同左
E-3-9	同上		同左
E-3-10	同上		同左
E-3-11	同上		同左
E-3-12	同上		同左
E-3-13	同上		同左


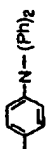

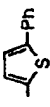
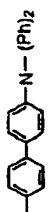
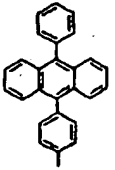
(E-2)

化合物	Φ_{110}	Φ_{106}	Φ_{107}	Φ_{108}	Φ_{109}
E-2-814			同左	同左	同左
E-2-815	同上		同左	同左	同左
E-2-816	同上		同左	同左	同左
E-2-817	同上		同左	同左	同左
E-2-818	同上		同左	同左	同左
E-2-819	同上	Ph	H	Ph	H
E-2-820		Ph	同左	同左	同左

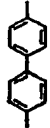


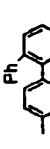
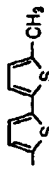

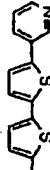
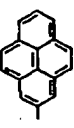
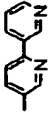
(E-3)



(E-3)

化合物	Φ_{113}	Φ_{111}	Φ_{112}
E-3-14			同左
E-3-15	同上		同左
E-3-16	同上		同左
E-3-17	同上		同左
E-3-18	同上		同左
E-3-19	同上	Ph	H

(E-3)

化合物	Φ_{113}	Φ_{111}	Φ_{112}
E-3-101		Ph	同左
E-3-102	同上	o-ピフエニリル	同左
E-3-103	同上	m-ピフエニリル	同左
E-3-104	同上	p-ピフエニリル	同左
E-3-105	同上		同左
E-3-106	同上		同左
E-3-107	同上		同左
E-3-108	同上	2-ナフチル	同左
E-3-109	同上		同左
E-3-110	同上		同左
E-3-111	同上		同左
E-3-112	同上		同左
E-3-113	同上		同左

(E-3)

化合物	Φ_{113}	Φ_{111}	Φ_{112}
E-3-201		Ph	同左
E-3-202	同上	o-ピフェニリル	同左
E-3-203	同上	m-ピフェニリル	同左
E-3-204	同上	p-ピフェニリル	同左
E-3-205	同上		同左
E-3-206	同上		同左
E-3-207	同上		同左
E-3-208	同上	2-ナフチル	同左
E-3-209	同上		同左
E-3-210	同上		同左
E-3-211	同上		同左
E-3-212	同上		同左
E-3-213	同上		同左

(E-3)

化合物	Φ_{113}	Φ_{111}	Φ_{112}
E-3-114			同左
E-3-115	同上		同左
E-3-116	同上		同左
E-3-117	同上		同左
E-3-118	同上		同左
E-3-119	同上	Ph	H

(281)

W098/08360

(E-3)

化合物	Φ_{112}	Φ_{111}	Φ_{113}
E-3-214			同左
E-3-215	同上		同左
E-3-216	同上		同左
E-3-217	同上		同左
E-3-218	同上		同左
E-3-219	同上	Ph	H

(282)

W098/08360

(E-3)

化合物	Φ_{113}	Φ_{111}	Φ_{112}
E-3-301		Ph	同左
E-3-302	同上	o-ピフエニリル	同左
E-3-303	同上	m-ピフエニリル	同左
E-3-304	同上	p-ピフエニリル	同左
E-3-305	同上		同左
E-3-306	同上		同左
E-3-307	同上		同左
E-3-308	同上	2-ナフチル	同左
E-3-309	同上		同左
E-3-310	同上		同左
E-3-311	同上		同左
E-3-312	同上		同左
E-3-313	同上		同左

(E-3)

化合物	Φ_{113}	Φ_{111}	Φ_{112}
E-3-314			同左
E-3-315	同上		同左
E-3-316	同上		同左
E-3-317	同上		同左
E-3-318	同上		同左
E-3-319	同上	Ph	H

(E-3)

化合物	Φ_{113}	Φ_{111}	Φ_{112}
E-3-401		Ph	同左
E-3-402	同上	o-ピフェニリル	同左
E-3-403	同上	m-ピフェニリル	同左
E-3-404	同上	p-ピフェニリル	同左
E-3-405	同上		同左
E-3-406	同上		同左
E-3-407	同上		同左
E-3-408	同上	2-ナフチル	同左
E-3-409	同上		同左
E-3-410	同上		同左
E-3-411	同上		同左
E-3-412	同上		同左
E-3-413	同上		同左



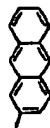
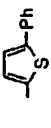
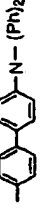
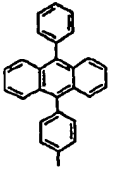
(E-3)

化合物	Φ_{113}	Φ_{111}	Φ_{112}
E-3-414			同左
E-3-415	同上		同左
F-3-416	同上		同左
E-3-417	同上		同左
E-3-418	同上		同左
E-3-419	同上	Ph	H



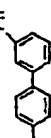
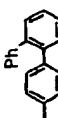
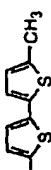

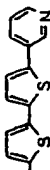
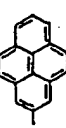
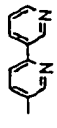
(E-3)

化合物	Φ_{113}	Φ_{111}	Φ_{112}
E-3-501		Ph	同左
E-3-502	同上	o-ピフェニリル	同左
E-3-503	同上	m-ピフェニリル	同左
E-3-504	同上	p-ピフェニリル	同左
E-3-505	同上		同左
E-3-506	同上		同左
E-3-507	同上		同左
E-3-508	同上	2-ナフチル	同左
E-3-509	同上		同左
E-3-510	同上		同左
E-3-511	同上		同左
E-3-512	同上		同左
E-3-513	同上		同左

(E-3)

化合物	Φ_{113}	Φ_{111}	Φ_{112}
E-3-514			同左
E-3-515	同上		同左
E-3-516	同上		同左
E-3-517	同上		同左
E-3-518	同上		同左
E-3-519	同上	Ph	H

(E-3)

化合物	Φ_{113}	Φ_{111}	Φ_{112}
E-3-601		Ph	同左
E-3-602	同上	o-ピフェニル	同左
E-3-603	同上	m-ピフェニル	同左
E-3-604	同上	p-ピフェニル	同左
E-3-605	同上		同左
E-3-606	同上		同左
E-3-607	同上		同左
E-3-608	同上	2-ナフチル	同左
E-3-609	同上		同左
E-3-610	同上		同左
E-3-611	同上		同左
E-3-612	同上		同左
E-3-613	同上		同左

(E-3)

化合物	Φ_{113}	Φ_{111}	Φ_{112}
E-3-701		Ph	同左
E-3-702	同上	o-ピフエニリル	同左
E-3-703	同上	m-ピフエニリル	同左
E-3-704	同上	p-ピフエニリル	同左
E-3-705	同上		同左
E-3-706	同上		同左
E-3-707	同上		同左
E-3-708	同上	2-ナフチル	同左
E-3-709	同上		同左
E-3-710	同上		同左
E-3-711	同上		同左
E-3-712	同上		同左
E-3-713	同上		同左

(E-3)

化合物	Φ_{113}	Φ_{111}	Φ_{112}
E-3-614			同左
E-3-615	同上		同左
E-3-616	同上		同左
E-3-617	同上		同左
E-3-618	同上		同左
E-3-619	同上	Ph	H

(E-3)

化合物	Φ_{113}	Φ_{111}	Φ_{112}
E-3-801		Ph	同左
E-3-802	同上	o-ピフェニリル	同左
E-3-803	同上	m-ピフェニリル	同左
E-3-804	同上	p-ピフェニリル	同左
E-3-805	同上		同左
E-3-806	同上		同左
E-3-807	同上		同左
E-3-808	同上	2-ナフチル	同左
E-3-809	同上		同左
E-3-810	同上		同左
E-3-811	同上		同左
E-3-812	同上		同左
E-3-813	同上		同左

(E-3)

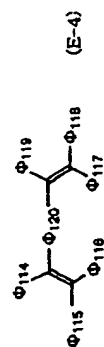
化合物	Φ_{113}	Φ_{111}	Φ_{112}
E-3-714			同左
E-3-715	同上		同左
E-3-716	同上		同左
E-3-717	同上		同左
E-3-718	同上		同左
E-3-719	同上	Ph	H

(E-4)

化合物	Φ_{120}	$\Phi_{115} \sim \Phi_{118}$	Φ_{114}, Φ_{119}
E-4-1		Ph	Ph
E-4-2	同上	o-ピフエニリル	Ph
E-4-3	同上	m-ピフエニリル	Ph
E-4-4	同上	p-ピフエニリル	Ph
E-4-5	同上		Ph
E-4-6	同上		Ph
E-4-7	同上		Ph
F-4-8	同上	2-ナフチル	Ph
E-4-9	同上		Ph
E-4-10	同上		Ph
E-4-11	同上		Ph
E-4-12	同上		Ph
E-4-13	同上		Ph

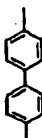

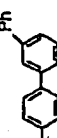
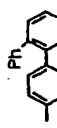


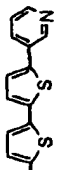
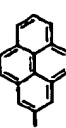
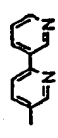
(E-3)

化合物	Φ_{112}	Φ_{111}	Φ_{112}
E-3-814			同上
E-3-815	同上		同上
E-3-816	同上		同上
E-3-817	同上		同上
E-3-818	同上		同上
E-3-819	同上	Ph	H
E-3-820		同上	同上






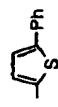
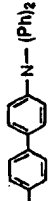
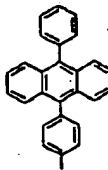
(256)

(E-4)



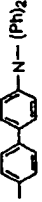
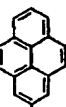

化合物	Φ_{120}	$\Phi_{115} \sim \Phi_{118}$	Φ_{114}, Φ_{119}
E-4-101		Ph	Ph
E-4-102	同上	o-ピフエニリル	Ph
E-4-103	同上	m-ピフエニリル	Ph
E-4-104	同上	p-ピフエニリル	Ph
E-4-105	同上		Ph
E-4-106	同上		Ph
E-4-107	同上		Ph
E-4-108	同上	2-ナフチル	Ph
E-4-109	同上		Ph
E-4-110	同上		Ph
E-4-111	同上		Ph
E-4-112	同上		Ph
E-4-113	同上		Ph

(255)


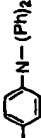


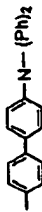
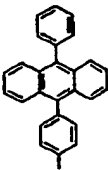
(E-4)

化合物	Φ_{120}	$\Phi_{115} \sim \Phi_{118}$	Φ_{114}, Φ_{119}
E-4-14			Ph
E-4-15	同上		Ph
E-4-16	同上		Ph
E-4-17	同上		Ph
E-4-18	同上		Ph

(E-4)

化合物	Φ_{120}	Φ_{115}, Φ_{118}	Φ_{116}, Φ_{117}	Φ_{114}, Φ_{119}
E-4-122			Ph	H
E-4-123	同上	同上	H	Ph
E-4-124	同上	p-ピフエニル	Ph	H
E-4-125	同上	m-ピフエニル	Ph	H
E-4-126	同上	o-ピフエニル	Ph	H
E-4-127	同上		H	H
E-4-128	同上		H	H
E-4-129	同上		H	H
E-4-130	同上	$\Phi_{115} = \text{Ph}$ $\Phi_{118} = \text{H}$	$\Phi_{116} = \text{H}$ $\Phi_{117} = \text{Ph}$	H

(E-4)

化合物	Φ_{120}	$\Phi_{115} \sim \Phi_{118}$	Φ_{114}, Φ_{119}
E-4-114			Ph
E-4-115	同上		Ph
E-4-116	同上		Ph
E-4-117	同上		Ph
E-4-118	同上		Ph
E-4-119	同上	p-ピフエニル	H
E-4-120	同上	m-ピフエニル	H
E-4-121	同上	o-ピフエニル	H

(E-4)

化合物	Φ_{120}	$\Phi_{115}-\Phi_{118}$	Φ_{114}, Φ_{119}
E-4-214			Ph
E-4-215	同上		Ph
E-4-216	同上		Ph
E-4-217	同上		Ph
E-4-218	同上		Ph
E-4-219	同上	$\Phi_{115} = \Phi_{117} = \text{Ph}$ $\Phi_{116} = \Phi_{118} = \text{H}$	H

(E-4)

化合物	Φ_{110}	$\Phi_{115}-\Phi_{118}$	Φ_{114}, Φ_{119}
E-4-201		Ph	Ph
E-4-202	同上	o-ピフエニリル	Ph
E-4-203	同上	m-ピフエニリル	Ph
E-4-204	同上	p-ピフエニリル	Ph
E-4-205	同上		Ph
E-4-206	同上		Ph
E-4-207	同上		Ph
E-4-208	同上	2-ナフチル	Ph
E-4-209	同上		Ph
E-4-210	同上		Ph
E-4-211	同上		Ph
E-4-212	同上		Ph
E-4-213	同上		Ph

(E-4)

化合物	Φ_{120}	$\Phi_{115}-\Phi_{118}$	Φ_{114}, Φ_{119}
E-4-314			Ph
E-4-315	同上		Ph
E-4-316	同上		Ph
E-4-317	同上		Ph
E-4-318	同上		Ph
E-4-319	同上	p-ピフエニリル	H
E-4-320	同上	m-ピフエニリル	H
E-4-321	同上	o-ピフエニリル	H
E-4-322	同上	$\Phi_{115} = \Phi_{117} = \text{Ph}$ $\Phi_{116} = \Phi_{118} = \text{H}$	H

(E-4)

化合物	Φ_{120}	$\Phi_{115}-\Phi_{118}$	Φ_{114}, Φ_{119}
E-4-301		Ph	Ph
E-4-302	同上	o-ピフエニリル	Ph
E-4-303	同上	m-ピフエニリル	Ph
E-4-304	同上	p-ピフエニリル	Ph
E-4-305	同上		Ph
E-4-306	同上		Ph
E-4-307	同上		Ph
E-4-308	同上	2-ナフチル	Ph
E-4-309	同上		Ph
E-4-310	同上		Ph
E-4-311	同上		Ph
E-4-312	同上		Ph
E-4-313	同上		Ph

(304)

(E-4)

化合物	Φ_{120}	$\Phi_{115} \sim \Phi_{118}$	Φ_{114}, Φ_{119}
E-4-414			Ph
E-4-415	同上		Ph
E-4-416	同上		Ph
E-4-417	同上		Ph
E-4-418	同上		Ph
E-4-419		Ph	Ph

W098/08360

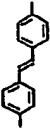
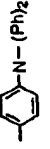
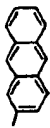
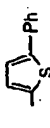
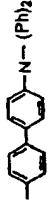
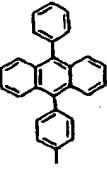
(303)

(E-4)

化合物	Φ_{120}	$\Phi_{115} \sim \Phi_{118}$	Φ_{114}, Φ_{119}
E-4-401		Ph	Ph
E-4-402	同上	o-ピフエニリル	Ph
E-4-403	同上	m-ピフエニリル	Ph
E-4-404	同上	p-ピフエニリル	Ph
E-4-405	同上		Ph
E-4-406	同上		Ph
E-4-407	同上		Ph
E-4-408	同上	2-ナフチル	Ph
E-4-409	同上		Ph
E-4-410	同上		Ph
E-4-411	同上		Ph
E-4-412	同上		Ph
E-4-413	同上		Ph

(306)

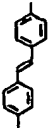

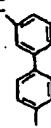
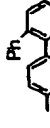


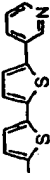
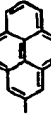

(E-4)

化合物	Φ_{123}	$\Phi_{115} \sim \Phi_{118}$	Φ_{114}, Φ_{119}
E-4-514			Ph
E-4-515	同上		Ph
E-4-516	同上		Ph
E-4-517	同上		Ph
E-4-518	同上		Ph
E-4-519	同上	p-ピフエニリル	H
E-4-520	同上	m-ピフエニリル	H
E-4-521	同上	o-ピフエニリル	H
E-4-522	同上	$\Phi_{115} = \Phi_{118} = \text{N}-(\text{Ph})_2$ $\Phi_{116} = \Phi_{117} = \text{Ph}$	H
E-4-523	同上	$\Phi_{115} = \Phi_{118} = \text{N}-(\text{Ph})_2$ $\Phi_{116} = \Phi_{117} = \text{H}$	Ph
E-4-524	同上	$\Phi_{115} = \Phi_{118} = \text{p-ピフエニリル}$ $\Phi_{116} = \Phi_{117} = \text{Ph}$	H
E-4-525	同上	$\Phi_{115} = \Phi_{118} = \text{m-ピフエニリル}$ $\Phi_{116} = \Phi_{117} = \text{Ph}$	H
E-4-526	同上	$\Phi_{115} = \Phi_{118} = \text{m-ピフエニリル}$ $\Phi_{116} = \Phi_{117} = \text{Ph}$	H

1038/08360

(305)

(E-4)

化合物	Φ_{120}	$\Phi_{115} \sim \Phi_{118}$	Φ_{114}, Φ_{119}
E-4-501		Ph	Ph
E-4-502	同上	o-ピフエニリル	Ph
E-4-503	同上	m-ピフエニリル	Ph
E-4-504	同上	p-ピフエニリル	Ph
E-4-505	同上		Ph
E-4-506	同上		Ph
E-4-507	同上		Ph
E-4-508	同上	2-ナフチル	Ph
E-4-509	同上		Ph
E-4-510	同上		Ph
E-4-511	同上		Ph
E-4-512	同上		Ph
E-4-513	同上		Ph

(E-4)

化合物	Φ_{120}	$\Phi_{115} \sim \Phi_{118}$	Φ_{114}, Φ_{119}
E-4-601		Ph	Ph
E-4-602	同上	o-ピフエニリル	Ph
E-4-603	同上	m-ピフエニリル	Ph
E-4-604	同上	p-ピフエニリル	Ph
E-4-605	同上		Ph
E-4-606	同上		Ph
E-4-607	同上		Ph
E-4-608	同上	2-ナフチル	Ph
E-4-609	同上		Ph
E-4-610	同上		Ph
E-4-611	同上		Ph
E-4-612	同上		Ph
E-4-613	同上		Ph

(E-4)

化合物	Φ_{120}	$\Phi_{115} \sim \Phi_{118}$	Φ_{114}, Φ_{119}
E-4-527		$\Phi_{115} = \Phi_{118} = \text{N}-(\text{Ph})_2$ $\Phi_{116} = \Phi_{117} = \text{H}$	H
E-4-528	同上	$\Phi_{115} = \Phi_{118} = 1\text{-ピレニル}$ $\Phi_{116} = \Phi_{117} = \text{H}$	H
E-4-529	同上	$\Phi_{115} = \Phi_{118} = 2\text{-ピレニル}$ $\Phi_{116} = \Phi_{117} = \text{H}$	H

(E-4)

化合物	Φ_{120}	$\Phi_{115} \sim \Phi_{118}$	Φ_{114}, Φ_{119}
E-4-614			Ph
E-4-615	同上		Ph
E-4-616	同上		Ph
E-4-617	同上		Ph
E-4-618	同上		Ph
E-4-619	同上	$\Phi_{115} = \Phi_{116} = \text{Ph}$ $\Phi_{116} = \Phi_{117} = \text{H}$	H

(E-4)

化合物	Φ_{120}	$\Phi_{115} \sim \Phi_{118}$	Φ_{114}, Φ_{119}
E-4-701		Ph	Ph
E-4-702	同上	o-ピフエニリル	Ph
E-4-703	同上	m-ピフエニリル	Ph
E-4-704	同上	p-ピフエニリル	Ph
E-4-705	同上		Ph
E-4-706	同上		Ph
E-4-707	同上		Ph
E-4-708	同上	2-ナフチル	Ph
E-4-709	同上		Ph
E-4-710	同上		Ph
E-4-711	同上		Ph
E-4-712	同上		Ph
E-4-713	同上		Ph

(E-4)

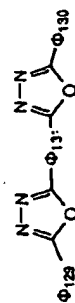
化合物	Φ_{120}	$\Phi_{115} \sim \Phi_{118}$	Φ_{114}, Φ_{119}
E-4-801		Ph	Ph
E-4-802	同上	o-ピフエニリル	Ph
E-4-803	同上	m-ピフエニリル	Ph
E-4-804	同上	p-ピフエニリル	Ph
E-4-805	同上		Ph
E-4-806	同上		Ph
E-4-807	同上		Ph
E-4-808	同上	2-ナフチル	Ph
E-4-809	同上		Ph
E-4-810	同上		Ph
E-4-811	同上		Ph
E-4-812	同上		Ph
E-4-813	同上		Ph

(E-4)

化合物	Φ_{120}	$\Phi_{115} \sim \Phi_{118}$	Φ_{114}, Φ_{119}
E-4-714			Ph
E-4-715	同上		Ph
E-4-716	同上		Ph
E-4-717	同上		Ph
E-4-718	同上		Ph
E-4-719		Ph	Ph
E-4-720		Ph	Ph

(E-5)

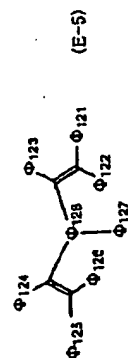
化合物	Φ_{125}	Φ_{127}	Φ_{121}	Φ_{123}	Φ_{124}	Φ_{122}	Φ_{126}
E-5-1		Ph	同左	同左	同左	同左	同左
E-5-2		Ph	同左	同左	同左	同左	同左
E-5-3		Ph	同左	同左	同左	同左	同左
E-5-4		Ph	同左	同左	同左	同左	同左
E-5-5		Ph	同左	同左	同左	同左	同左
E-5-6		Ph	同左	同左	同左	同左	同左
E-5-7		Ph	同左	同左	同左	同左	同左



(E-6)

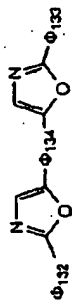
(E-4)

化合物	Φ_{120}	$\Phi_{115} \sim \Phi_{118}$	Φ_{114}, Φ_{119}
E-4-814		$N-(Ph)_2$	Ph
E-4-815	同上		Ph
E-4-816	同上		Ph
E-4-817	同上	$N-(Ph)_2$	Ph
E-4-818	同上		Ph
E-4-819		Ph	Ph
E-4-820		Ph	Ph



(E-5)

(316)



(E-7)

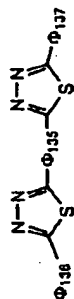
W098/08360

(316)

(E-6)

化合物	Φ ₁₃₁	Φ ₁₃₀	Φ ₁₂₉
E-6-1		Ph	Ph
E-6-2		Ph	Ph
E-6-3		Ph	Ph
E-6-4		Ph	Ph
E-6-5			
E-6-6			
E-6-7		p-ビフェニリル	p-ビフェニリル
E-6-8		m-ビフェニリル	m-ビフェニリル
E-6-9			
E-6-10			

(318)







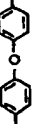



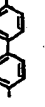



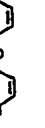





(E-8)

(317)

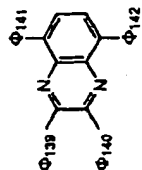
(E-7)	化合物	Φ ₁₁₂	Φ ₁₃₃	Φ ₁₃₄
E-7-1		Ph	Ph	
E-7-2	p-ピフエニリル		p-ピフエニリル	
E-7-3	m-ピフエニリル		m-ピフエニリル	
E-7-4				
E-7-5				
E-7-6		Ph	Ph	
E-7-7	p-ピフエニリル		p-ピフエニリル	
E-7-8	m-ピフエニリル		m-ピフエニリル	
E-7-9				
E-7-10				

(319)

(E-8)

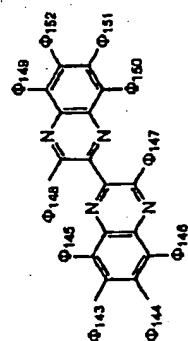
化合物	Φ_{136}	Φ_{137}	Φ_{138}
E-8-1	Ph	Ph	
E-8-2	p-ピフエニリル	p-ピフエニリル	
E-8-3	m-ピフエニリル	m-ピフエニリル	
E-8-4			
E-8-5			
E-8-6	Ph	Ph	
E-8-7	p-ピフエニリル	p-ピフエニリル	
E-8-8	m-ピフエニリル	m-ピフエニリル	
E-8-9			
E-8-10			

(320)



(E-9)

(322)



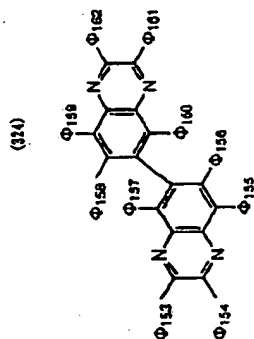
(E-10)

1038/08360

(321)

(E-9)	化合物	Φ_{139}	Φ_{140}	Φ_{141}	Φ_{142}
E-9-1		Ph	Ph	Ph	Ph
E-9-2		Ph	Ph	H	H
E-9-3	p-ビフェニル	p-ビフェニル	p-ビフェニル	Ph	Ph
E-9-4	p-ビフェニル	p-ビフェニル	p-ビフェニル	H	H
E-9-5	m-ビフェニル	m-ビフェニル	m-ビフェニル	Ph	Ph
E-9-6	m-ビフェニル	m-ビフェニル	m-ビフェニル	H	H
E-9-7				Ph	Ph
E-9-8				Ph	Ph
E-9-9				H	H
E-9-10				H	H
E-9-11		Ph	Ph		
E-9-12		Ph	Ph		

(E-11)

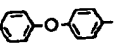
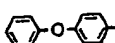
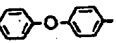
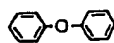


(323)

化合物	Φ_{151}	Φ_{152}	Φ_{153}	Φ_{154}	Φ_{155}	Φ_{156}	Φ_{157}	Φ_{158}	Φ_{159}	Φ_{160}	Φ_{161}	Φ_{162}
E-10-1	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H
E-10-2	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph
E-10-3	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H
E-10-4	p-E7x=U/L	p-E7x=U/L	p-E7x=U/L	p-E7x=U/L	p-E7x=U/L	p-E7x=U/L	p-E7x=U/L	p-E7x=U/L	p-E7x=U/L	p-E7x=U/L	p-E7x=U/L	p-E7x=U/L
E-10-5	m-E7x=U/L	m-E7x=U/L	m-E7x=U/L	m-E7x=U/L	m-E7x=U/L	m-E7x=U/L	m-E7x=U/L	m-E7x=U/L	m-E7x=U/L	m-E7x=U/L	m-E7x=U/L	m-E7x=U/L
E-10-6												
E-10-7	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H
E-10-8	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph

(E-10)

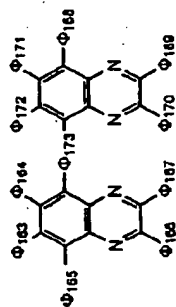
(E-11)

化合物	Φ_{153}	Φ_{154}	Φ_{155}	Φ_{156}	Φ_{157}	Φ_{158}	Φ_{159}	Φ_{160}	Φ_{161}	Φ_{162}
E-11-1	Ph	Ph	H	H	H	H	H	H	Ph	Ph
E-11-2	p-E7x=yl	p-E7x=yl	H	H	H	H	H	H	p-E7x=yl	p-E7x=yl
E-11-3	m-E7x=yl	m-E7x=yl	H	H	H	H	H	H	m-E7x=yl	m-E7x=yl
E-11-4			H	H	H	H	H	H		
E-11-5	Ph	Ph	H	Ph	H	Ph	H	H	Ph	Ph
E-11-6	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph
E-11-7	Ph	Ph	Ph	H	Ph	H	H	H	Ph	Ph

(315)

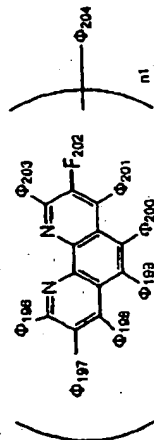
W098/03360

(316)



(E-12)

W098/03360



(E-14)

化合物	Φ ₁₉₆	Φ ₁₉₇	Φ ₁₉₈	Φ ₁₉₉	Φ ₂₀₀	Φ ₂₀₁	Φ ₂₀₂	Φ ₂₀₃	Φ ₂₀₄
E-14-1	H	H	H	H	H	H	H	H	H
E-14-2	H	H	H	H	H	H	H	H	H
E-14-3	H	H	H	H	H	H	H	H	H
E-14-4	H	H	H	H	H	H	H	H	H
E-14-5	H	H	H	H	H	H	H	H	H
E-14-6	H	H	H	H	H	H	H	H	H
E-14-7	H	H	H	H	H	H	H	H	H
E-14-8	H	H	H	H	H	H	H	H	H
E-14-9	H	H	H	H	H	H	H	H	H
E-14-10	H	H	H	H	H	H	H	H	H
E-14-11	H	H	H	H	H	H	H	H	H

(E-14)

化合物	Φ ₁₉₆	Φ ₁₉₇	Φ ₁₉₈	Φ ₁₉₉	Φ ₂₀₀	Φ ₂₀₁	Φ ₂₀₂	Φ ₂₀₃	Φ ₂₀₄
E-14-12	H	H	H	H	H	H	H	H	H
E-14-13	H	H	H	H	H	H	H	H	H
E-14-14	H	H	H	H	H	H	H	H	H
E-14-15	H	H	H	H	H	H	H	H	H
E-14-16	H	H	H	H	H	H	H	H	H
E-14-17	H	H	H	H	H	H	H	H	H

発光層における正孔輸送性のホスト材料および電子輸送性のホスト材料は各々1種のみ用いても2種以上を併用してもよい。
 このような有機EL素子においては、発光層を挟持する形で隔壁側に正孔注入性および輸送性の層、および隔壁側に電子注入性および/または輸送性の層が設けられている。この場合の正孔注入性および/または輸送性の層、電子注入性および/または輸送性の層、隔壁、隔壁等は前記と同様である。
 また、混合層をはじめとする有機化合物層の形成方法等の有機EL素子の製造

000時間以上安定していた。部分的非発光部の出現および成長は全くなかった。
・輝度の半減期は10mA/cm²の定電流駆動で890時間（初期輝度128cd/m²、駆動電圧上昇1.5V）、初期輝度300cd/m²では4500時間であった。

(実施例2)

実施例1と同様に素子を作製した。ただし、正孔輸送層に、例示化合物1-1と例示化合物1-2の代わり例示化合物1-101のN,N'-ジフェニル-N,N'-ビス-(4'-N,N'-ビス(m-ピフェニル)アミノ)ピフェニル-4-イル)ベンジンを用いた。

このEL素子に電圧を印加して電流を流したところ、14V・75mA/cm²で100480cd/m²の緑色（発光極大波長λ_{max}=525nm、色度座標x=0.31y=0.66）の発光が確認され、この発光は乾燥窒素雰囲気中で1000時間以上安定していた。部分的非発光部の出現および成長は全くなかった。輝度の半減期は10mA/cm²の定電流駆動で680時間（143cd/m²、駆動電圧上昇1.5V）初期輝度300cd/m²では4000時間であった。

(実施例3)

実施例1と同様に素子を作製した。ただし、発光層に、例示化合物1-201の代わり例示化合物1-203を用いた。

このEL素子に電圧を印加して電流を流したところ、13V・55mA/cm²で69500cd/m²の緑色（発光極大波長λ_{max}=515nm、色度座標x=0.28y=0.66）の発光が確認され、この発光は乾燥窒素雰囲気中で10000時間以上安定していた。部分的非発光部の出現および成長は全くなかった。輝度の

方法についても前記と同様である。
本発明の有機EL素子は、通常、直流駆動型のEL素子として用いられるが、交流駆動またはパルス駆動することもできる。印加電圧は、通常、2~20V程度とされる。

以下、本発明の具体的な実施例を示し、本発明をさらに詳細に説明する。

(実施例1)

厚さ100nmのITO透明電極（陽極）を有するガラス基板を、中性洗剤、アセトン、エタノールを用いて超音波洗浄し、蒸気エタノール中から引き上げて乾燥し、UVオゾン洗浄後、蒸着装置の基板ホルダーに固定して、1×10⁻⁶torrまで減圧した。

次いで、4,4',4"-トリス(-N-(3-メチルフェニル)-N-フェニル)トリフェニルアミン(MTDATA)を蒸着速度2nm/secで50nmの厚さに蒸着し、正孔注入層とした。

例示化合物1-102のN,N'-ジフェニル-N,N'-ビス-(4'-N-(m-ピフェニル)-N-フェニル)アミノ)ピフェニル-4-イル)ベンジンを、蒸着速度2nm/secで20nmの厚さに蒸着し、正孔輸送層とした。

次いで、例示化合物1-201とトリス(8-キノリノラト)アルミニウム(AIQ3)を重量比で2:100の比率で、50nmの厚さに蒸着し、発光層とした。

次いで、減圧状態を保ったまま、電子注入輸送層として、トリス(8-キノリノ

ノラト)アルミニウムを蒸着速度0.2nm/secで10nmの厚さに蒸着した。

さらに、減圧状態を保ったまま、MgAg（重量比10:1）を蒸着速度0.2nm/secで200nmの厚さに蒸着して陰極とし、保護層としてAlを100nm蒸着しEL素子を得た。

このEL素子に電圧を印加して電流を流したところ、14V・80mA/cm²で103800cd/m²の緑色（発光極大波長λ_{max}=525nm、色度座標x=0.28y=0.68）の発光が確認され、この発光は乾燥アルゴン雰囲気中で10

半減期は10mA/cm²の定電流駆動で6000時間（1078cd/m²、駆動電圧上昇1.5V）初期輝度300cd/m²では4000時間であった。

(実施例4)

実施例1と同様に素子を作製した。ただし、発光層に、例示化合物1-201の代わり例示化合物1-202を用いた。

このEL素子に電圧を印加して電流を流したところ、14V・75mA/cm²

以上の実施例1~6、比較例1~6の有機EL素子の特性等を図1、2にまとめて示す。

1. 答

[illegible]

098/08360

0.2の代わりにN, N', N'-テトラキス(-m-ピフェニル)-1, 1'-
-ピフェニル-4, 4'-ジアミン(TPD005)を用いた。
このEL素子に電圧を印加して電流を流したところ、 $1.4 \text{ V} \cdot 6.4 \text{ mA/cm}^2$
で $1.0 \times 10^{-2} \text{ W/cm}^2$ の緑色(発光最大波長 $\lambda_{\text{max}} = 52.5 \text{ nm}$, 色温度 $x = 0.28$, $y = 0.68$)の発光が観察され、この発光は乾膜塗布蒸着膜中で 1000
 0 時間以上安定していた。輝度の半減期はこの発光の定電流駆動で 115 時間
(1.84 Cd/m^2 , 駆動電圧上昇 1.8 V)初期輝度 30 Cd/m^2 では 1600 時
間であった。

(比較例5)
実施例1と同様に満子を作製した。ただし、正相注入薬に、例示化合物-1
0.2の代わりにN, N'-ジフェニル-N, N'-ビス-($-4'$)-(N-(3
-メチルフェニル)-N-フェニル)アミノフェニル-4-イル)ベンジジン
(TPD017)を用いた。

(TPD017)を用いた。
このE1系素子に電圧を印加したところ、 $1.4 \text{ V} \cdot 7.1 \text{ mA/cm}^2$ で756.0 Oe/cm^2 の緑色(発光極大波長 $\lambda_{\text{max}} = 525 \text{ nm}$ 、色度座標 $x = 0.32 \text{ y} = 0.66$)の発光が確認され、この発光は乾膜系発光領域中で1000時間以上安定していた。質点の半減期は 1 Oe/cm^2 の定電流駆動で1.97時間、 1.56 Oe/cm^2 、駆動電圧上昇2.3 V初期電流30 Oe/cm^2 では200時間であった。

(比較例6)
実施例1と同様に素子を作製した。ただし発光層に例示化合物1-201の代わりに下記のキナクリドン(例示化合物11-1)を用い、75μmとなるように含有させた。

このE.L.素子に電圧を印加して電発を減したところ、 $1.6\text{ V} \cdot 8.4\text{ mA/cm}^2$ で 6000 Cd/m^2 の黄緑色（発光強度 $I_{\text{max}} = 5.4\text{ Osa}$ 、色温度 $T = 0$ 、 $37\text{ V} \pm 0.60$ ）の発光が確認された。この発光は定電流型発光で 1000 時間以上安定していた。輝度の半減期は 1 mA/cm^2 の定電流駆動で 100 時間（ 8000 Cd/m^2 ）であった。輝度の半減期は 30 mA/cm^2 では 500 時間（ 20000 Cd/m^2 ）であった。初期電圧 3 V 、初期輝度 300 Cd/m^2 では 500 時間（ 8000 Cd/m^2 ）であった。

BASF Illumogen P Red 300 を 2wt%溶解したものを用いて塗布しベークして6 μm 厚に形成し、さらにこの上にオーバークートを富士ハント製CT-1を用いて塗布しベークして1 μm 厚に形成した。この上に、厚さ100nmのITOを蒸着し、バタリ層付赤色素子基板を作製した。この基板を用い、実施例1と同様に素子を作製した。

上記のカラースペース材料は580nm以下の波長の光をカットするものであり、赤色蛍光変換材料は発光極大波長 λ_{max} が630nmであり、 λ_{max} 付近のスペクトルの半値幅は50nmであった。

このEL素子に電圧を印加して電流を流したところ、1.5V・61 $\mu\text{A}/\text{cm}^2$ で9000 cd/m^2 の赤色（発光極大波長 $\lambda_{\text{max}}=600\text{nm}$ 、色度座標 $x=0.60$ 、 $y=0.38$ ）の発光が確認され、この発光は乾燥窒素雰囲気中で10000時間以上安定していた、部分的赤色素子の出現および成長は全くなかった。

(実施例8)

実施例1において、正孔輸送層を例示化合物1-102とルプレンを10:1（重量比）で用い、共蒸着により形成するほかは同様にして素子を作製した。

このEL素子に電圧を印加して電流を流したところ、1.4V・75 $\mu\text{A}/\text{cm}^2$ で7980 cd/m^2 の緑色（発光極大波長 $\lambda_{\text{max}}=525\text{nm}$ 、555nm、色度座標 $x=0.38$ 、 $y=0.57$ ）の発光が確認され、この発光は乾燥窒素雰囲気中で10000時間以上安定していた。輝度の半減期は1 $\mu\text{A}/\text{cm}^2$ の定電流駆動で700時間（1173 cd/m^2 、駆動電圧上昇2.5V）、初期輝度300 cd/m^2 で4500時間であった。

(実施例9)

実施例1において、発光層を、正孔注入輸送性化合物としてN、N、N'、N

素子の構造	正孔輸送層	発光層	安定時間	輝度の半減期
比較例1	AlQ3	7170 cd/m^2	10000hr以上	59hr
比較例2	AlQ3	8100 cd/m^2	10000hr以上	68hr
比較例3	AlQ3	7930 cd/m^2	10000hr以上	28hr
比較例4	AlQ3	10270 cd/m^2	10000hr以上	115hr
比較例5	TPD017	7560 cd/m^2	10000hr以上	197hr
比較例6	AlQ3	5000 cd/m^2	10000hr以上	100hr
比較例7	AlQ3	157 cd/m^2	10000hr以上	1800hr
比較例8	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1156 cd/m^2
比較例9	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1842 cd/m^2
比較例10	AlQ3	139 cd/m^2	10000hr以上	1769 cd/m^2
比較例11	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例12	AlQ3	1281 cd/m^2	10000hr以上	1281 cd/m^2
比較例13	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例14	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例15	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例16	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例17	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例18	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例19	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例20	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例21	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例22	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例23	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例24	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例25	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例26	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例27	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例28	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例29	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例30	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例31	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例32	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例33	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例34	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例35	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例36	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例37	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例38	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例39	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例40	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例41	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例42	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例43	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例44	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例45	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例46	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例47	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例48	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例49	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例50	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例51	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例52	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例53	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例54	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例55	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例56	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例57	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例58	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例59	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例60	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例61	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例62	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例63	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例64	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例65	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例66	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例67	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例68	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例69	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例70	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例71	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例72	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例73	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例74	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例75	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例76	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例77	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例78	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例79	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例80	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例81	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例82	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例83	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例84	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例85	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例86	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例87	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例88	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例89	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例90	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例91	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例92	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例93	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例94	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例95	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例96	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例97	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例98	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例99	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2
比較例100	AlQ3	149 cd/m^2	10000hr以上	1730 cd/m^2

上記結果より、式(1)のクマリン誘導体と式(11)のテトラアリールジアミン誘導体とを組み合わせた本発明のEL素子は発光寿命が長いことがわかる。

(実施例7)

ガラス基板上にカラーフィルター層を富士ハント製CR-2000を用いて蒸着し、バタリ層付赤色素子基板を作製した。この上に赤色蛍光変換層を富士ハント製CT-1に布により1 μm 厚に形成し、この上に赤色蛍光変換層を富士ハント製CT-1に

テトラキス（-m-ピフェニル）-1,1'-ビフェニル-4,4'-ジアミン（TPD005）、電子注入輸送性化合物としてトリス（8-キノリノラト）アルミニウム（AlQ3）を各々用い、ほぼ同じ蒸着速度0.5 nm/sec で蒸着し、それと同時に例示化合物1-103も蒸着速度約0.00 nm/sec で蒸着して

例示化合物 1-201 も蒸着速度約 0.015 nm/sec で蒸着して 4.0 nm 厚の層として形成した。層合膜において、例示化合物 1-102 : A1Q3 : 例示化合物 1-201 = 50 : 50 : 1.5 (膜厚比) である。そのほかは実施例 1 と同様にして素子を作製した。ただし、MTDATA を用いた正孔注入輸送層は 5.0 nm 厚、TPD005 を用いた正孔輸送層は 1.0 nm 厚、A1Q3 を用いた電子注入輸送層は 2.0 nm 厚とした。

この E-L 素子に電圧を印加して電流を流したところ、 $1.3 \text{ V} \cdot 7.5 \text{ } \mu\text{A}/\text{cm}^2$ で $9.8000 \text{ cd}/\text{m}^2$ の緑色 (発光極大波長 $\lambda_{\text{max}} = 525 \text{ nm}$ 、色温度 $x = 0.29 \text{ y} = 0.67$) の発光が確認され、この発光は乾燥窒素雰囲気中で 10000 時間以上安定していた。輝度の半減期は $1 \text{ } \mu\text{A}/\text{cm}^2$ の定電流駆動で 4000 時間 ($1100 \text{ cd}/\text{m}^2$ 、駆動電圧上昇 2.0 V)、初期輝度 $30 \text{ cd}/\text{m}^2$ では 1800 0 時間であった。

(実施例 12)
実施例 11 において、正孔注入層を 4.0 nm 厚に形成し、正孔輸送層を例示化合物 11-102 とルブレイン (7n1) とを用いて 2.0 nm 厚に形成し、この上に発光層を実施例 9 と同様に例示化合物 1-102 と A1Q3 と例示化合物 1-201 とを用いて形成するほかは同様にして素子を作製した。

この E-L 素子に電圧を印加して電流を流したところ、 $1.3 \text{ V} \cdot 9.0 \text{ } \mu\text{A}/\text{cm}^2$ で $8.0000 \text{ cd}/\text{m}^2$ の黄緑色 (発光極大波長 $\lambda_{\text{max}} = 525 \text{ nm}$ 、色温度 $x = 0.40 \text{ y} = 0.55$) の発光が確認され、この発光は乾燥窒素雰囲気中で 10000 時間以上安定していた。輝度の半減期は $1 \text{ } \mu\text{A}/\text{cm}^2$ の定電流駆動で 6000 時間 ($1050 \text{ cd}/\text{m}^2$ 、駆動電圧上昇 1.5 V)、初期輝度 $30 \text{ cd}/\text{m}^2$ では 25000 時間であった。

(実施例 13)

実施例 9、10 において、例示化合物 1-103 の代わりに、例示化合物 1-1 (キナクリドン) を用いて同様に素子を作製し、特性を調べたところ、良好な特性を得た。

(実施例 14)

4.0 nm 厚の層合膜として形成した。層合膜において、TPD005 : A1Q3 : 例示化合物 1-103 = 50 : 50 : 0.7 (膜厚比) である。そのほかは実施例 1 と同様にして素子を作製した。ただし、MTDATA を用いた正孔注入輸送層は 5.0 nm 厚、TPD005 を用いた正孔輸送層は 1.0 nm 厚、A1Q3 を用いた電子注入輸送層は 4.0 nm 厚とした。

この E-L 素子に電圧を印加して電流を流したところ、 $1.8 \text{ V} \cdot 6.0 \text{ } \mu\text{A}/\text{cm}^2$ で $5.4000 \text{ cd}/\text{m}^2$ の緑色 (発光極大波長 $\lambda_{\text{max}} = 510 \text{ nm}$ 、色温度 $x = 0.30 \text{ y} = 0.60$) の発光が確認され、この発光は乾燥窒素雰囲気中で 10000 時間以上安定していた。輝度の半減期は $1 \text{ } \mu\text{A}/\text{cm}^2$ の定電流駆動で 6000 時間 ($1030 \text{ cd}/\text{m}^2$ 、駆動電圧上昇 2.0 V)、初期輝度 $30 \text{ cd}/\text{m}^2$ では 2000 0 時間であった。

比較例 4 の層合膜を用いない構成の素子に比べ輝度と特性が向上することがわかった。

(実施例 10)

実施例 11 において、正孔注入層を 4.0 nm 厚に形成し、正孔輸送層を TPD006 とルブレイン (7n1) とを用いて 2.0 nm 厚に形成し、この上に発光層を実施例 9 と同様に TPD005 と A1Q3 と例示化合物 1-103 とを用いて形成するほかは同様にして素子を作製した。

この E-L 素子に電圧を印加して電流を流したところ、 $1.2 \text{ V} \cdot 6.5 \text{ } \mu\text{A}/\text{cm}^2$ で $6.7600 \text{ cd}/\text{m}^2$ の緑色 (発光極大波長 $\lambda_{\text{max}} = 510 \text{ nm}$ 、色温度 $x = 0.38 \text{ y} = 0.56$) の発光が確認され、この発光は乾燥窒素雰囲気中で 10000 時間以上安定していた。輝度の半減期は $1 \text{ } \mu\text{A}/\text{cm}^2$ の定電流駆動で 5000 時間 ($900 \text{ cd}/\text{m}^2$ 、駆動電圧上昇 2.0 V)、初期輝度 $30 \text{ cd}/\text{m}^2$ では 25000 時間であった。

(実施例 11)

実施例 11 において、発光層を、正孔注入輸送性化合物として例示化合物 1-02、電子注入輸送性化合物としてトリス (8-キノリノラト) アルミニウム (A1Q3) を各々用い、ほぼ同じ蒸着速度 0.5 nm/sec で蒸着し、それと同時に

ベクトルを参考例として示す。

<参考例1>

クマリン誘導体の発光スペクトルを図2に示す。このときの発光スペクトルは以下に示すような構成の有機EL素子を用いて測定したものである。

有機EL素子の作製

厚さ100nmのITO透明電極（陽極）を有するガラス基板（1.1mm厚）を、中性洗剤、アセトン、エタノールを用いて超音波洗浄し、煮沸エタノール中から引き上げて乾燥し、UVオゾン洗浄後、蒸着装置の基板ホルダーに固定して、 1×10^{-6} Torrまで減圧した。

次いで、 N,N' -ジフェニル-N,N'-ビス[4-フェニル-N-(4-トリル（4-アミノフェニル））ベンジジン（H1M）]を蒸着速度2nm/secで50nmの厚さに蒸着し、正孔注入層とした。

N,N,N',N' -テトラキス（3-ピフェニル-1-イル）ベンジジン（TPD005）を蒸着速度2nm/secで10nmの厚さに蒸着し、正孔輸送層とした。

さらにトリリス（8-キノリノラト）アルミニウム（A1Q3）とクマリン誘導体とを蒸着速度2nm/secと0.02nm/secで共蒸着し、クマリン誘導体が1.0vol%となる電子輸送性発光層を70nmの厚さに形成した。

さらに、減圧状態を保ったまま、MgAg（厚さは10:1）を蒸着速度0.2nm/secで200nmの厚さに蒸着して陰極とし、保護層としてA1を100nm蒸着し有機EL素子を得た。

図2からわかるように、クマリン誘導体は510nm付近に発光極大波長を有する。発光スペクトルの半値幅（ピーク強度の半分の点の間）は70nmであった。

<参考例2>

ルブレンの発光スペクトルを図3に示す。このときの発光スペクトルは以下に示すような構成の有機EL素子を用いて測定したものである。

有機EL素子の作製

実施例9、10において、例示化合物1-103の代わりに、例示化合物-1（スチリル系アミン化合物）を用いて同様素子を作製し、特性を調べたところ、良好な特性を得た。

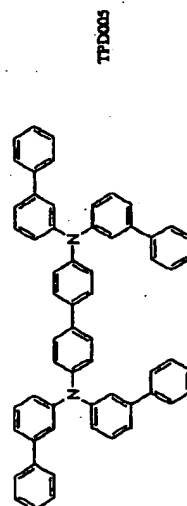
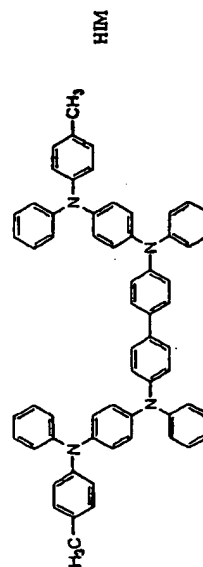
(実施例16)

実施例11、12において、例示化合物1-201の代わりに、例示化合物1-1（キノクリドン）を用いて同様素子を作製し、特性を調べたところ、良好な特性を得た。

(実施例16)

実施例11、12において、例示化合物1-201の代わりに、例示化合物-1（スチリル系アミン化合物）を用いて同様素子を作製し、特性を調べたところ、良好な特性を得た。

次に多色発光に対処した有機EL素子の実施例を示す。まず、これらの実施例等に用いた正孔注入層用の化合物H1M、正孔輸送層用の化合物および正孔輸送性のホスト材料として用いられるTPD005は以下に示すものである。



次いで、クマリン誘導体（例示化合物1-103）、ルブレ（例示化合物1-22）およびトリリス（8-キノリノラト）アルミニウム（A1Q3）の発光ス

厚さ100nmのITO透明電極（陽極）を有するガラス基板（1.1mm厚）を、中性洗剤、アセトン、エタノールを用いて超音波洗浄し、煮沸エタノール中か

ら引き上げて乾燥し、UVオゾン洗浄後、蒸着装置の基板ホルダーに固定して、 1×10^{-6} Torrまで減圧した。

次いで、 N,N' -ジフェニル N,N' -ピス [N-フェニル-N-(4-アミノフェニル)] ベンジジン (H1M) を蒸着速度 2 nm/sec で 1.5 nm の厚さに蒸着し、正孔注入層とした。

N,N,N',N' -テトラキス-(3-ピフェニル-1-イル) ベンジジン (TPD005) を蒸着速度 2 nm/sec で 1.5 nm の厚さに蒸着し、正孔輸送層とした。

さらに、TPD005とトリス (8-キノリノラト) アルミニウム (A1Q3) とを体積比が1:1となるように、かつルブレイン (例示化合物1-20) を2.5 vol%含むように 4.0 nm の厚さに共蒸着し、屈折層タイプの第1の発光層とした。このときの蒸着速度は、順に 0.05 nm/sec , 0.05 nm/sec , 0.0025 nm/sec とした。

次いで、減圧状態を保ったまま、電子注入輸送発光層として、トリス (8-キノリノラト) アルミニウム (A1Q3) を蒸着速度 0.2 nm/sec で 5.5 nm の厚さに蒸着した。

さらに、減圧状態を保ったまま、MgAg (屈折比10:1) を蒸着速度 0.2 nm/sec で 2.0 nm の厚さに蒸着して陰極とし、保護層としてA1を 1.0 nm 蒸着し有機EL素子を得た。

図3からわかるように、ルブレインは 5.6 nm 付近に発光層大波長を有する。発光スペクトルの半値巾は 7.5 nm であった。

<参考例3>

クマリン誘導体の発光スペクトルを図2に示す。このときの発光スペクトルは以下に示すような構成の有機EL素子を用いて測定したものである。

有機EL素子の作製

トリス (8-キノリノラト) アルミニウム (A1Q3) の発光スペクトルを図4に示す。このときの発光スペクトルは以下に示すような構成の有機EL素子を用いて測定したものである。

有機EL素子の作製

厚さ 1.0 nm のITO透明電極 (陽極) を有するガラス基板 (1.3 mm 厚) を、中性洗剤、アセトン、エタノールを用いて超音波洗浄し、煮沸エタノール中から引き上げて乾燥し、UVオゾン洗浄後、蒸着装置の基板ホルダーに固定して、 1×10^{-6} Torrまで減圧した。

次いで、 $4,4',4''$ -トリス (-N-(3-メチルフェニル)-N'-フェニルアミン) トリフェニルアミン (MTDATA) を蒸着速度 2 nm/sec で 4.0 nm の厚さに蒸着し、正孔注入層とした。

N,N,N',N' -テトラキス (-3-ピフェニル-1-イル) ベンジジン (TPD005) を、蒸着速度 2 nm/sec で 1.5 nm の厚さに蒸着し、正孔輸送層とした。

次いで、減圧状態を保ったまま、電子注入輸送性の発光層として、トリス (8-キノリノラト) アルミニウムを蒸着速度 0.2 nm/sec で 7.0 nm の厚さに蒸着した。

さらに、減圧状態を保ったまま、MgAg (屈折比10:1) を蒸着速度 0.2 nm/sec で 2.0 nm の厚さに蒸着して陰極とし、保護層としてA1を 1.0 nm 蒸着し有機EL素子を得た。

図4からわかるように、トリス (8-キノリノラト) アルミニウム (A1Q3) は 5.4 nm 付近に発光層大波長を有する。発光スペクトルの半値巾は 11.0 nm であった。

<実施例17>

厚さ 1.0 nm のITO透明電極 (陽極) を有するガラス基板 (1.3 mm 厚) を、中性洗剤、アセトン、エタノールを用いて超音波洗浄し、煮沸エタノール中から引き上げて乾燥し、UVオゾン洗浄後、蒸着装置の基板ホルダーに固定して、 1×10^{-6} Torrまで減圧した。

次いで、 N,N' -ジフェニル N,N' -ピス [N-フェニル-N-(4-アミノフェニル)] ベンジジン (H1M) を蒸着速度 2 nm/sec で 5.0 nm の厚さに蒸着し、正孔注入層とした。

いて測定したものである。

MMN'-テトラキス-(3-ピフェニル-1-イル)ベンジジン(TPD005)を蒸着速度 2 nm/sec で 15 nm の厚さに蒸着し、正孔輸送層とした。さらに、TPD005とトリス(8-キノリノラト)アルミニウム(AIQ3)とを体積比が1:1となるように、かつルブレイン(例示化合物1-22)を2.5vol%含むように 20 nm の厚さに共蒸着し、延層タイプの第1の発光層とした。このときの蒸着速度は順に 0.05 nm/sec 、 0.05 nm/sec 、 0.0025 nm/sec とした。

また、TPD005とAIQ3とを体積比が1:1となるように、かつクマリリン誘導体の例示化合物1-103を1.0vol%含むように 20 nm の厚さに共蒸着し、延層タイプの第2の発光層とした。このときの蒸着速度は順に 0.05 nm/sec 、 0.05 nm/sec 、 0.001 nm/sec とした。

次いで、減圧状態を保ったまま、電子注入輸送発光層として、トリス(8-キノリノラト)アルミニウム(AIQ3)を蒸着速度 0.2 nm/sec で 50 nm の厚さに蒸着した。

さらに、減圧状態を保ったまま、MgAg(重量比10:1)を蒸着速度 0.2 nm/sec で 200 nm の厚さに蒸着して陰極とし、保護層としてAlを 100 nm 蒸着し有機EL素子を得た。

この有機EL素子に電圧を印加して電流を流したところ、 $10^{-5} \cdot 50\text{ mA/cm}^2$ で 5000 cd/m^2 の黄緑色(発光極大波長 $\lambda_{\text{max}} = 560\text{ nm}$ 、 500 nm 、色度座標 $x = 0.39$ 、 $y = 0.55$)の発光が確認され、この発光は乾燥アルゴン雰囲気中で 1000 時間以上安定していた。部分的非発光部の出現および減衰は全くなかった。輝度の半減期は 10 mA/cm^2 の定電流駆動で 40000 hr (初期輝度 10000 cd/m^2 、初期駆動電圧 7.2 V 、駆動電圧上昇 3.0 V)であった。

図5に発光スペクトルを示す。図5より、クマリリン誘導体とルブレインがともに発光していることがわかる。この場合の発光スペクトル比C/R、クマリリン誘導体(510nm)/ルブレイン(560nm)は0.65であった。また、発光スペクトルの半値巾(最大ピークの強度の半分の点の中)は 120 nm であり、クマリリン誘導体、ルブレインともに発光していることがわかる。また、実施例9に比べ蒸着

く寿命が短びている。したがって、ルブレインを含む延層が長寿命化に寄与していることがわかる。

<比較例7>

実施例17において、TPD005の正孔輸送層を形成したのち、AIQ3とルブレインとクマリリンとを各蒸着速度 0.1 nm/sec 、 0.0025 nm/sec 、 0.001 nm/sec で共蒸着し、ルブレインを2.5vol%、クマリリン誘導体を1.0vol%含む電子輸送性の発光層を 40 nm 厚に形成し、その後AIQ3の電子注入輸送層を 50 nm 厚に形成するほかは同様にして有機EL素子を得た。

この発光スペクトルを図6に示す。図6からルブレインのみが発光していることがわかる。このときのC/Rは0であり、発光スペクトルの半値巾は 70 nm であった。

<比較例8>

比較例7において、発光層のホスト材料をAIQ3のかわりにTPD005とした正孔輸送性の発光層を形成するほかは同様にして有機EL素子を得た。

この発光スペクトルを図7に示す。図7からルブレインのみが発光していることがわかる。このときのC/Rは0であり、発光スペクトルの半値巾は 70 nm であった。

<比較例9>

実施例17において、TPD005の正孔輸送層を形成したのち、AIQ3とルブレインを各蒸着速度 0.1 nm/sec 、 0.0025 nm/sec で共蒸着し、ルブレインを2.5vol%含む電子輸送性の発光層を 20 nm 厚に形成し、さらにこの上にAIQ3とクマリリン誘導体を各蒸着速度 0.1 nm/sec 、 0.001 nm/sec で共蒸着し、クマリリン誘導体を1.0vol%含む電子輸送性の発光層を 20 nm 厚に形成し、その後AIQ3の電子注入輸送層を 50 nm 厚に形成するほかは同様にして有機EL素子を得た。

この発光スペクトルを図8に示す。図8からルブレインのみの発光であることがわかる。このときのC/Rは0であり、発光スペクトルの半値巾は 70 nm であった。

<比較例 10>

比較例 9 において、2層構成の発光層のホスト材料をともに TPD005 とし、正孔輸送性の発光層を 2 層形成するほかは同様にして有機 EL 素子を得た。この発光スペクトルを図 8 に示す。図 9 からクマリン誘導体と A1Q3 の発光になっていることがわかる。このときのスペクトルの半値巾は 9 nm であった。

<比較例 11>

実施例 17 において、TPD005 の正孔輸送層を形成したのち、TPD005 とルブレンを各蒸着速度 0.1 nm/sec、0.0025 nm/sec で共蒸着し、ルブレンを 2.5 vol% 含む正孔輸送性の発光層を 20 nm 厚に形成し、次いで A1Q3 とクマリン誘導体を各蒸着速度 0.1 nm/sec、0.001 nm/sec で共蒸着し、クマリン誘導体を 1.0 vol% 含む電子輸送性の発光層を 20 nm 厚に形成し、その後 A1Q3 の電子注入輸送層を 50 nm 厚に形成するほかは同様にして有機 EL 素子を得た。

この有機 EL 素子に電圧を印加して電流を流したところ、 $1.7 \cdot 50 \text{ mA/cm}^2$ で 4500 cd/m^2 の黄緑色 (発光極大波長 $\lambda_{\text{max}} = 560 \text{ nm}$ 、510 nm、色座標 $x = 0.42$, $y = 0.54$) の発光が確認され、この発光は乾燥アルゴン雰囲気中で 10 時間以上安定していた。部分的非発光部の出現および成長は全くなかった。輝度の半減期は 10 mA/cm^2 の定電流駆動で 1000 h (初期輝度 1000 cd/m^2 、初期駆動電圧 6.5 V、駆動電圧上昇 3.0 V) であった。図 10 に発光スペクトルを示す。図 10 より、クマリン誘導体とルブレんがともに発光していることがわかる。この場合の発光スペクトル比 C/R は 0.5 であった。また半値巾は 8 nm であった。

このものでは、クマリン誘導体とルブレんの発光がみられるが、発光寿命が短く実用でないことがわかった。

<実施例 18>

実施例 17 において、TPD005 の正孔輸送層を形成したのち、TPD005 と A1Q3 とルブレンを各蒸着速度 0.05 nm/sec、0.05 nm/sec、0.0025 nm/sec で共蒸着し、TPD005 : A1Q3 が 1 : 1 となり、ルブレんが

2.5 vol% 含まれる混合層タイプの発光層を 20 nm 厚に形成した。次いで A1Q3 とクマリン誘導体を各蒸着速度 0.1 nm/sec、0.001 nm/sec で共蒸着し、クマリン誘導体を 1.0 vol% 含む電子輸送性の発光層を 20 nm 厚に形成し、その後 A1Q3 の電子注入輸送層を 50 nm 厚に形成するほかは同様にして有機 EL 素子を得た。

この有機 EL 素子に電圧を印加して電流を流したところ、 $1.7 \cdot 50 \text{ mA/cm}^2$ で 4000 cd/m^2 の黄緑色 (発光極大波長 $\lambda_{\text{max}} = 510 \text{ nm}$ 、560 nm、色座標 $x = 0.42$, $y = 0.54$) の発光が確認され、この発光は乾燥アルゴン雰囲気中で 1000 時間以上安定していた。部分的非発光部の出現および成長は全くなかった。輝度の半減期は 10 mA/cm^2 の定電流駆動で 4000 h (初期輝度 1000 cd/m^2 、初期駆動電圧 6.9 V、駆動電圧上昇 3.0 V) であった。

図 11 に発光スペクトルを示す。図 11 より、クマリン誘導体とルブレんがともに発光していることがわかる。この場合の発光スペクトル比 C/R は 0.42 であった。また半値巾は 13 nm であった。

<実施例 19>

実施例 17 において、混合層タイプの第 1 および第 2 の発光層のホスト材料の TPD005 と A1Q3 の体積比を TPD005/A1Q3 = 75/25 とするようにより、この有機 EL 素子を得た。

この有機 EL 素子に電圧を印加して電流を流したところ、 $1.7 \cdot 50 \text{ mA/cm}^2$ で 4100 cd/m^2 の黄緑色 (発光極大波長 $\lambda_{\text{max}} = 510 \text{ nm}$ 、560 nm、色座標 $x = 0.32$, $y = 0.58$) の発光が確認され、この発光は乾燥アルゴン雰囲気中で 1000 時間以上安定していた。部分的非発光部の出現および成長は全くなかった。輝度の半減期は 10 mA/cm^2 の定電流駆動で 3000 h (初期輝度 900 cd/m^2 、初期駆動電圧 7.2 V、駆動電圧上昇 2.5 V) であった。

図 12 に発光スペクトルを示す。図 12 より、クマリン誘導体とルブレんがともに発光していることがわかる。この場合の発光スペクトル比 C/R は 1.4 であった。また半値巾は 12 nm であった。このように混合層のホスト材料の比率をかえることにより実施例 17 とは異なる C/R が得られることがわかる。

<実施例20>

実施例17において、混合層タイプの第1および第2の発光層のホスト材料のTPD005とA1Q3の体積比をTPD005/A1Q3=66/33となるようにするほかは同様にして有機EL素子を得た。

この有機EL素子に電圧を印加して電流を流したところ、 $1.2 \times 5.0 \text{ mA/cm}^2$ で3500cd/a²の黄緑色(発光波長λ_{max}=510nm、560nm、色座座標x=0.34y=0.57)の発光が確認され、この発光は乾燥アルゴン雰囲気中で1000時間以上安定していた。部分的非発光部の出現および成長は全くなかった。輝度の半減期は10mA/cm²の定電流駆動で20000hr(初期輝度900cd/a²、初期駆動電圧7.3V、駆動電圧上昇2.5V)であった。

図13に発光スペクトルを示す。図13より、クマリン誘導体とルブレンがともに発光していることがわかる。この場合の発光スペクトル比C/Rは1.4であった。また半値巾は130nmであった。このように混合層のホスト材料の比率をかくることにより実施例17とは異なるC/R比が得られることがわかる。

<実施例21>

実施例17において、混合層タイプの第1および第2の発光層のホスト材料のTPD005とA1Q3の体積比をTPD005/A1Q3=25/75となるようにするほかは同様にして有機EL素子を得た。

この有機EL素子に電圧を印加して電流を流したところ、 $1.2 \times 5.0 \text{ mA/cm}^2$ で4200cd/a²の黄緑色(発光波長λ_{max}=510nm、560nm、色座座標x=0.47y=0.51)の発光が確認され、この発光は乾燥アルゴン雰囲気中で1000時間以上安定していた。部分的非発光部の出現および成長は全くなかった。輝度の半減期は10mA/cm²の定電流駆動で15000hr(初期輝度900cd/a²、初期駆動電圧7.5V、駆動電圧上昇2.5V)であった。

図14に発光スペクトルを示す。図14より、クマリン誘導体とルブレンがともに発光していることがわかる。この場合の発光スペクトル比C/Rは0.25であった。また半値巾は80nmであった。このように、混合層のホスト材料の比率をかくることにより実施例17とは異なるC/R比が得られることがわかる。

実施例17~21の結果から、発光層のホスト材料をかくることにより、発光特性の変化がみられることがわかる。

また、比較例7~11の結果を併せて考えると、多色発光の方法として、発光層のホストのキャリア輸送特性を本発明の範囲にすればよいことがわかる。

以上より、誘導する発光層のキャリア輸送特性を本発明のように選ぶことによって(好ましくは、例えばバイポーラ型発光層として、混合層タイプの発光層を含む2層以上の発光層を設けることによって)、2層以上の発光層の発光が採用レベルで得られることがわかった。したがって多色発光が可能ながことが確認された。

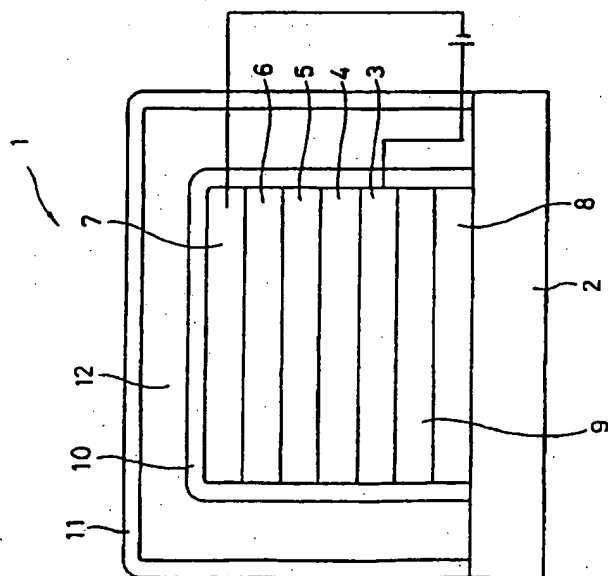
さらに、バイポーラ型である混合層のホスト材料の混合比を変えることで2層以上ある各発光層からの荷電を変化させることが可能になることがわかる。また、混合比は各層で独立に変えることもでき、これによる変化も期待できる。このようなバイポーラ型ホスト材料としては混合タイプのみならず、単一種のバイポーラ型材料とすることも可能である。本発明のポイントとは誘導する発光層のキャリア輸送性を選ぶことであり、キャリア輸送性をかくるには材料を変える必要がある。

産業上の利用可能性

以上より本発明の化合物を用いた有機EL素子は高輝度な発光が可能であり、連続発光時の輝度値下および駆動電圧上昇の小さい信頼性の高い素子であることは明らかである。また、複数の蛍光物質をそれぞれ安定に発光させ、広いスペクトル領域にわたる発光を得ることができ、多色発光が可能になる。さらに、多色発光のスペクトルを自由に設計することができる。

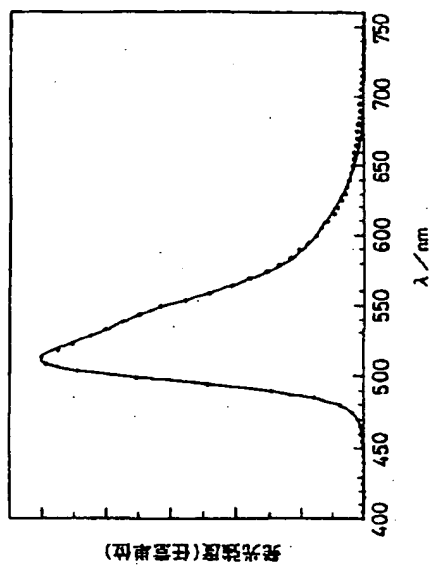
(图 1)

FIG. 1



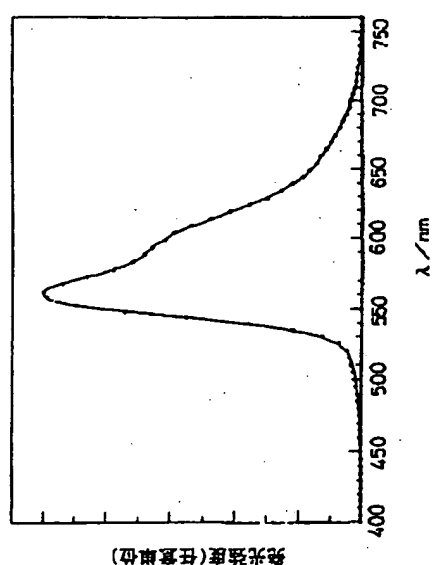
(图 2)

FIG. 2



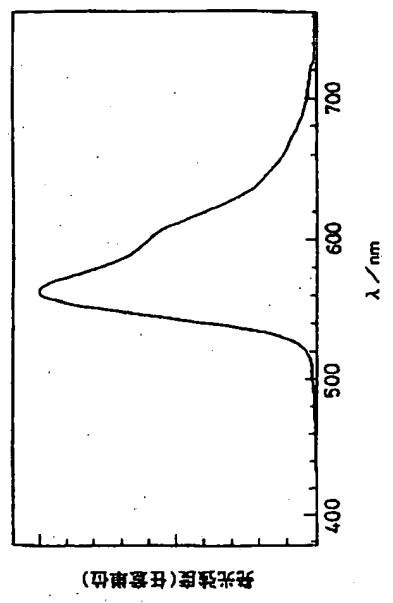
(图 3)

FIG. 3



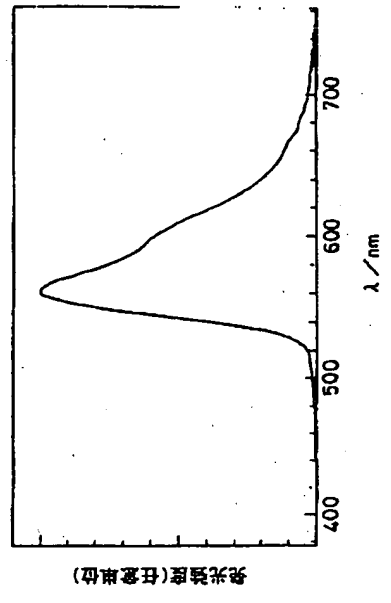
[圖 6]

FIG. 6



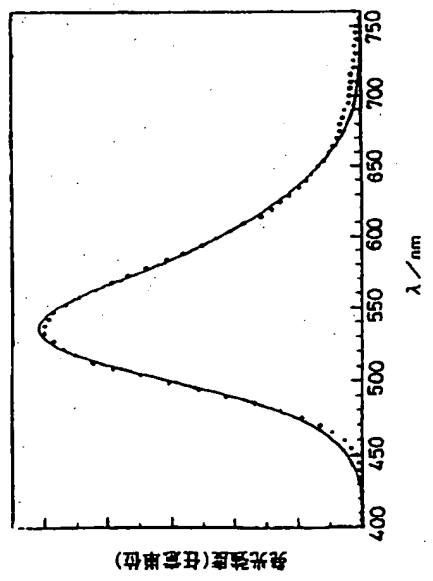
[圖 7]

FIG. 7



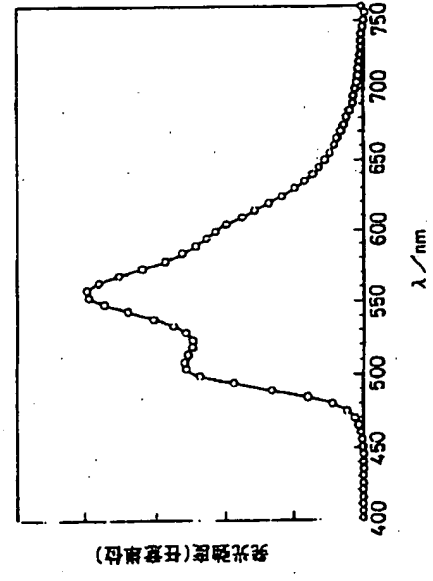
[圖 4]

FIG. 4



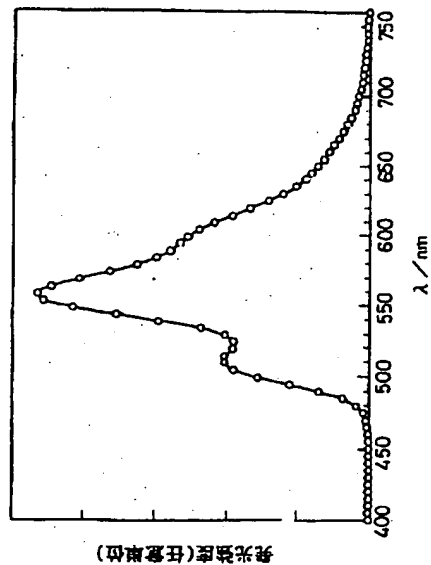
[圖 5]

FIG. 5



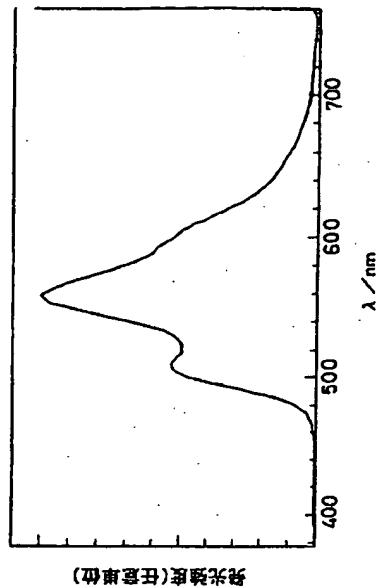
【图 10】

FIG. 10



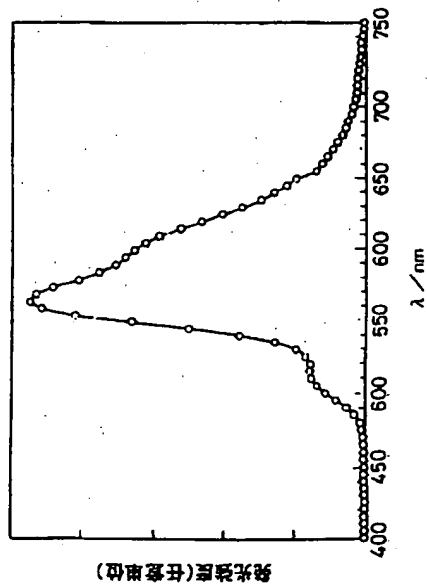
【图 11】

FIG. 11



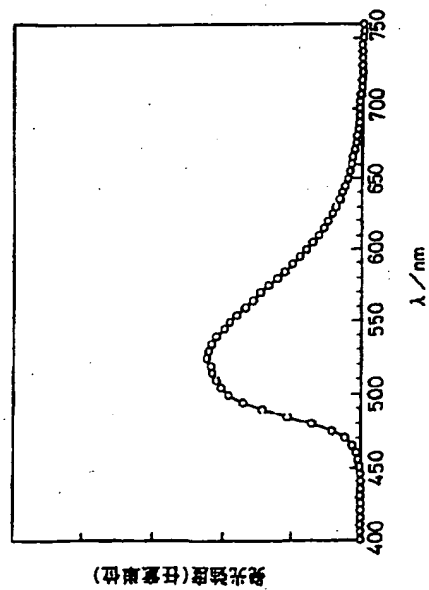
【图 8】

FIG. 8



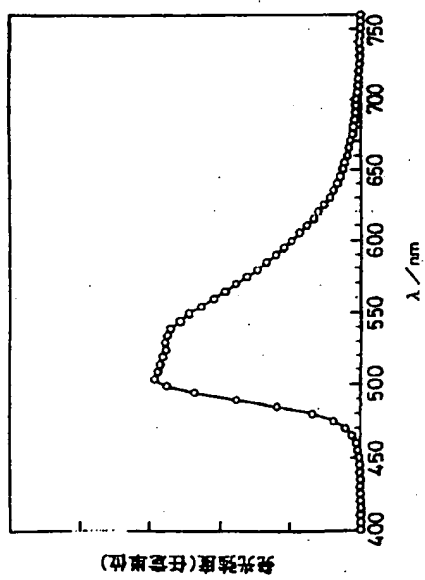
【图 9】

FIG. 9



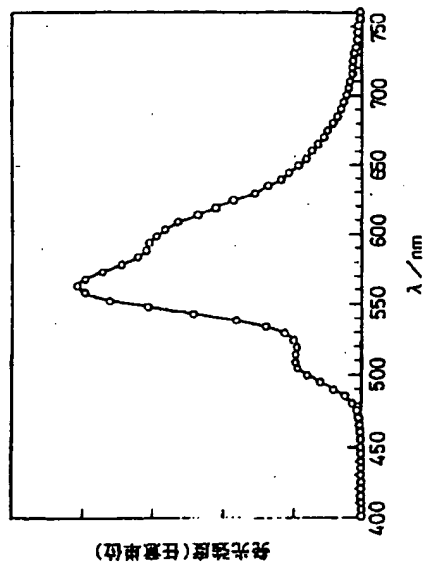
[图12]

FIG. 12



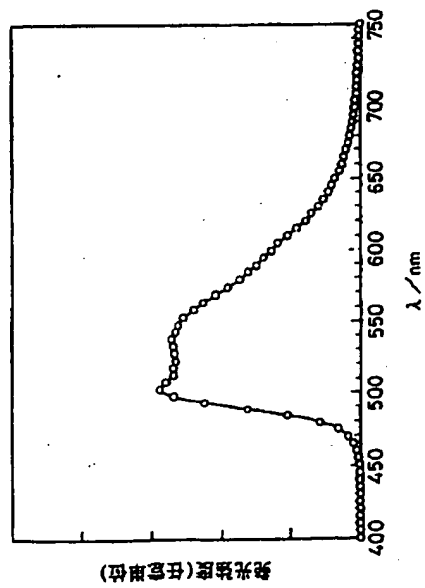
[图14]

FIG. 14



[图13]

FIG. 13



[国際調査報告]

国際調査報告		国際出願番号 PCT/JP97/02869	
A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))			
Int. Cl. H05B33/14, C09K11/06			
B. 調査を行った分野			
調査を行った最小範囲 (国際特許分類 (IPC))			
Int. Cl. H05B33/14, C09K11/06			
最小限の範囲以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの			
国際特許で採用した電子データベース (データベースの名称、検索に使用した範囲)			
C. 関連すると思われる文献			
引用文献の カテゴリー	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 国本の範囲の番号	
Y	JP, 8-48656, A (ライオン株式会社), 20. 2月, 1996 (20. 02. 98), 特許請求の範囲31, 35-36, 第101041項, 第10291項, 第103471項, 第102221項&EP, 666298, A2	1-18	
Y	JP, 6-240243, A (ライオン株式会社), 30. 8月, 1994 (30. 08. 94), 特許請求の範囲1, 第100201項 (フタミリーなし)	1-18	
P, Y	特許 調査, 青色発光デバイスの能力, 初稿第1稿, 株式会社工業調査会発行, 1997年5月1日, 第200頁, 第228頁	1-3, 7-9, 15	
Y	JP, 3-152897, A (出光興産株式会社), 28. 6月, 1991 (28. 06. 91), 第10頁&上図第117-117a&EP, 387715, A1&US, 5126214, A	9	
<input checked="" type="checkbox"/> C 欄の続きにも文献が列挙されている。 <input type="checkbox"/> パテント・フタミリーに属する文献を参照。 * 引文文献のカテゴリー (A) 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの (B) 先行文献であるが、国際公開日以後に公表されたもの (C) 関係特許に特許を授けず、又は特許は他の文献の発行日若しくは他の特許の優先権を確立するために引用する文献 (理由を付す) (D) 口頭による開示、使用、展示等にせよする文献 (E) 国際公開日以前、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日に公表された文献 (F) 同一発明の異なる形態となる出願			
国際調査報告の送付日	10. 11. 97	国際調査報告の送付日	18. 11. 97
国際調査機関の名称及び国 日本特許庁 (JSA/JIP)	特許庁調査官 (特許のある職員)	4H	9036
調査番号 100	大久保 元祐	内	
東京府千代田区根岸三丁目4番3号	電話番号 03-5581-1101	内線	3445
様式PCT/ISA/210 (第2ページ) (1992年7月)			

[国際調査報告]

国際調査報告		国際出願番号 PCT/JP97/02869	
C (続き): 関連すると思われる文献			
引用文献の カテゴリー	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 国本の範囲の番号	
Y	JP, 6-231849, A (住友化学株式会社), 27. 9月, 1994 (27. 09. 94), 第100051項, 第100241項 (フタミリーなし)	4-6, 9-18	
Y	JP, 3-255190, A (ライオン株式会社 他1名), 14. 11月, 1991 (14. 11. 91), 特許請求の範囲1&US, 5227252, A	4-6, 9-18	
Y	JP, 2-210790, A (株式会社リコー), 22. 8月, 1990 (22. 08. 90), 特許請求の範囲1 (フタミリーなし)	4-6, 9-18	
Y	JP, 4-334894, A (株式会社リコー), 20. 11月, 1992 (20. 11. 92), 特許請求の範囲1, 図1 (フタミリーなし)	10-18	
Y	JP, 7-142169, A (三井化学株式会社), 2. 6月, 1995 (02. 06. 95), 特許請求の範囲4 (フタミリーなし)	9	
A	JP, 8-129669, A (ライオン株式会社), 16. 1月, 1996 (16. 01. 96), 全文 (フタミリーなし)	4	
A	JP, 5-162762, A (富士電機株式会社), 23. 7月, 1993 (23. 07. 93), 全文 (フタミリーなし)	4-6, 9-18	
A	JP, 2-250292, A (株式会社リコー), 10. 10月, 1990 (10. 10. 90), 全文&US, 5085947, A	4-6, 9-18	
様式PCT/ISA/210 (第2ページの続き) (1992年7月)			

